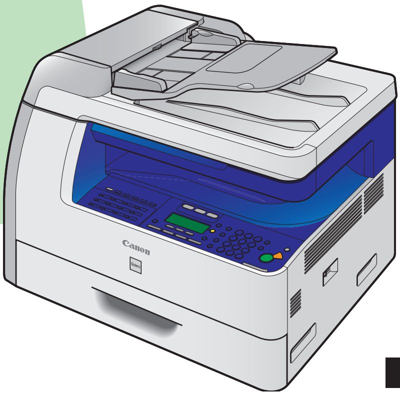
Canon

Satera MF6570

操作ガイド
(基本編)

- こんなことができます
- お使いになる前に
- 原稿の取り扱い
- 用紙の取り扱い
- ファクスを送信する
- ファクスを受信する
- コピーする
- コンピュータからプリントする
- スキャンする
- コンピュータからファクス送信する
- リモート UI
- 日常のメンテナンス
- 困ったときには
- 各種機能の登録/設定
- 付録



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

- 製品の設定方法
- ソフトウェアのインストール

スタートアップガイド

- 各種機能の基本操作
- メンテナンス
- 各種機能の設定
- 仕様

操作ガイド（基本編）（本書）

- 応用操作
- ネットワーク／リモート UI
- システムモニタ
- 各種レポート／リスト
- 困ったときには

操作ガイド（応用編） CD-ROM

- スキャナの操作方法

スキャナドライバガイド CD-ROM

CD-ROM このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に含まれている PDF マニュアルです。

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 本書は、改良のため画面等は予告なく変更されることがあります。正確な仕様が必要な場合はキヤノンまでお問い合わせください。
- 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

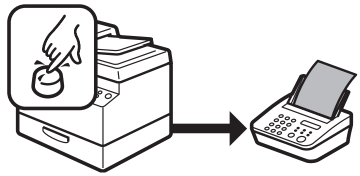
こんなことができます

ファクス機能

ボタン一つで相手先を指定する

ワンタッチダイヤル

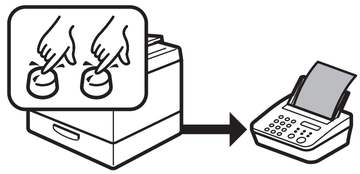
→ p. 4-7



2 桁の番号で相手先を指定する

短縮ダイヤル

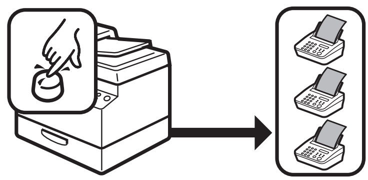
→ p. 4-15



ボタン一つで複数の相手先を指定する

グループダイヤル

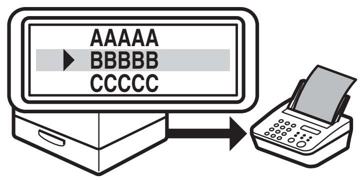
→ p. 4-23



相手先を検索する

宛先表からのダイヤル

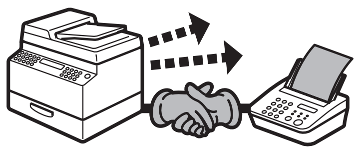
→ 操作ガイド（応用編）



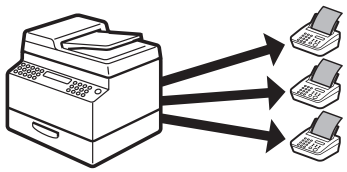
通話中の場合かけなおす

自動リダイヤル

→ 操作ガイド（応用編）



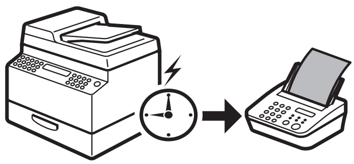
複数の相手先にファクスを送る



同報送信

→　操作ガイド（応用編）

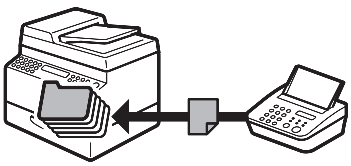
時間を指定してファクスを送る



タイマー送信

→　操作ガイド（応用編）

ファクスをプリントしないでメモリに受信する



メモリ受信

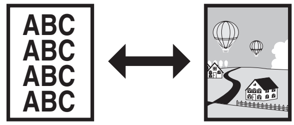
→　操作ガイド（応用編）

コピー機能

原稿の種類に合わせて、画質を調節する

コピー画質の調節

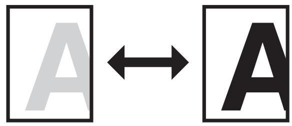
→ p. 6-3



原稿の読み取り濃度を調整する

読み取り濃度の調節

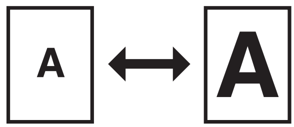
→ p. 6-4



コピーを拡大／縮小する

拡大／縮小コピー

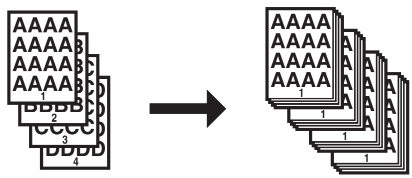
→ p. 6-6



ページ順に並べる

ソートコピー

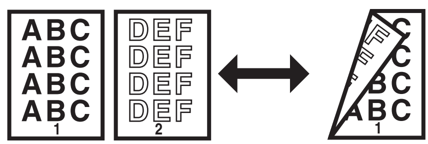
→ 操作ガイド（応用編）



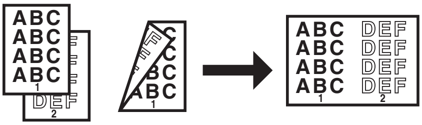
両面にコピーする

両面コピー

→ 操作ガイド（応用編）



2 枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする

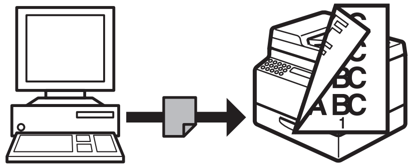


2 in 1

→ 操作ガイド（応用編）

プリンタ機能

コンピュータからプリントする

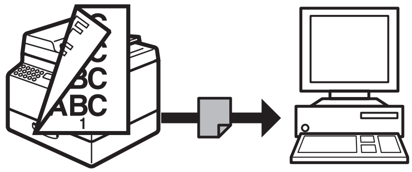


プリント

→ オンラインヘルプ

スキャナ機能

画像に合わせてスキャナを設定する

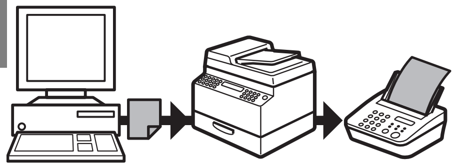


スキャナ

→ スキャナドライバガイド

PC ファクス機能

コンピュータからファクスを送信する



PC ファクス

→ オンラインヘルプ

リモート UI 機能

コンピュータから本製品を管理する



リモート UI

→ 操作ガイド（応用編）

目次

はじめに

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品をお使いになる前に、安全のために以下の注意事項をよくお読みください。

安全にお使いいただくために

警告

本書で指示された部位を除き、本製品をご自分で分解したり、修理したりしないでください。感電などの原因になることがあります。本製品の修理については、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

取り扱いと保守／点検について

- 本製品に貼ってある注意ラベルの指示に従ってください。
- 本製品に強い衝撃や振動を与えないでください。
- 本製品を移動または清掃するときは電源コードを抜いてください。
- 紙づまりを防ぐために、プリント中は電源の入切、左カバーの開閉、用紙の出し入れをしないでください。
- 本製品を移動する場合は、トナーカートリッジを必ず本体から取り外してください。
- トナーカートリッジは、光にさらさないように、購入時に収められていた保護袋に入れるか、厚手の布でくるんでください。
- 持ち運ぶときは、本製品の左右にある取っ手をしっかりと持ってください。用紙カセットや金具部分は、絶対に持たないでください。
- 本製品の内部に異物を入れないでください。異物が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 製品内部にピンやクリップ、ホチキスの針などの金属片を落とさないでください。
- 水などの液体をこぼさないように、本製品の近くでは飲食しないでください。
- 定期的に本製品を清掃してください。ほこりなどがたまると正しく動作しないことがあります。
- 以下のような場合は本製品の電源コードを抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
  - 電源コードやプラグが傷んだり、断線しているとき
  - 本製品の中に水などの液体がこぼれたとき
  - 本製品が雨や水に濡れたとき
  - 同梱の取扱説明書の手順どおりに操作しても本製品が正常に動作しないとき
    手順にない不正な調整をしてしまうと、故障の原因となったり、正常な動作に戻すまでに特殊な修理が必要となったりしますのでご注意ください。
  - 本製品を落としたり、傷つけたりしたとき
  - 本製品の動作に明らかに異常がみられるとき、エラーランプが点滅し続けるとき
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、本製品製造打ち切り後 7 年間です。
- この製品はIEC60825-1:2007 においてクラス 1 レーザ製品であることを確認しています。

設置について

- 平らで、ぐらつきや振動がなく、本製品をしっかりと支えられる場所に設置してください。
- 涼しくて湿気やほこりがなく、風通しの良い場所に設置してください。
- ちりやほこりがない環境でお使いください。
- 高温多湿にならない環境でお使いください。
- 直射日光の当たる場所に設置しないでください。故障の原因になることがあります。窓の近くに設置する場合は、厚手のカーテンまたは日よけを窓に取り付けてください。
- 水気のある場所では使用しないでください。湿気を含んだ物を本製品に近づけないようにしてください。
- 屋外での使用や設置は避けてください。
- スピーカーなど磁気を含んだ機器や、磁界を生じる機器の近くに設置しないでください。
- 本製品の通気口を壁や物でふさがないように設置してください。また、ベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口がふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。通気口は壁や他の機器などから 5 cm 以上離して設置してください。
- いつでも電源コードが抜けるように、電源コードの周りには物を置かないでください。異常な音や煙、熱、変なにおいなどが発生した場合は、直ちに電源コードを抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
- 電源コードの上に物を置かないでください。また、電源コードを踏んだり、束ねたり、結んだりしないでください。
- 使用中の製品からは、オゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量にプリントする場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。

電源について

- 雷が鳴ったら、すぐに電源コードを抜いてください。（電源コードを抜くと、メモリに保存されている原稿は消去されますので、ご注意ください。）
- 電源コードを抜いたときは差しなおすまでに 5 分以上間隔をおいてください。
- 電源コードを無停電電源に接続しないでください。

⚠ 警告

本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして直ちに、医師にご相談ください。

資源再利用について

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

● **使用済み複写機の受け入れ場所について**

使用済みとなった複写機につきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済み複写機のリサイクルを推進しています。 使用済みの複写機の回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

● **使用済みカートリッジなどの廃棄について**

使用済みとなったカートリッジなどにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みカートリッジの回収とリサイクルを推進しています。 使用済みカートリッジの回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋等に入れて、地域の条例に従い処分してください。

カスタマーサポート

本製品は、メンテナンスフリーで安心してお使いいただけるように作られています。操作上問題が発生したときは、「第 12 章 困ったときには」を参照してください。それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、本製品を使用する上で安全のためにお守りいただきたいことや、役に立つ情報に下記のマークを付けています。

警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。

注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。

メモ

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。

また本書では、操作するキーとディスプレイに表示されるメッセージを以下のように表記しています。

・ キー名称：[ストップ]

・ ディスプレイ：＜原稿がセットされました＞

本書の操作説明で使用している操作パネル図中の番号は、操作手順の番号に対応しています。

イラストについて

本書に使われているイラストは、特にお断りがない限り、オプション機器を装着していない場合のものです。



規制について

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

高調波の抑制について

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

物質エミッションの放散に関する認定基準について

粉塵、オゾン、スチレンの放散については、エコマーク No117「複写機 Version2.0」の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しておりますCanon Cartridge 306 を使用し、白黒複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ62:2002 の付録３～５に基づき試験を実施しました。）

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製したり、加工したりすると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

● 著作物など
他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する場合には肖像権が問題となることがあります。
● 通貨、有価証券など
以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

● 公文書など
以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

［関係法律］
- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券
- 証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

商標について

Canon、Canon ロゴ、および Satera はキヤノン株式会社の商標です。
その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

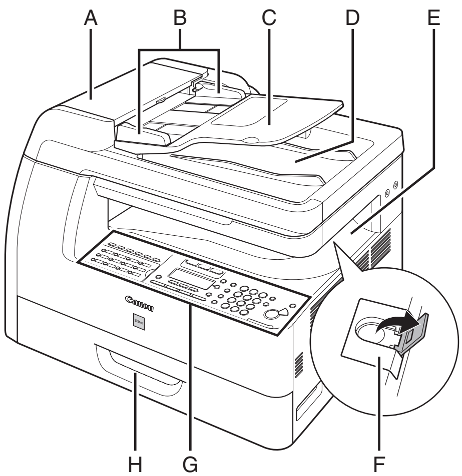
著作権について

免責事項

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

1 お使いになる前に

各部の名称とはたらき



A　ADF（自動原稿給紙装置）
　セットされた原稿を自動的に読み込み位置に送ります。

B　原稿ガイド
　原稿の幅に合わせて調節します。

C　原稿給紙トレイ
　原稿をセットします。

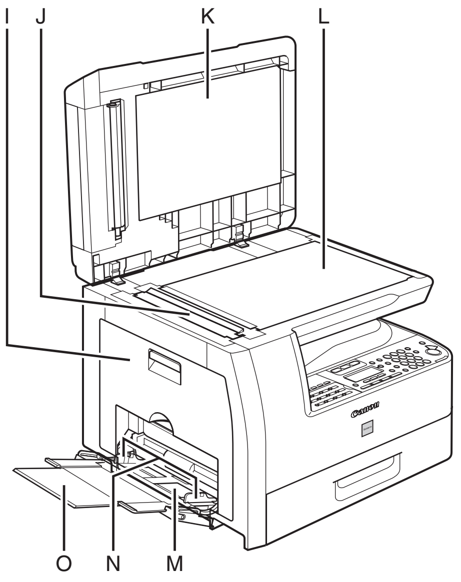
D　原稿排紙トレイ
　原稿が排出されます。

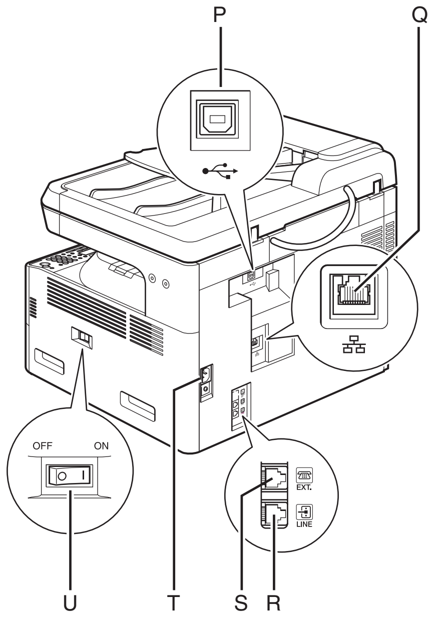
E　排紙トレイ
　コピー、プリント、ファクスなどの出力紙を排出します。

F　排紙ストッパー
　排紙トレイから出力紙が落ちるのを防ぎます。
　A4 サイズの用紙で出力する場合に、ストッパーを開いて使用します。

G　操作パネル
　本製品を操作します。

H　カセット
　用紙をセットします。





I　左カバー
トナーカートリッジの交換や、つまった用紙を取り除くときに開きます。

J　ADF 読み取りエリア
ADF にセットされた原稿を読み取ります。

K　原稿台ガラスカバー
原稿台ガラスに原稿をセットするときに開きます。

L　原稿台ガラス
原稿をセットします。

M　手差しトレイ
標準サイズ以外の用紙や、厚いまたは薄い用紙をまとめてセットできます。

N　手差しトレイ用紙ガイド
用紙の幅に合わせて調節します。

O　補助トレイ
引き出して用紙をセットします。

P　USB ポート
USB ケーブルを接続します。

Q　イーサーネットポート
ネットワークケーブルを接続します。

R　電話回線端子
電話線コードを接続します。

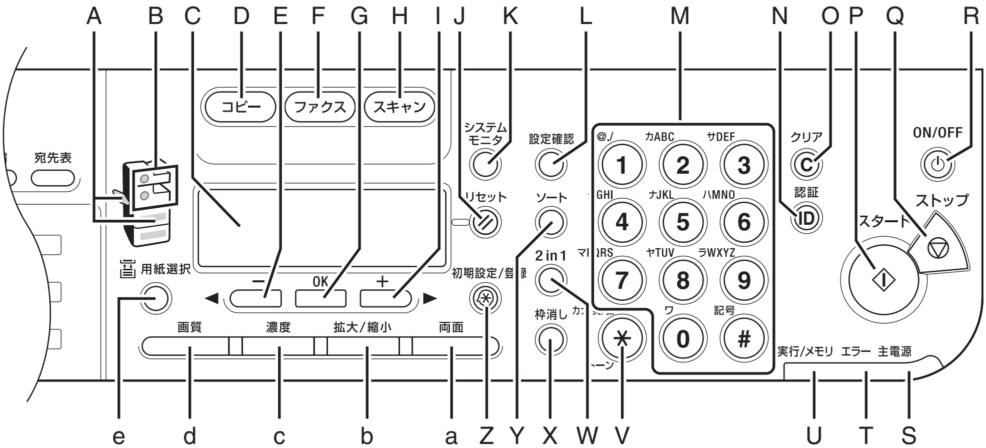
S　外付け電話機用端子
外付け電話機を接続します。

T　電源ソケット／アース端子
電源コードおよびアース線を接続します。

U　主電源スイッチ
電源を入れたり、切ったりします。

操作パネル

メイン操作パネル



A　用紙選択ランプ
選択されている給紙元を示します。

B　紙づまり位置ランプ
用紙づまりの位置を示します。

C　ディスプレイ
メッセージや動作状況を表示します。設定操作中は選択項目、テキスト、数字などを表示します。

D　［コピー］キー
コピーモードに切り替えます。

E　［◄−］キー
設定する数値を下げるときに使います。また、前のメニュー項目を表示するときにも使います。

F　［ファクス］キー
ファクスモードに切り替えます。

G　［OK］キー
設定、登録した内容を確定するときに使います。

H　［スキャン］キー
スキャンモードに切り替えます。

I　［+►］キー
設定する数値を上げるときに使います。また、次のメニュー項目を表示するときにも使います。

J　［リセット］キー
待受画面に戻ります。

K　［システムモニタ］キー
ファクス、プリント、コピー、レポート印刷などの状況を確認するときに使います。

L　［設定確認］キー
コピーの設定を確認するときに使います。

M　テンキー
文字や数字を入力します。

N　［認証］キー
パスワードを入力するときに使います。（パスワードを入力→［認証］キーを押して機能を有効にします。操作が終了したらもう一度［認証］キーを押して、パスワード入力画面に戻ります。）パスワードを設定するには、［初期設定／登録］→＜システム管理設定＞→＜部門別ID管理＞→＜部門ID登録＞の順で操作します。

O　［クリア］キー
入力した文字や数字を削除するときに使います。

P　［スタート］キー
コピー、スキャン、ファクス送信などを開始するときに使います。

Q　［ストップ］キー
操作をキャンセルするときに使います。

R　［ON/OFF］キー（操作パネル電源スイッチ）
手動で節電モードに設定したり解除したりするときに使います。

S　主電源ランプ
主電源が入っているときに点灯します。

T　エラーランプ
エラーが起きたときに点滅または点灯します。

U　実行／メモリランプ
本製品が動作中に点滅します。待機中のジョブがあるときは点灯します。

V　［トーン］キー
プッシュ回線とダイヤル回線を切り替えます。

W　［2 in 1］キー
2枚の原稿を1枚にコピーするときに使います。

X　［枠消し］キー
コピーに現れる枠を消去するときに使います。

Y　［ソート］キー
ソートコピーを設定するときに使います。

Z　［初期設定／登録］キー
各種の設定、登録をするときに使います。

a　［両面］キー
両面コピーまたは両面ファクスを設定するときに使います。

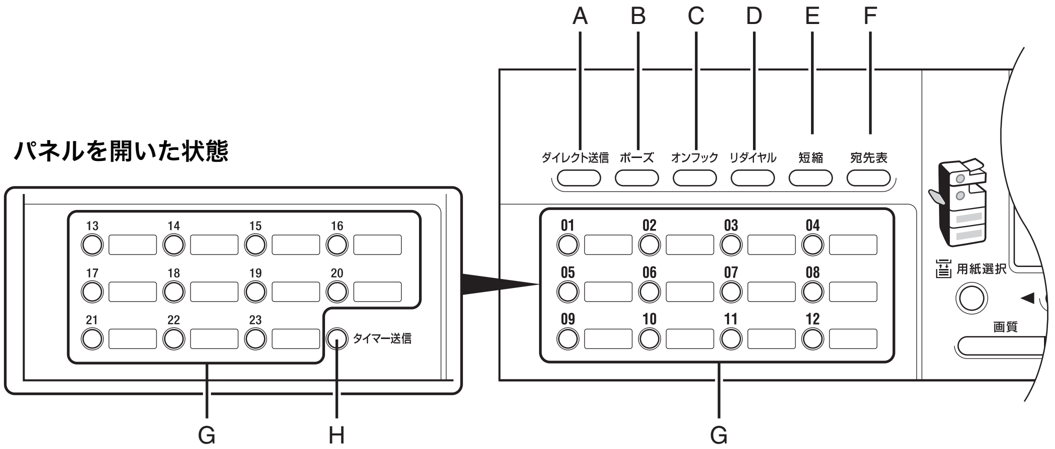
b　［拡大／縮小］キー
コピーの拡大／縮小率を設定するときに使います。

c　［濃度］キー
コピーやファクスの濃度を調整するときに使います。

d　［画質］キー
コピーやファクスの画質を設定するときに使います。

e　［用紙選択］キー
給紙元（カセットまたは手差しトレイ）を選択するときに使います。

ファクス操作パネル



A　［ダイレクト送信］キー
ダイレクト送信を設定するときに使います。

B　［ポーズ］キー
ファクス番号にポーズを挿入するときに使います。

C　［オンフック］キー
外付け電話機の受話器を置いたままダイヤルするときに使います。

D　［リダイヤル］キー
テンキーでダイヤルした最後の番号にリダイヤルするときに使います。

E　［短縮］キー
短縮ダイヤルに登録した番号にダイヤルするときに使います。

F　［宛先表］キー
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録した番号を名前で検索するときに使います。

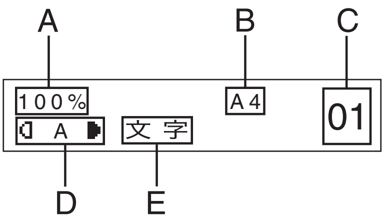
G　［ワンタッチダイヤル］キー
ワンタッチダイヤルに登録した番号にダイヤルするときに使います。

H　［タイマー送信］キー
タイマー送信を設定するときに使います。

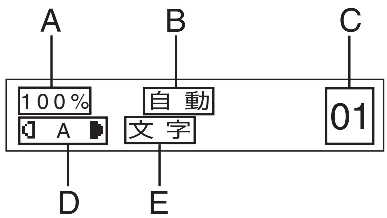
ディスプレイ（待受画面）

コピーモード

● **オプションのカセットがない場合**

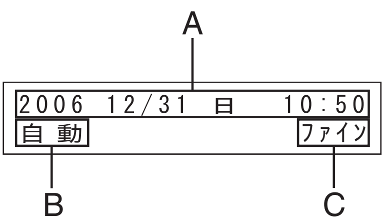


● **オプションのカセットがある場合**



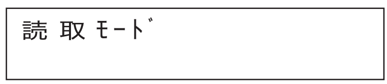
A　ズーム倍率
B　用紙サイズ
C　部数
D　濃度
E　画質

ファクスモード



A　日付／時刻
B　受信モード
C　画質

スキャンモード

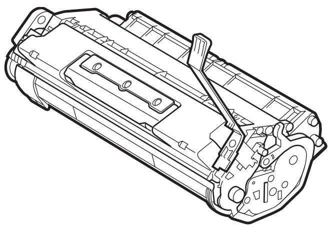


トナーカートリッジ

本製品に付属のキヤノン純正スタータートナーカートリッジ（同梱用）の寿命は、約 2,500 ページです。また、交換用のキヤノン純正トナーカートリッジの寿命は、約 5,000 ページです。このページ数は、「ISO/IEC 19752」* に基づき、工場出荷時の印字濃度設定のままで、A4 サイズの用紙に印刷した場合の値です。トナー消費量は、印刷する書類の内容によって異なります。図、表、グラフなどを多用した、空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、トナーカートリッジの寿命が短くなります。トナーカートリッジの交換の際は、必ず本製品専用のトナーカートリッジを使用してください。

* 「ISO/IEC 19752」とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。

トナーカートリッジ名：
Canon Cartridge 306



機種名	同梱品／交換品	対応するキヤノン純正トナーカートリッジ	印字枚数
MF6570	同梱品	Canon Cartridge 306 Starter	A4 サイズで約 2,500 枚
	交換品	Canon Cartridge 306	A4 サイズで約 5,000 枚

トナーカートリッジの取り扱い

- トナーカートリッジをコンピュータ画面やディスクドライブ、フロッピーディスクなどに近づけないでください。トナーカートリッジ内部のマグネットによって破損する恐れがあります。
- トナーカートリッジは、高温多湿や急激に温度が変化するような場所および火気のある場所に保管しないでください。
- トナーカートリッジを、直射日光や電灯の光に 5 分以上さらさないでください。
- トナーカートリッジは保護袋に入れて保管し、本製品に取り付けるまで保護袋から取り出さないでください。
- トナーカートリッジの保護袋は保管しておいてください。本製品を移動するときなどに必要になります。
- トナーカートリッジを、塩分を含んだ空気や、エアゾールスプレーなどから出る腐食性ガスが充満している場所に保管しないでください。
- 必要なとき以外は、トナーカートリッジを取り外さないでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラム表面を光にさらしたり、傷つけたりすると、プリント品質が低下する恐れがあります。
- トナーカートリッジを取り扱う際は、ドラム保護シャッターに触れないように必ず取っ手を持ってください。

- トナーカートリッジを立てて置いたり、逆さにしたりしないでください。トナーカートリッジ内部でトナーが固まってしまい、振っても元に戻らなくなることがあります。
- 使用済みトナーカートリッジを廃棄する場合は、トナー容器を保護袋に入れてトナーが飛び散らないようにし、自治体の指示に従って処理してください。
- カートリッジからトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。
- カートリッジを本体から取り外すときは、トナーが飛び散って目や口などにトナーが入らないように、丁寧に取り出してください。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- トナーなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- カートリッジは分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

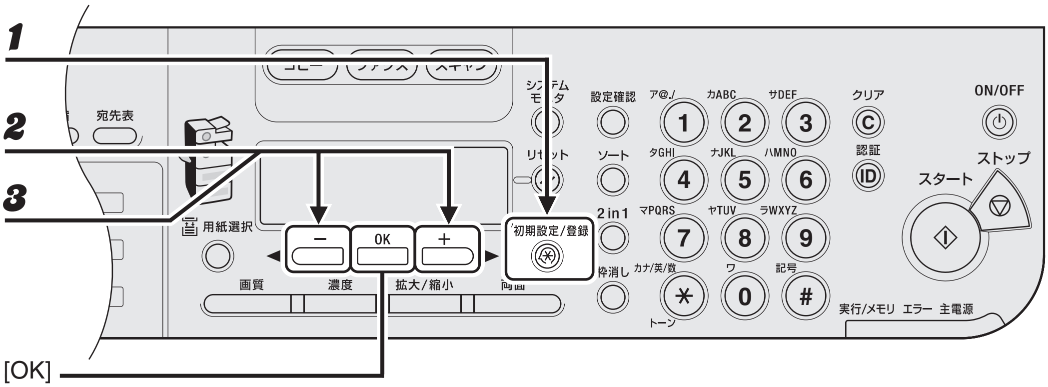
注意

トナーが発火してやけどの原因になることがあるので、トナーカートリッジを火の中に投げ入れないでください。

タイマー設定

スリープモードを設定する

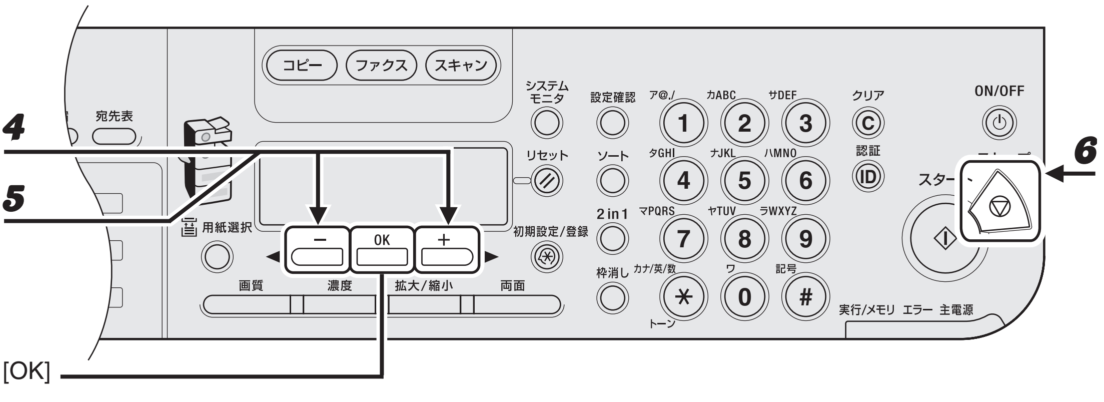
本製品はある一定時間何も操作をしないと、自動的にスリープモードに移行します。



1　[初期設定／登録] を押します。

2　[◄−] または [+►] を押して<タイマー設定>を選択し、[OK] を押します。

3　[◄−] または [+►] を押して<オートスリープタイム>を選択し、[OK] を押します。



4 **＜する＞が表示されていることを確認し、[OK] を押します。**

5 **[◄ −] または [+ ►] を押して時間を選択し、[OK] を押します。**

時間は 3 分〜 30 分の間で設定できます（1 分刻み)。
テンキーを使って数値を入力することもできます。

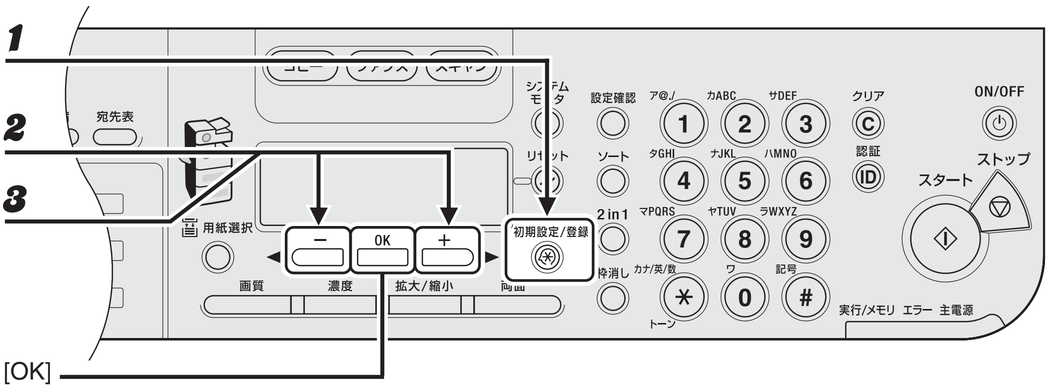
6 **[ストップ] を押して待受画面に戻ります。**

メモ

- スリープモードから復帰するには、操作パネルの [ON/OFF] を押してください。
- 手動でスリープモードにするには、操作パネルの [ON/OFF] を押してください。
- 以下の状態の場合は、スリープモードになりません。
  - 本製品が操作中の場合
  - システムエラーが起きた場合
  - 外付け電話機の受話器がフックから外れている場合
- 以下の状態の場合は、スリープモードが解除されます。
  - 操作パネルの [ON/OFF] が押された場合
  - コンピュータから本製品を使って原稿を読み込んだ場合

オートクリアタイムを設定する

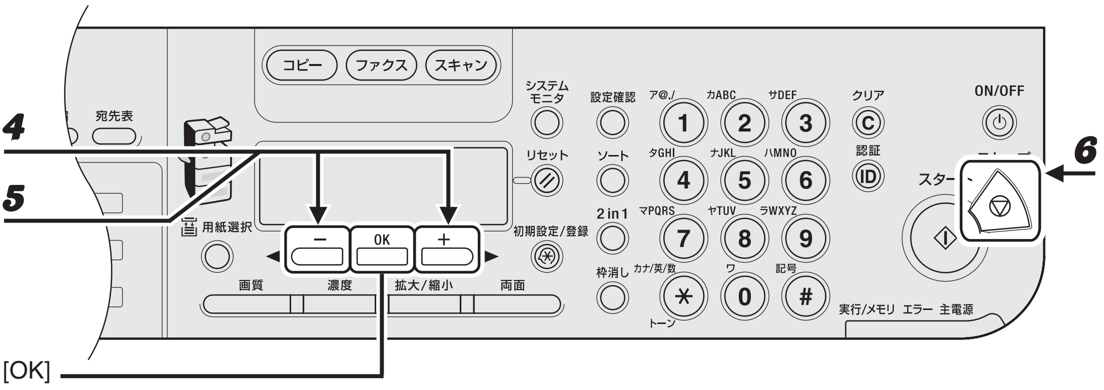
本製品はある一定時間何も操作をしないと、ディスプレイが待受画面に戻ります（オートクリア機能）。



1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ –］または［+ ►］を押して＜タイマー設定＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ –］または［+ ►］を押して＜オートクリアタイム＞を選択し、［OK］を押します。



4 **<する>が表示されていることを確認し、[OK]を押します。**

5 **[◄ー]または[+►]を押して時間を選択し、[OK]を押します。**

時間は1分～9分の間で設定できます（1分刻み）。
テンキーを使って数値を入力することもできます。

6 **[ストップ]を押して待受画面に戻ります。**

2 原稿の取り扱い

使用可能な原稿

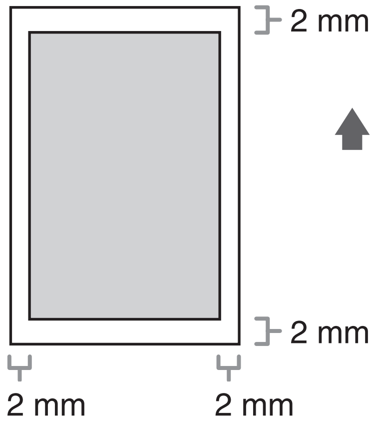
	原稿台ガラス	ADF
原稿の種類	・ 普通紙 ・ 厚紙 ・ 写真 ・ 小型原稿（名刺サイズ等） ・ 特殊紙（トレーシングペーパー *1、OHP フィルム *1 等） ・ 本（厚さ 20 mm までのもの）	普通紙（同じサイズ、厚さ、重量の複数枚の原稿、または 1 枚の原稿）
サイズ（幅 x 長さ）	最大 216 mm x 356 mm	最大 216 mm x 356 mm 最小 139.7 mm x 128 mm
重量	最大 2 kg	50 ～ 128 g/m^2（片面原稿） 50 ～ 105 g/m^2（両面原稿）
枚数	1 枚	最大 50 枚 *2

*1 トレーシングペーパーや OHP フィルムなどの透過原稿をコピーする場合は、原稿台ガラスに原稿を下向きにしてセットし、白紙を原稿の上に重ねて置いてください。
*2 80 g/m^2 の用紙

● のり、インク、修正液が完全に乾いてから、原稿をセットしてください。
● ADFに原稿をセットする場合は、ホッチキスの針やペーパークリップなどをすべて取り除いてください。
● ADF 内で原稿がつまるのを防ぐために、以下のものは使用しないでください。
  ・ しわや折り目のある原稿
  ・ カーボン紙やカーボンバック紙
  ・ カールした、または巻いた紙
  ・ コート紙
  ・ 破れた原稿
  ・ 薄質半透明紙や薄紙
  ・ 熱転写プリンタでプリントされた紙
  ・ OHP フィルム

読み取り範囲

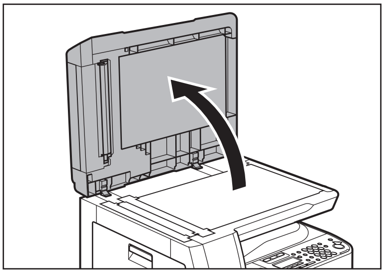
原稿の文字や画像が、以下の図の淡色部分に収まっていることを確認してください。下記の余白は目安であり、実際とは異なる場合があります。



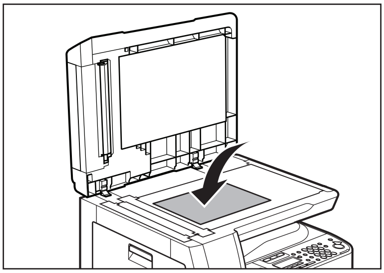
原稿をセットする

原稿台ガラスにセットする

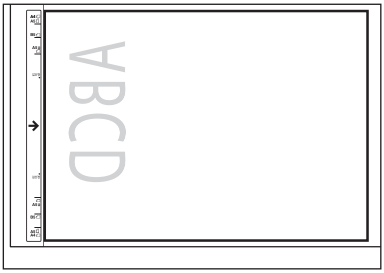
1 **原稿台ガラスカバーを開きます。**



2 **原稿を下向きにして原稿台ガラスに置きます。**

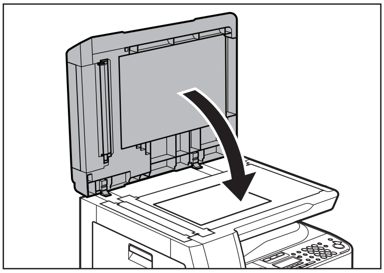


3 **用紙サイズマークに合わせて原稿をセットしてください。**



原稿が用紙サイズマークに合わない場合は、原稿の中心線を矢印に合わせてください。

4 原稿台ガラスカバーを静かに閉じます。



原稿を読み込む準備ができました。

注意

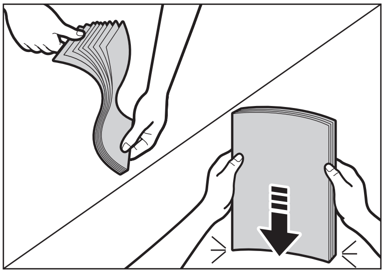
- **原稿台ガラスカバーを閉じるときは、指がはさまれないよう注意してください。けがをする恐れがあります。**
- **原稿台ガラスカバーを無理に閉じないでください。原稿台ガラスが破損してけがをする恐れがあります。**

メモ

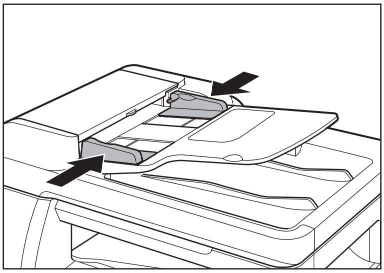
読み込みが完了したら、原稿台ガラスから原稿を取り出してください。

ADF にセットする

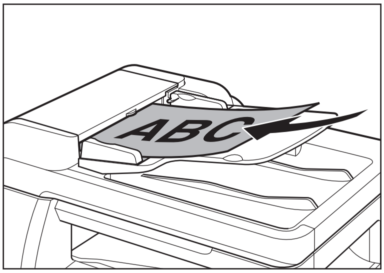
1 原稿をさばいてから、平らな場所で原稿の縁をそろえます。



2 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。



3　読み取る面を上にして、ADF に原稿をセットします。



原稿を読み込む準備ができました。

メモ

- 読み込み中に原稿を追加したり、抜いたりしないでください。
- すべての原稿が読み込まれたら、紙づまりを防ぐために原稿排紙トレイから原稿を取り出してください。
- 30 回以上 ADF で同じ原稿を読み込まないでください。繰り返し読み込まれた原稿は、折りたたまれたり破れたりして、紙づまりを起こすことがあります。
- 鉛筆で書かれた原稿を読み込んで給紙ローラが汚れた場合は、清掃してください。(→ ADF：P.11-6)

3 用紙の取り扱い

使用可能な用紙

		カセット	手差しトレイ
サイズ（幅 x 長さ）		A4	76 x 127 ～ 216 x 356 mm
坪量		64 ～ 90 g/m^2	56 ～ 128 g/m^2
枚数		最大 500 枚 *1	最大 100 枚 *1
用紙の種類	普通紙 *2	○	○
	色紙 *2	○	○
	再生紙 *2 *7	○	○
	厚紙 1*3	○	○
	厚紙 2*4	×	○
	厚紙 3*5	×	○
	OHP フィルム *6	×	○
	ラベル紙	×	○
	はがき	×	○
	4 面はがき	×	○
	封筒	×	○

（○：使用可能　×：使用不可）

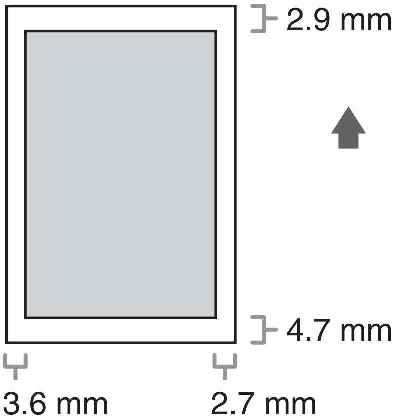
*1 80 g/m^2 の用紙
*2 64 ～ 80 g/m^2
*3 81 ～ 90 g/m^2
*4 91 ～ 105 g/m^2
*5 106 ～ 128 g/m^2
*6 本製品専用の A4 サイズの OHP フィルムをお使いください。
*7 再生紙は、古紙配合率 100%の再生紙も使用できます。

メモ

用紙サイズの初期値は A4 です。別の用紙サイズを使用する場合は、用紙サイズの設定を変更してください。（→用紙のサイズと種類を設定する：P.3-7）

プリント範囲

淡色部分は、A4 サイズ用紙のプリント範囲の目安です。下記の余白は目安であり、実際とは異なる場合があります。



用紙について

- 紙づまりを防ぐため、以下の用紙は使用しないでください。
  - しわや折り目のある紙
  - カールした、または巻いた紙
  - コート紙
  - 破れた紙
  - 湿った紙
  - 熱転写プリンタでプリントされた紙（裏面にコピーしないでください。）
- 以下の用紙ではプリントが不鮮明になります。
  - 目の粗い紙
  - つるつるした紙
  - 光沢紙
- 用紙にほこり、糸くず、油のしみが付かないようにしてください。
- 用紙を大量に購入する際は、事前に用紙を試してください。
- 用紙は包装紙で包み、平らな場所で保管してください。開封した用紙は元の包装紙で包みなおし、涼しい乾燥した場所で保管してください。
- 用紙は室温 18 ℃～ 24 ℃、相対湿度 40%～ 60%の場所で保管してください。
- OHPフィルムは、レーザプリンタ用のものを使用してください。キヤノン機専用のOHPフィルムをお使いになるようお勧めします。

用紙をセットする

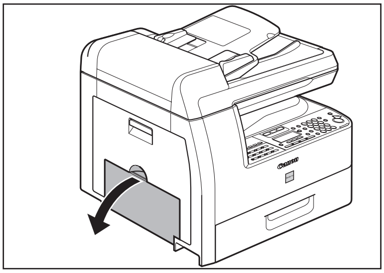
カセットに用紙をセットする方法については、スタートアップガイド「本製品のセットアップ」を参照してください。

手差しトレイにセットする（例：封筒）

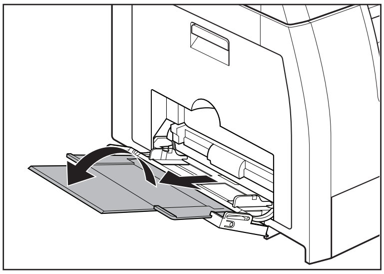
OHP フィルム、ラベル、規格外の用紙、封筒などにプリントする場合は、手差しトレイを使用してください。

- 洋形４号、洋形２号の封筒を使用してください。
- 紙づまりを防ぐため、以下のものは使用しないでください。
  - ・ 窓付き、穴あき、ミシン目付き、切り込みがある、フタが二重になっている封筒
  - ・ 特殊なコート紙の封筒や深い浮き出しのある封筒
  - ・ 剥離紙のついた封筒
  - ・ 中身の入った封筒
- プリンタドライバで正しい封筒サイズを設定してください。（オンラインヘルプを参照してください。）

1 **手差しトレイを開きます。**



2 **補助トレイを最後まで引き出してから、開きます。**

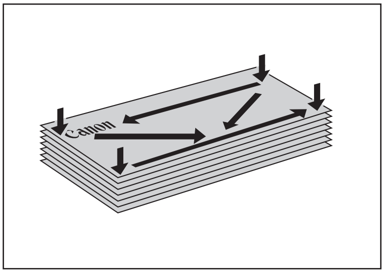


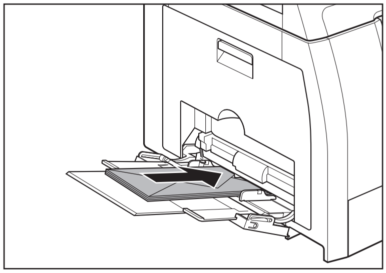
メモ

必ず補助トレイを使って用紙をセットしてください。

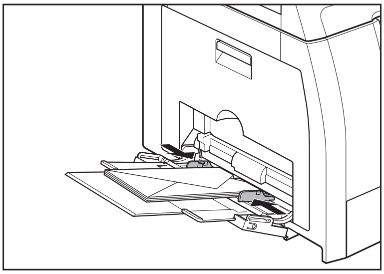
3 **宛先を印刷する面を下向きにし、フタを左にしてセットします。一番奥まで封筒を差し込みます。**

封筒をセットする場合は、平らな場所で封筒をそろえてから、4 辺を押してそろえます。
封筒の短いほうの辺にフタがついている場合は、必ずフタのついている側から手差しトレイに差し込みます。
この向きに入れないと、紙づまりの原因になります。





4 用紙ガイドを封筒の幅に合わせます。



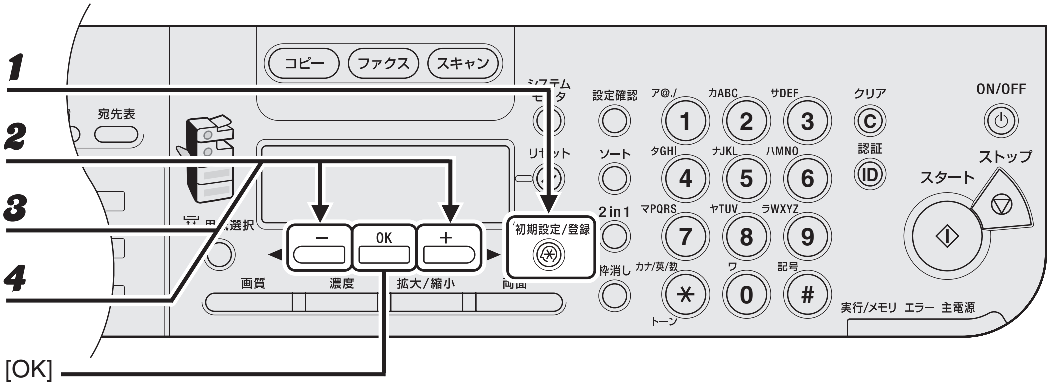
メモ

- 用紙が、枚数制限ガイドを越えないようにしてください。
- 用紙の種類によっては、手差しトレイにうまく給紙されないことがあります。より鮮明にコピーをするには、キヤノン推奨の用紙や OHP フィルムをお使いください。
- 小型サイズの用紙、厚紙などにコピーする場合は、コピー速度が通常より若干遅くなることがあります。

用紙のサイズと種類を設定する

カセットを使う場合

初期値は、＜普通紙＞と＜ A4 ＞です。別の種類の用紙をセットする場合は、以下の手順に従って設定を変更してください。

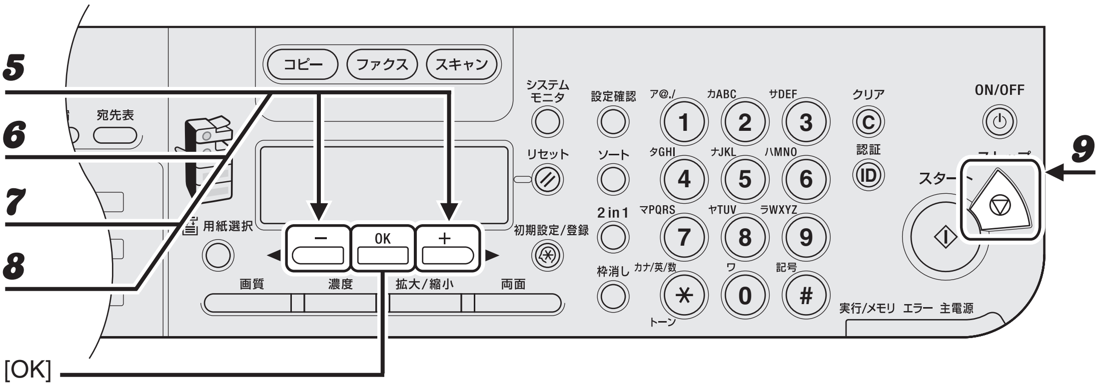


1 [初期設定／登録] を押します。

2 ＜共通仕様設定＞が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

3 [◄ −] または [+ ►] を押して＜用紙種類の登録＞を選択し、[OK] を押します。

4 ＜カセット 1 ＞が表示されていることを確認し、[OK] を押します。



5 ［◄ −］または［+ ►］を押して用紙の種類を選択し、［OK］を押します。

＜普通紙＞、＜色紙＞、＜再生紙＞、＜厚紙１＞

オプションのカセットをお使いの場合は、＜カセット２＞が表示されていることを確認し、この手順を繰り返して＜カセット２＞の用紙の種類を設定してください。

6 ＜用紙サイズの登録＞が表示されていることを確認し、［OK］を押します。

7 ＜カセット１＞が表示されていることを確認し、［OK］を押します。

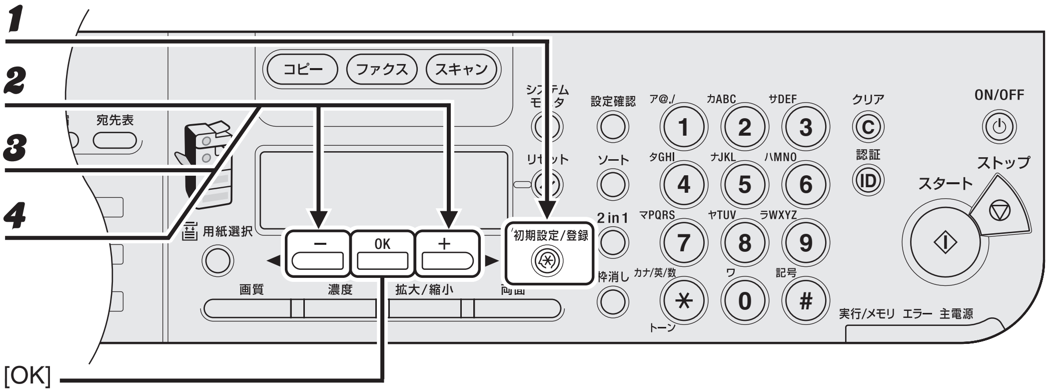
8 ［◄ −］または［+ ►］を押して用紙のサイズを選択し、［OK］を押します。

＜ A4 ＞、＜ LTR ＞、＜ LGL ＞

9 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

手差しトレイを使う場合

手差しトレイを使用してプリントする場合は、手差しトレイにセットする用紙の種類やサイズを以下の手順に従って設定してください。



1　［初期設定／登録］を押します。

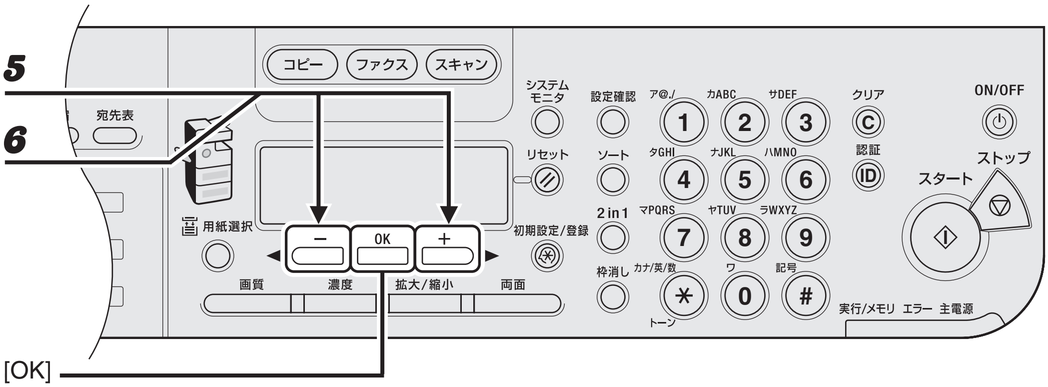
2　＜共通仕様設定＞が表示されていることを確認し、［OK］を押します。

3　［◄−］または［+►］を押して＜手差しの標準モード＞を選択し、［OK］を押します。

4　［◄−］または［+►］を押して＜する＞を選択し、［OK］を押します。

メモ

ここで＜しない＞に設定すると、手差しトレイに用紙をセットするたびに用紙サイズおよび用紙の種類の確認画面が表示されます。［◄−］または［+►］を押して、用紙サイズおよび用紙の種類を選択し、［OK］を押します。

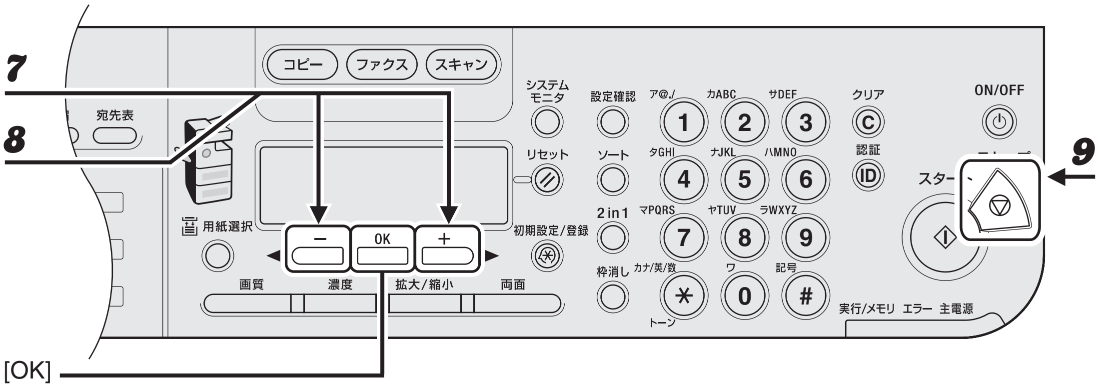


5 ＜用紙サイズ＞が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

6 [◄ −] または [+ ►] を押して用紙サイズを選択し、[OK] を押します。

＜ A4 ＞、＜ B5 ＞、＜ A5R ＞、＜ LGL ＞、＜ LTR ＞、＜ EXEC ＞、＜オフィシオ＞、＜ブラジル - オフィシオ＞、＜メキシコ - オフィシオ＞、＜ FOLIO ＞、＜ G-LTR ＞、＜ G-LGL ＞、＜ FLSP ＞
＜洋型 2 号＞ *1、＜洋型 4 号＞ *1
＜ハガキ＞、＜往復ハガキ＞、＜ 4 面ハガキ＞
＜フリーサイズ＞ *2

*1 封筒用
このサイズを選択した場合は、自動的に＜封筒＞が用紙の種類に選択され、＜用紙種類の登録＞画面は表示されません。手順 9 に進んでください。
*2 定形外用
このサイズを選択した場合は、＜縦サイズ＞に縦の大きさを入力し、[OK] を押します。
＜横サイズ＞に横の大きさを入力し、[OK] を押します。



7 ＜用紙種類の登録＞が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

8 [◄－] または [＋►] を押して用紙の種類を選択し、[OK] を押します。

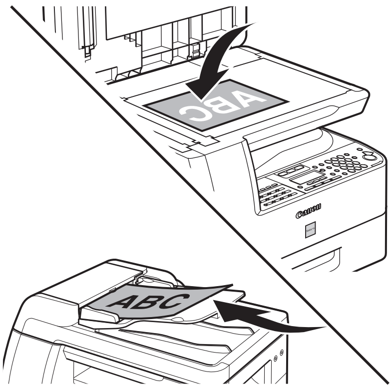
＜普通紙＞、＜色紙＞、＜再生紙＞、＜厚紙１＞、＜厚紙２＞、＜厚紙３＞、＜ OHP フィルム＞、＜ラベル用紙＞、＜ハガキ＞、＜４面ハガキ＞、＜封筒＞

9 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

4 ファクスを送信する

以下の手順に従ってファクスを送信してください。
応用機能については、操作ガイド（応用編）「第 1 章 ファクス」を参照してください。

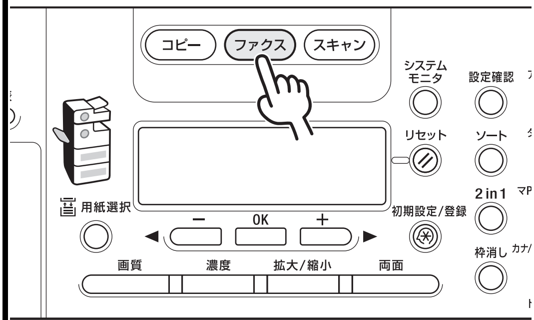
1 原稿をセットする



原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットします。

ファクスできる原稿については「使用可能な原稿」（→ P.2-1）を参照してください。

2 ファクスモードを選択する



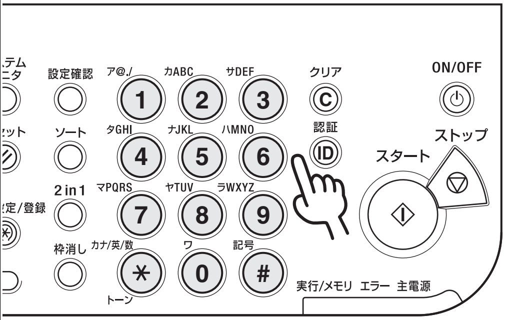
［ファクス］を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクスモードになります。

こんなときは ...

- **解像度と濃度を調整するには：**
「読み込み設定」（→ P.4-3）を参照してください。

3 ファクス番号を入力する



テンキーを使って相手先のファクス番号をダイヤルします。

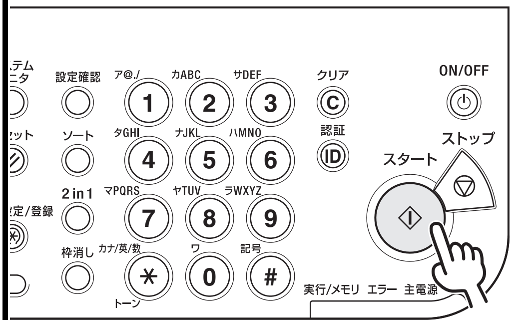
例）

TEL=012XXXXXXX

こんなときは ...

- **間違った番号を入力したとき：**
  [◄━] を押して間違った数字まで戻ります。または [クリア] を押して番号を削除します。再度入力してください。

4 原稿を送信する



[スタート] を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、[✚►] または [◄━] を押して原稿サイズを選択し、原稿 1 枚ごとに [スタート] を押します。原稿の読み込みが完了したら、[OK] を押してダイヤルします。

相手機の出力用紙が読み込んだサイズと異なる場合、送信前に元の画像が縮小されたり、分割されたりすることがあります。

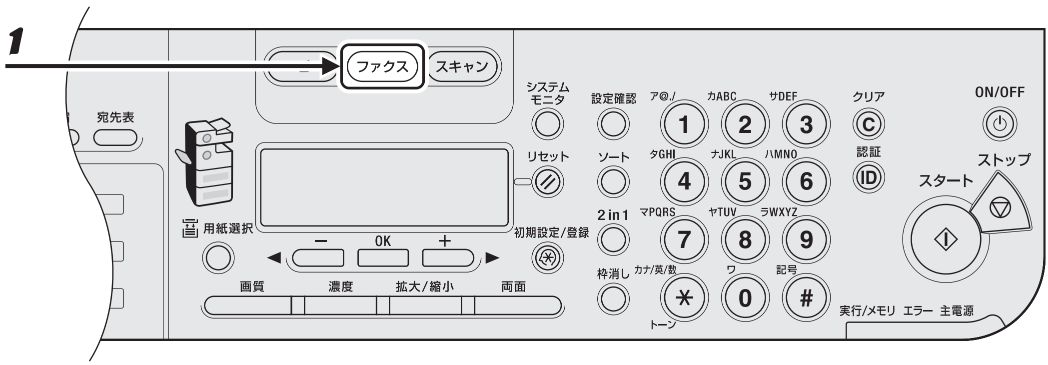
こんなときは ...

- **送信を中止するとき：**
  操作パネルの [ストップ] を押します。
  ＜ストップが押されました＞が表示されたら、[OK] を押します。
  ＜通信を中止しますか？＞が表示されたら、[◄━] を押して＜はい＞を選択します。

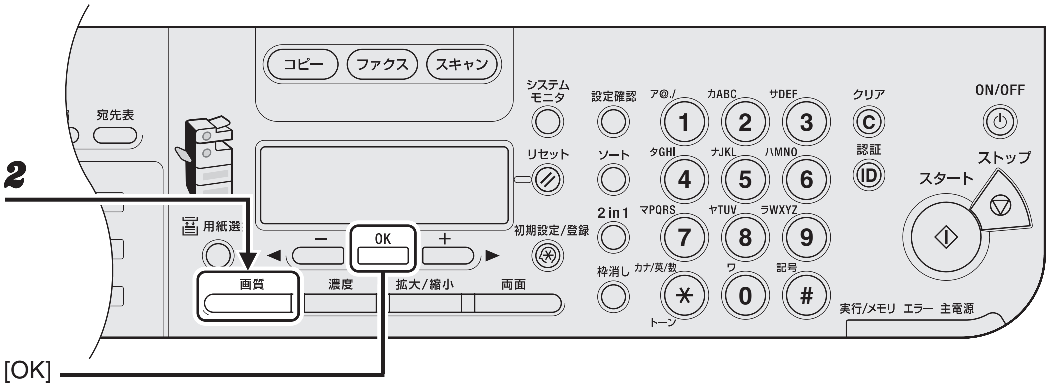
読み込み設定

送信原稿の種類に合わせて、画像と濃度を調整できます。高い画質に設定すると、出力画像は鮮明になりますが、通信速度は遅くなります。

画質



1 ［ファクス］を押します。

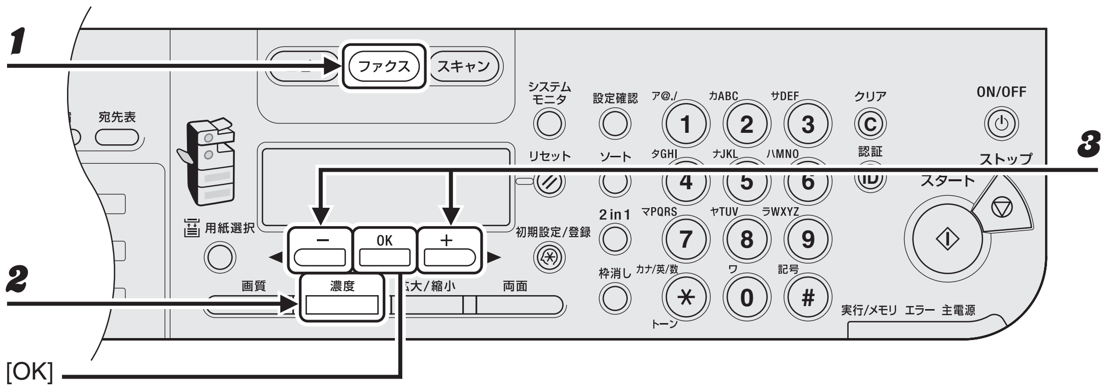


2 ［画質］を繰り返し押して希望の解像度を選択し、［OK］を押します。

［◄－］または［+►］を押して画質を選択することもできます。

＜ファイン＞は、文字の細かい原稿に適しています（解像度は＜標準＞の 2 倍）。（200 x 200 dpi）
＜写真＞は、写真を含む原稿に適しています（解像度は＜標準＞の 2 倍）。（200 x 200 dpi）
＜スーパーファイン＞は、細かい文字と画像を含む原稿に適しています（解像度は＜標準＞の 4 倍）。（200 x 400 dpi）
＜ウルトラファイン＞は、細かい文字と画像を含む原稿に適しています（解像度は＜標準＞の 8 倍）。（400 x 400 dpi）
＜標準＞は、文字のみの原稿に適しています。（200 x 100 dpi）

濃度



1 ［ファクス］を押します。

2 ［濃度］を押します。

3 ［◄ −］または［+ ►］を押して濃度を選択し、［OK］を押します。

［+ ►］：原稿の濃度を濃くします。
［◄ −］：原稿の濃度を薄くします。

スピードダイヤル

スピードダイヤルを使うと、キーを 1 つまたは数個押すだけでファクス／電話番号に簡単にダイヤルできます。以下のスピードダイヤルがあります：

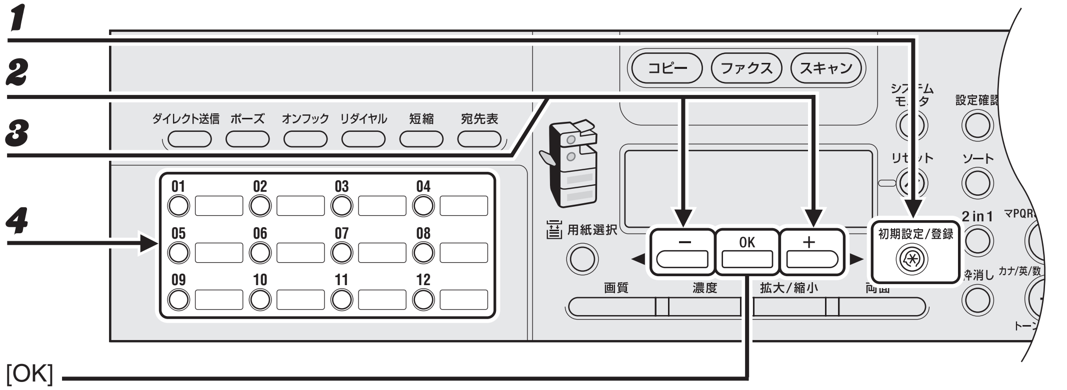
- ワンタッチダイヤル（→ P.4-7）
  - ・ ワンタッチダイヤルにファクス／電話番号を登録すると、割り当てられたキーを押すだけでその番号をダイヤルできます。ワンタッチダイヤルは、グループダイヤルも含めて最大で 23 件まで登録できます。
- 短縮ダイヤル（→ P.4-15）
  - ・ 短縮ダイヤルにファクス／電話番号を登録すると、[短縮] を押し、割り当てられた 2 桁の番号を押すだけでその番号にダイヤルできます。
    短縮ダイヤルは、グループダイヤルも含めて最大で 100 件まで登録できます。
- グループダイヤル（→ P.4-23）
  - ・ ファクス番号（ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されている必要があります）のグループを登録すると、ワンタッチダイヤルキーを押すか、[短縮] を押してグループに登録した 2 桁の番号を押すだけで、同じ原稿をグループの全員に送信することができます。最大で 122 件まで登録できます。

スピードダイヤルの相手先を登録する

相手先に対して以下を登録できます：

・ 名前（任意）
・ ファクス番号（必須）

● ワンタッチダイヤルを登録する



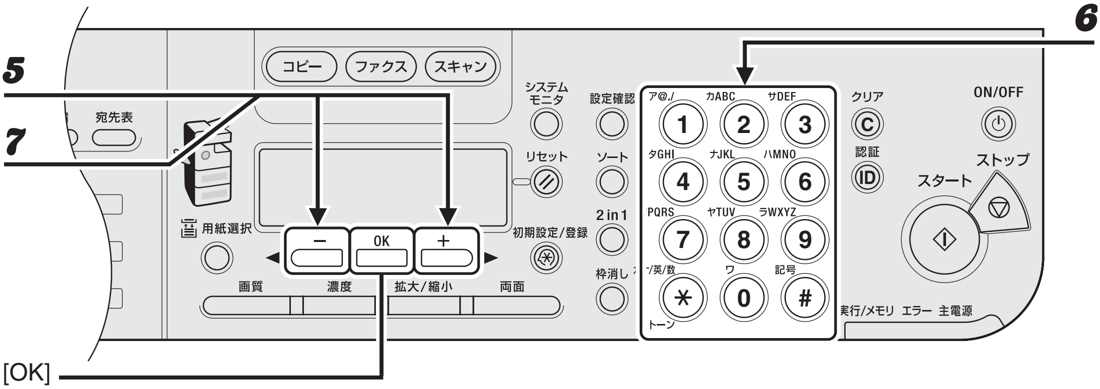
1 [初期設定／登録] を押します。

2 [◄−] または [+►] を押して＜宛先表仕様設定＞を選択し、[OK] を押します。

3 ＜ワンタッチダイヤル＞が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

4 ファクス番号を登録するワンタッチダイヤルキー(01 ～ 23)を押し、[OK]を押します。

[◄−] または [+►] を押してワンタッチダイヤルを選択することもできます。



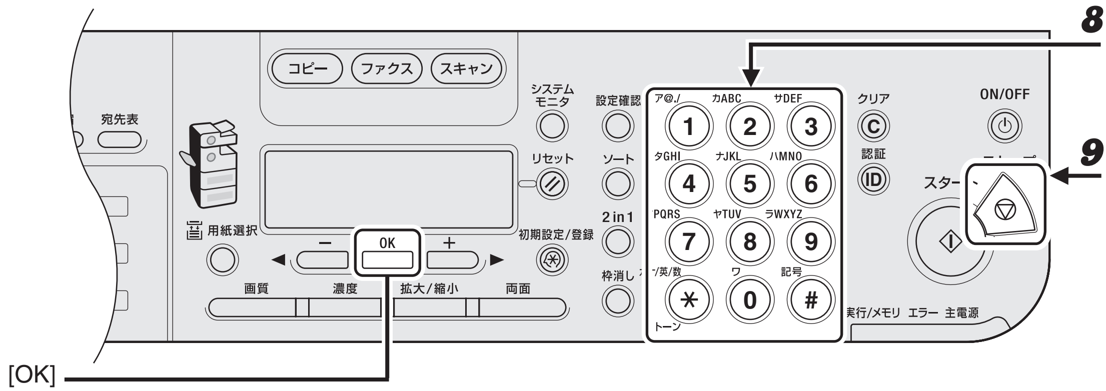
5　＜電話番号＞が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

6　テンキーを使って、登録するファクス番号（スペースとポーズを含め最大 120 桁）を入力し、[OK] を押します。

例）

電 話 番 号
012XXXXXXX_

7　＜名前＞が表示されていることを確認し、[OK] を押します。



---

8 テンキーを使って相手先の名前（スペースを含め最大 16 文字）を入力し、［OK］を押します。

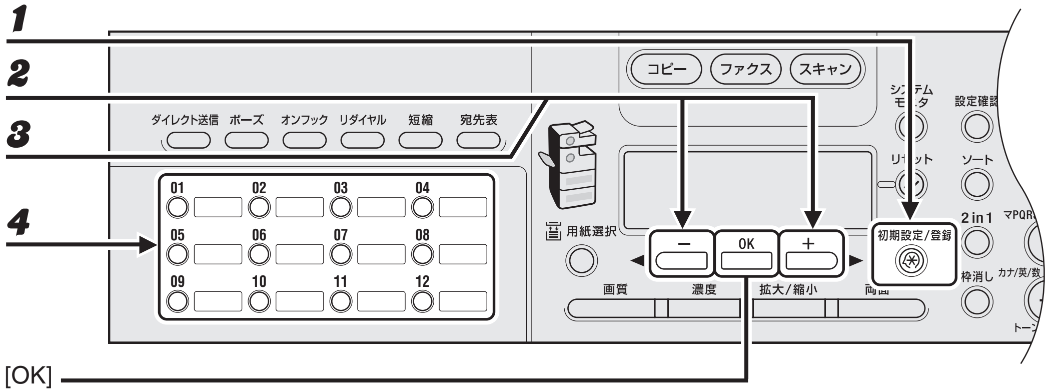
別のワンタッチダイヤルキーに登録するには、［初期設定／登録］を押し、手順 4 から繰り返します。
それぞれの相手先に対して<詳細設定>を設定することができます。詳細については、操作ガイド（応用編）「第 1 章 ファクス」を参照してください。

例）

名 前 ｷﾔﾉ

9 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

● ワンタッチダイヤルを編集する

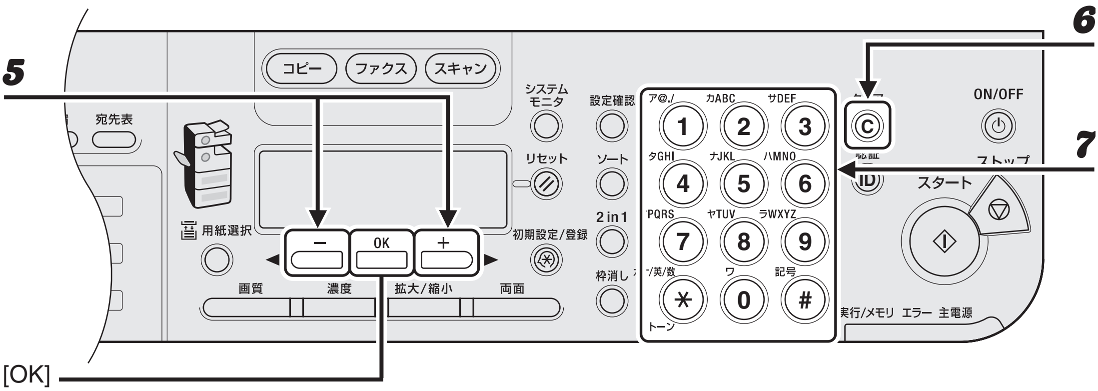


1 [初期設定／登録] を押します。

2 [◄ –] または [+ ►] を押して＜宛先表仕様設定＞を選択し、[OK] を押します。

3 ＜ワンタッチダイヤル＞が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

4 編集するワンタッチダイヤルキー（01 ～ 23）を押し、[OK] を押します。

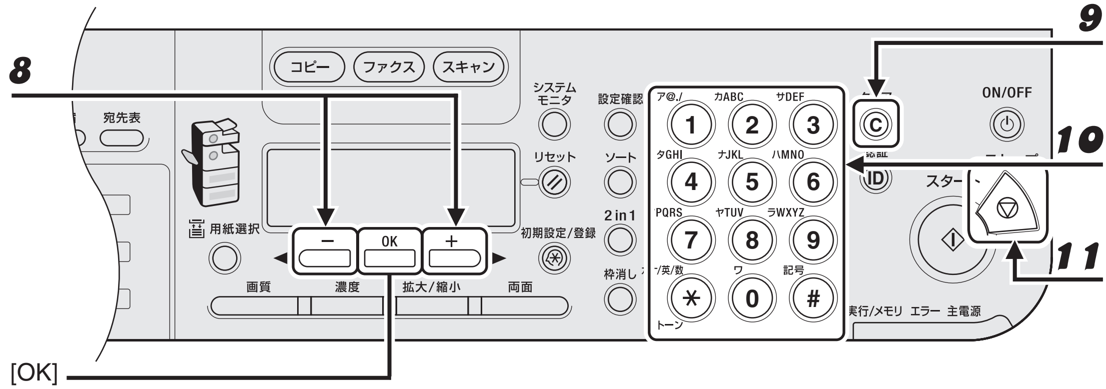


5 ＜電話番号＞が表示されていることを確認し、［OK］を押します。

6 ［クリア］を繰り返し押して編集する数字に戻ります。

［◄－］を使うこともできます。
番号全体を削除するには、［クリア］を長押しします。

7 テンキーを使って新しい番号を入力し、［OK］を押します。



8 <名前>が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

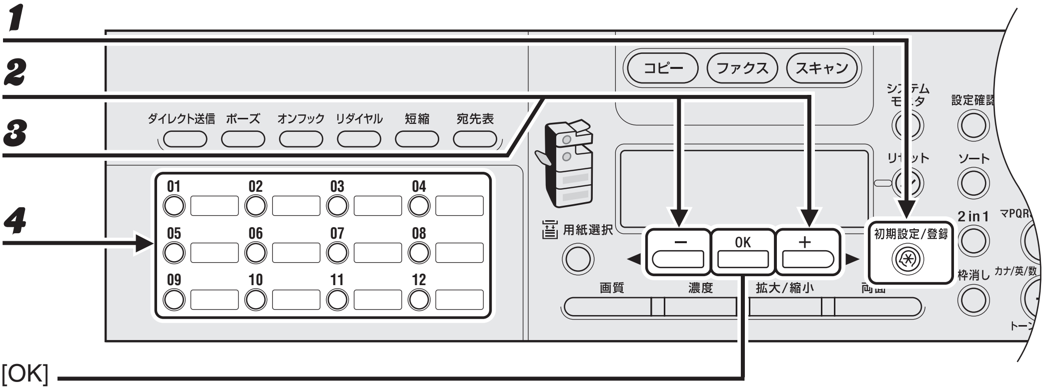
9 [クリア] を繰り返し押して編集する文字に戻ります。

[◄−] を使ってカーソルを編集する文字に動かし、[クリア] を押して削除することもできます。
名前全体を削除するには、[クリア] を長押しします。

10 テンキーを使って新しい名前を入力し、[OK] を押します。

11 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

● ワンタッチダイヤルを削除する

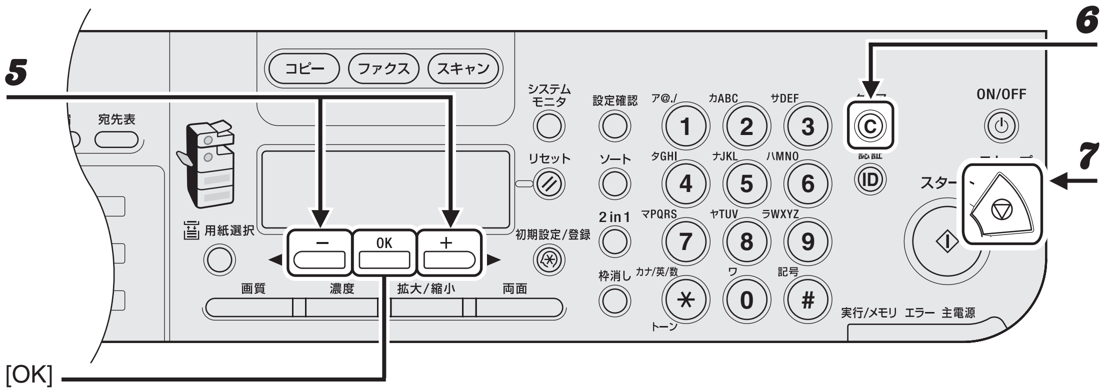


1 [初期設定／登録] を押します。

2 [◄ –] または [+ ►] を押して<宛先表仕様設定>を選択し、[OK] を押します。

3 <ワンタッチダイヤル>が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

4 削除するワンタッチダイヤルキー（01 ～ 23）を押し、[OK] を押します。



5 <電話番号>が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

6 [クリア] を長押しして番号を削除し、[OK] を押します。

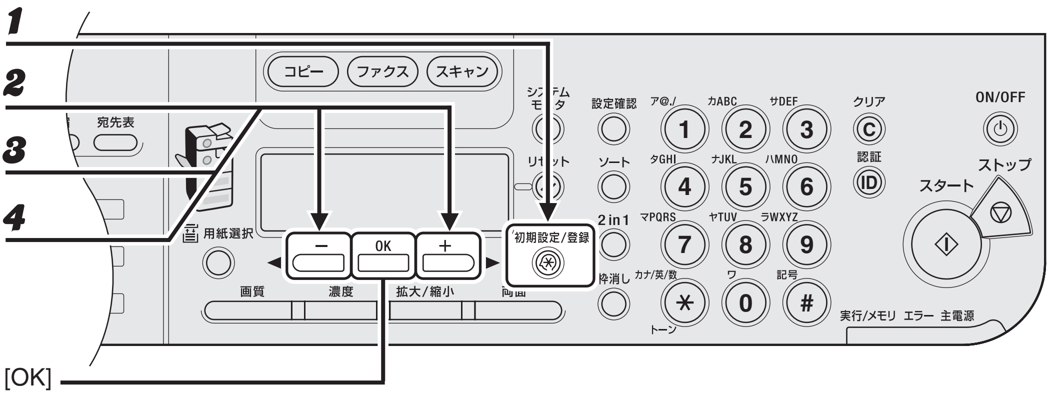
[◄−] を使って数字を 1 つずつ削除することもできます。

7 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

メモ

番号全体を削除した場合は、登録された名前も自動的に削除されます。

● 短縮ダイヤルを登録する



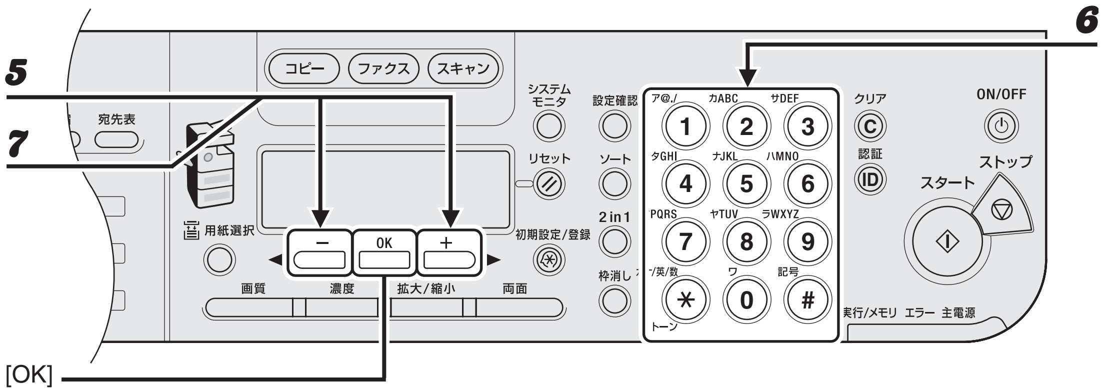
1 [初期設定／登録] を押します。

2 [◄－] または [＋►] を押して<宛先表仕様設定>を選択し、[OK] を押します。

3 [◄－] または [＋►] を押して<短縮ダイヤル>を選択し、[OK] を押します。

4 [◄－] または [＋►] を押して短縮ダイヤル番号（00 ～ 99）を選択し、[OK] を押します。

[短縮] を押したあと、テンキーを使って短縮ダイヤル番号を入力することもできます。



---

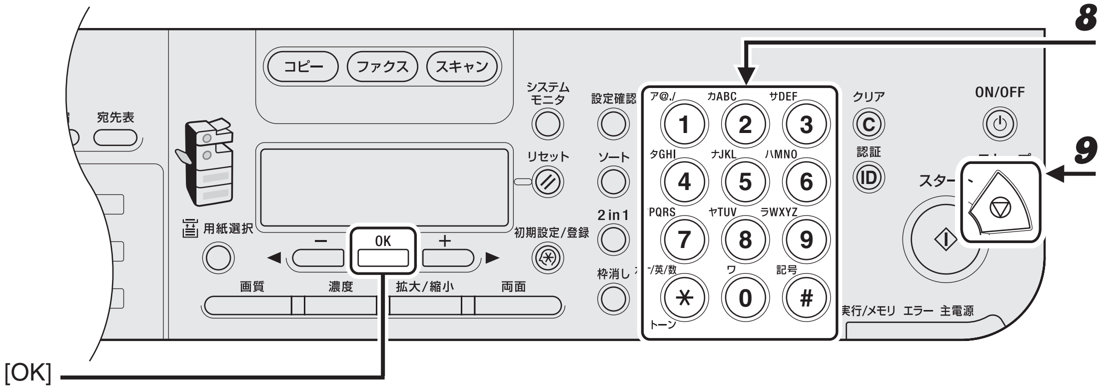
5 **＜電話番号＞が表示されていることを確認し、[OK] を押します。**

6 **テンキーを使って登録するファクス番号（スペースとポーズを含め最大 120 桁）を入力し、[OK] を押します。**

例)

電 話 番 号 012XXXXXXX_

7 **＜名前＞が表示されていることを確認し、[OK] を押します。**



8 **テンキーを使って相手先の名前（スペースを含め最大 16 文字）を入力し、[OK］を押します。**

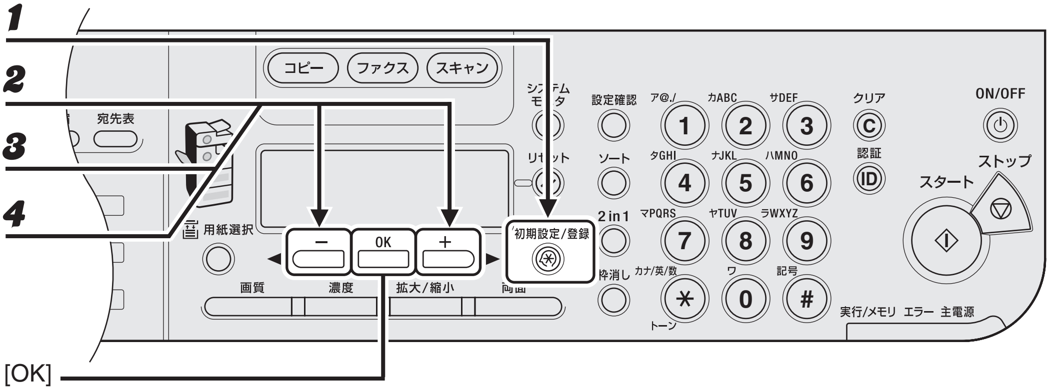
別の短縮ダイヤル番号を登録するには、［初期設定／登録］を押し、手順 4 から繰り返します。
それぞれの相手先に対して＜詳細設定＞を設定することができます。詳細については、操作ガイド（応用編）「第 1 章 ファクス」を参照してください。

例）

名 前
キヤノ

9 **［ストップ］を押して待受画面に戻ります。**

● 短縮ダイヤルを編集する

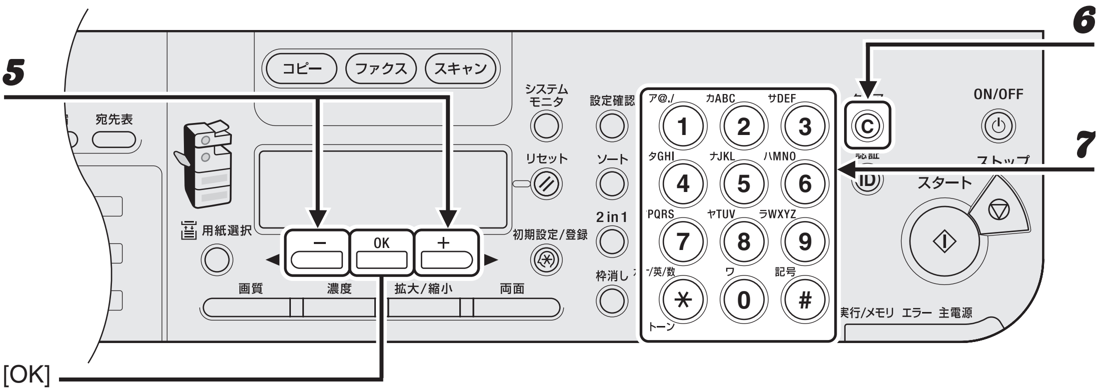


1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ –］または［+ ►］を押して＜宛先表仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ –］または［+ ►］を押して＜短縮ダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ –］または［+ ►］を押して編集する短縮ダイヤル番号（00 ～ 99）を選択し、［OK］を押します。

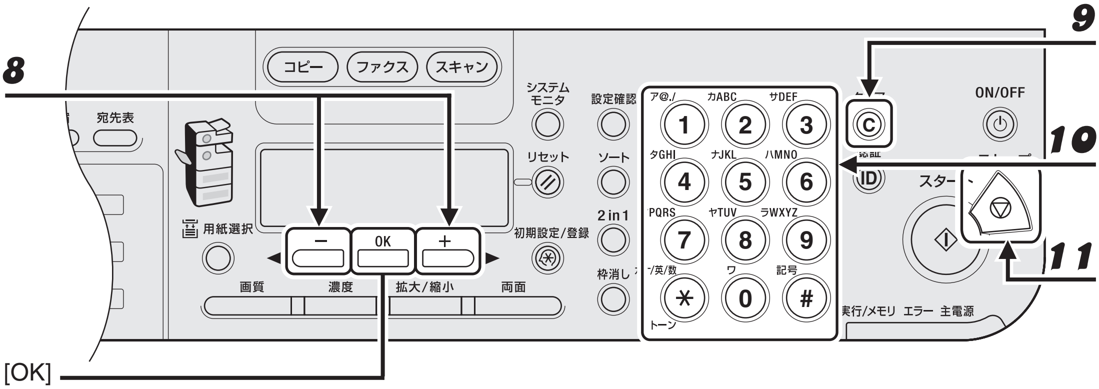


5 ＜電話番号＞が表示されていることを確認し、［OK］を押します。

6 ［クリア］を繰り返し押して編集する数字に戻ります。

［◄－］を使うこともできます。
番号全体を削除するには、［クリア］を長押しします。

7 テンキーを使って新しい番号を入力し、［OK］を押します。



8 <名前>が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

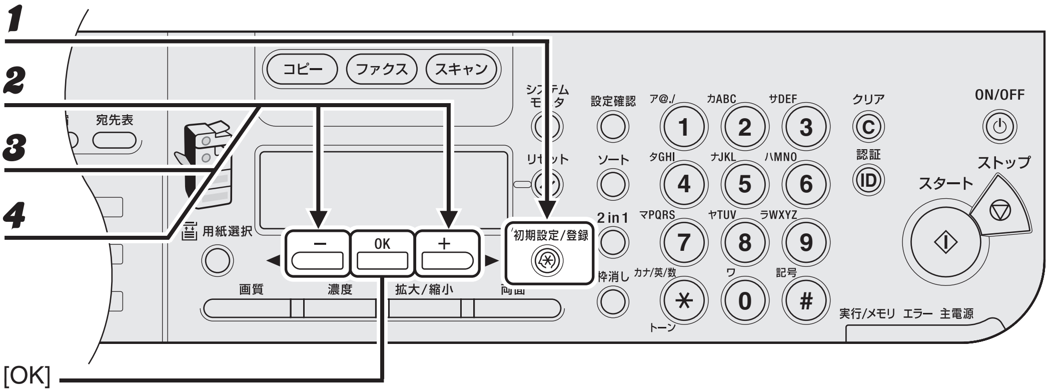
9 [クリア] を繰り返し押して編集する文字に戻ります。

[◄－] を使ってカーソルを編集する文字に動かし、[クリア] を押して削除することもできます。
名前全体を削除するには、[クリア] を長押しします。

10 テンキーを使って新しい名前を入力し、[OK] を押します。

11 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

● 短縮ダイヤルを削除する

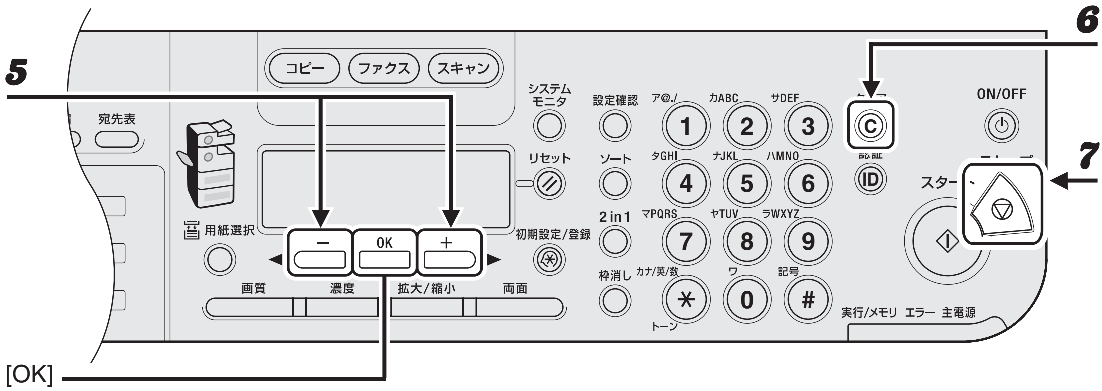


1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜宛先表仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜短縮ダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ −］または［+ ►］を押して削除する短縮ダイヤル番号（00 〜 99）を選択し、［OK］を押します。



5 **<電話番号>が表示されていることを確認し、[OK] を押します。**

6 **[クリア] を長押しして番号を削除し、[OK] を押します。**

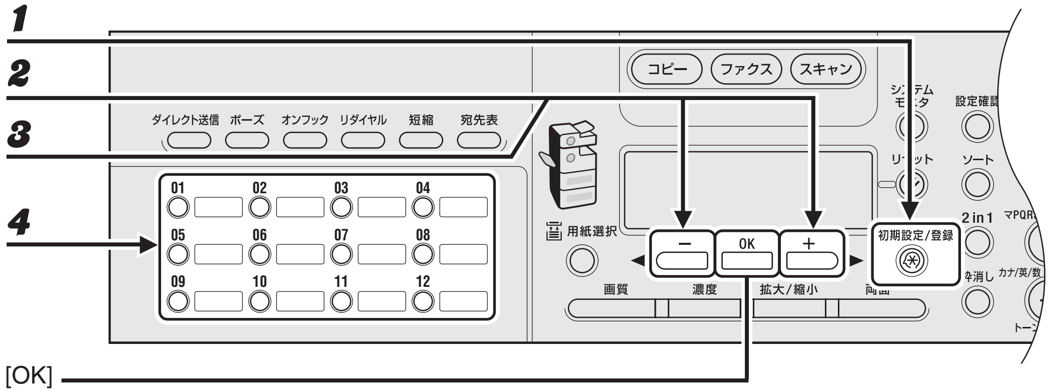
[◄−] を使って数字を 1 つずつ削除することもできます。

7 **[ストップ] を押して待受画面に戻ります。**

メモ

番号全体を削除した場合は、登録された名前も自動的に削除されます。

● グループダイヤルを登録する



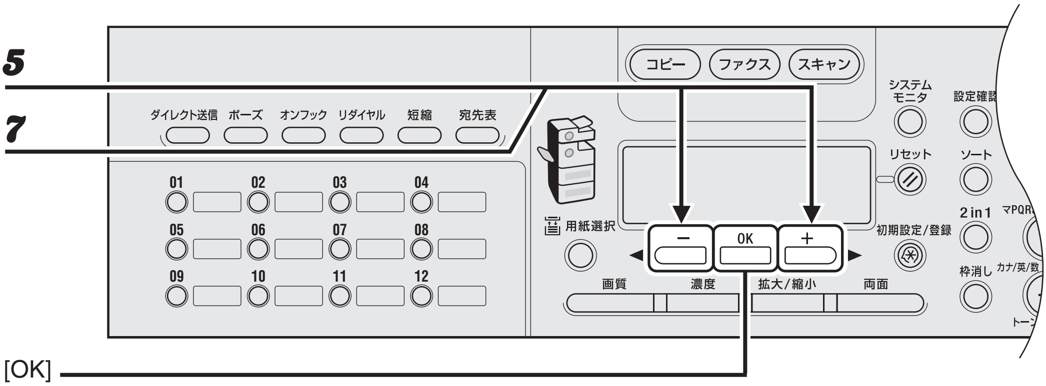
1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［＋ ►］を押して＜宛先表仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ −］または［＋ ►］を押して＜グループダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

4 空いているワンタッチダイヤルキー、または短縮ダイヤル番号を指定し、［OK］を押します。

ワンタッチダイヤルキーの選択方法については、「ワンタッチダイヤルを登録する」（→ P.4-7）を参照してください。
短縮ダイヤルの選択方法については、「短縮ダイヤルを登録する」（→ P.4-15）を参照してください。



5 **<電話番号>が表示されていることを確認し、[OK] を押します。**

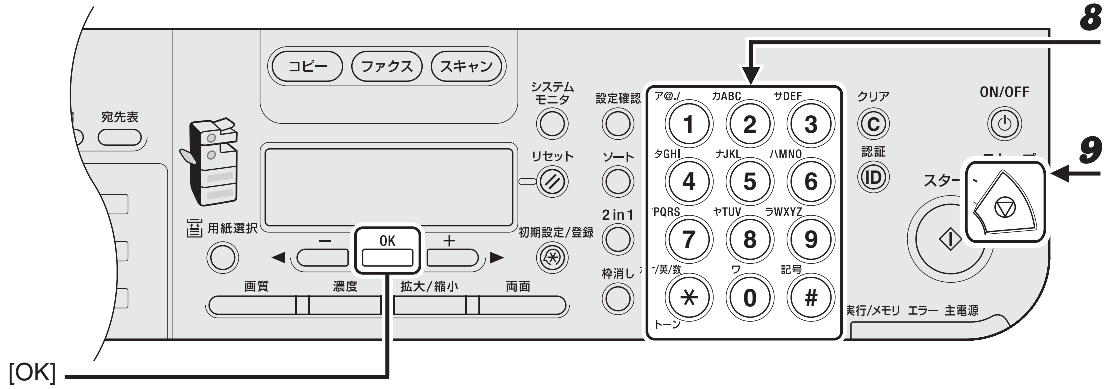
6 **グループに登録するスピードダイヤル番号（最大で 122 件）をすべて選択し、[OK] を押します。**

スピードダイヤル番号とは、ファクス／電話番号が登録されているワンタッチダイヤル番号や短縮ダイヤル番号のことです。
ワンタッチダイヤルキーに登録されている番号をグループに登録するには、登録するワンタッチダイヤルキーを押します。
短縮ダイヤル番号に登録されている番号をグループに登録するには、[短縮] を押し、テンキーを使って 2 桁の短縮番号を入力します。複数の番号を登録する場合は、1 つの番号を登録するごとに [短縮] を押します。

メモ

登録した番号を確認するには、[◄−] または [+►] を押します。

7 **<名前>が表示されていることを確認し、[OK] を押します。**



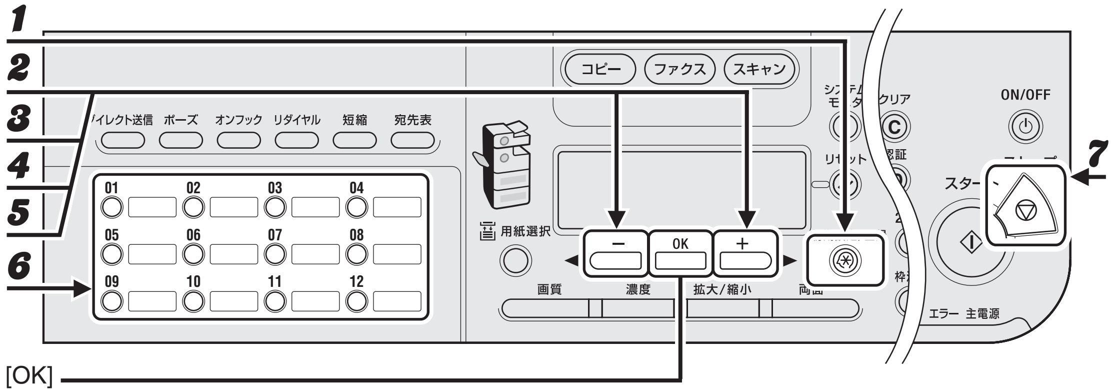
8 テンキーを使ってグループの名前（スペースを含め最大 16 文字）を入力し、[OK] を押します。

例）

```
名 前
ｷﾔﾉﾝ ｸﾞﾙｰﾌﾟ_
```

9 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

● グループに相手先を追加する



1 [初期設定／登録] を押します。

2 [◄ −] または [+ ►] を押して＜宛先表仕様設定＞を選択し、[OK] を押します。

3 [◄ −] または [+ ►] を押して＜グループダイヤル＞を選択し、[OK] を押します。

4 [◄ −] または [+ ►] を押して相手先を追加するグループダイヤルを選択し、[OK] を押します。

ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 23）を押して選択することもできます。
短縮ダイヤル番号に登録されているグループダイヤルを選択するには［短縮］を押し、テンキーを使って 2 桁の短縮番号を入力します。

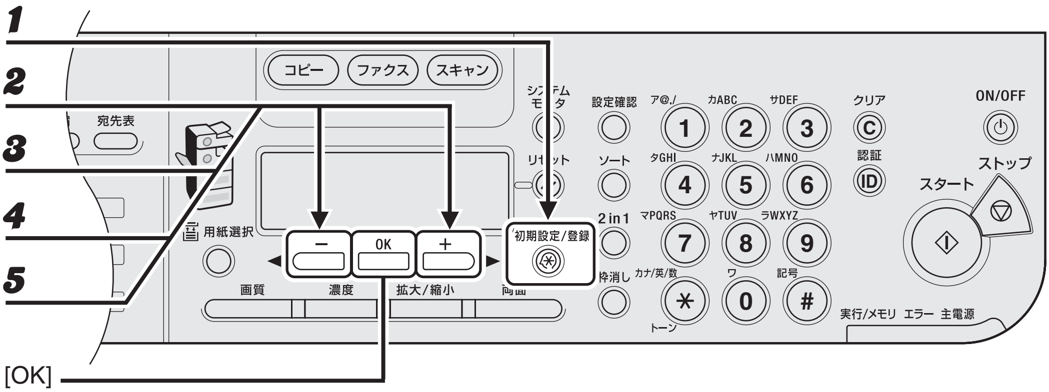
5 ＜電話番号＞が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

6 グループに追加するスピードダイヤル番号を選択し、[OK] を押します。

スピードダイヤル番号の登録については、「グループダイヤルを登録する」（→ P.4-23）を参照してください。

7 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

● グループから相手先を削除する



1. [初期設定／登録] を押します。

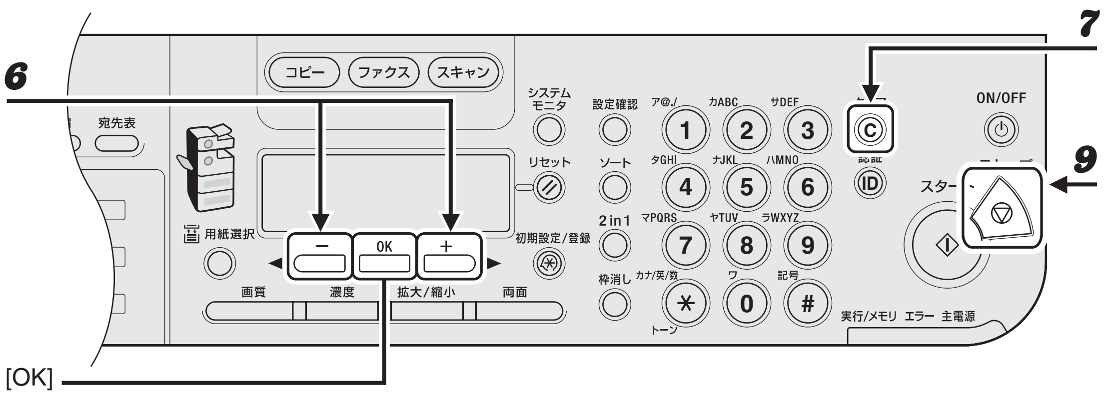
2. [◄ −] または [+ ►] を押して<宛先表仕様設定>を選択し、[OK] を押します。

3. [◄ −] または [+ ►] を押して<グループダイヤル>を選択し、[OK] を押します。

4. [◄ −] または [+ ►] を押して編集するグループダイヤルを選択し、[OK] を押します。

   ワンタッチダイヤルキー（01 〜 23）を押して選択することもできます。
   短縮ダイヤル番号に登録されているグループダイヤルを選択するには［短縮］を押し、テンキーを使って 2 桁の短縮番号を入力します。

5. <電話番号>が表示されていることを確認し、[OK] を押します。



6 ［◄ −］または［+ ►］を押して、グループから削除するスピードダイヤル番号を表示します。

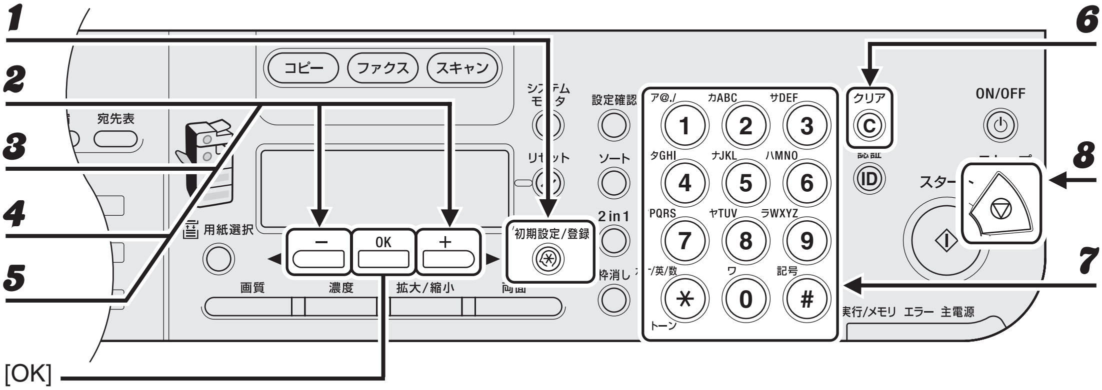
7 ［クリア］を押します。

別のスピードダイヤル番号を削除するには、手順 6 と 7 を繰り返します。

8 ［OK］を押します。

9 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

● グループ名を変更する



1 **[初期設定／登録] を押します。**

2 **[◄ −] または [+ ►] を押して＜宛先表仕様設定＞を選択し、[OK] を押します。**

3 **[◄ −] または [+ ►] を押して＜グループダイヤル＞を選択し、[OK] を押します。**

4 **[◄ −] または [+ ►] を押して編集するグループダイヤルを選択し、[OK] を押します。**

ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 23）を押して選択することもできます。
短縮ダイヤル番号に登録されているグループダイヤルを選択するには［短縮］を押し、テンキーを使って 2 桁の短縮番号を入力します。

5 **[◄ −] または [+ ►] を押して＜名前＞を選択し、[OK] を押します。**

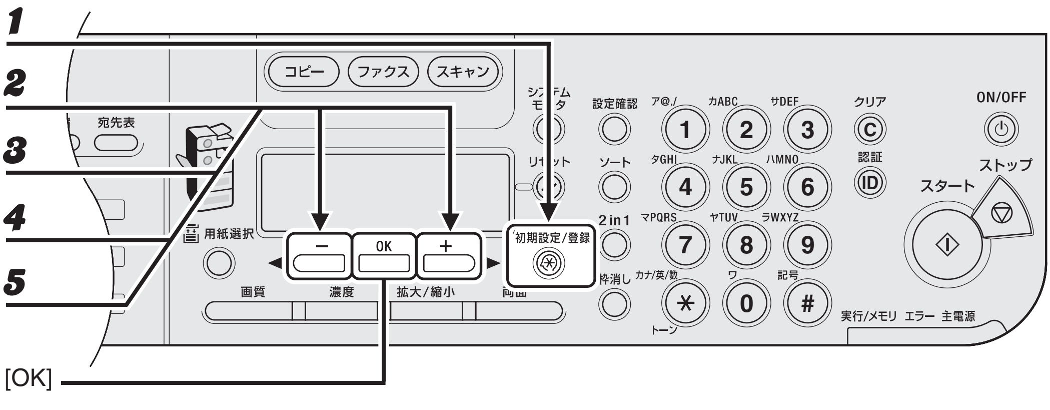
6 **[クリア] を繰り返し押して編集する文字に戻ります。**

［◄ −］を使ってカーソルを編集する文字に動かし、［クリア］を押して削除することもできます。
名前全体を削除するには、［クリア］を長押しします。

7 **テンキーを使って新しい名前を入力し、[OK] を押します。**

8 **[ストップ] を押して待受画面に戻ります。**

● **グループダイヤルを削除する**



---

1 [初期設定／登録] を押します。

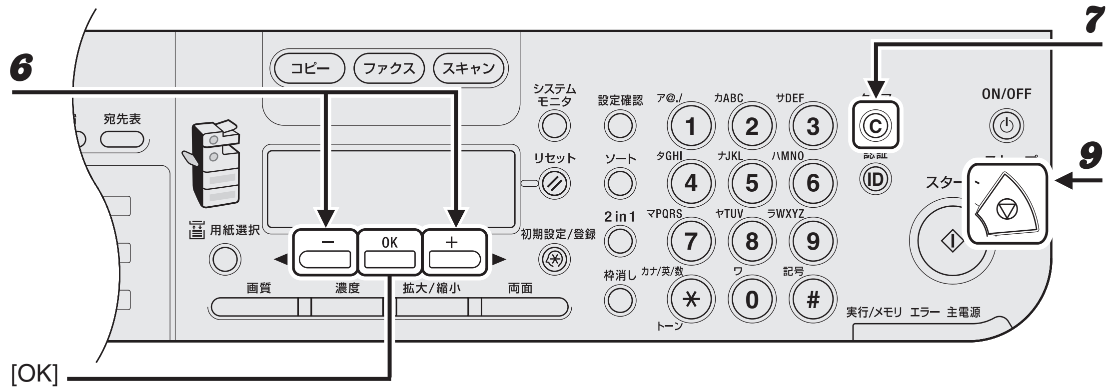
2 [◄ −] または [+ ►] を押して<宛先表仕様設定>を選択し、[OK] を押します。

3 [◄ −] または [+ ►] を押して<グループダイヤル>を選択し、[OK] を押します。

4 [◄ −] または [+ ►] を押して削除するグループダイヤルを選択し、[OK] を押します。

ワンタッチダイヤルキー（01 〜 23）を押して選択することもできます。
短縮ダイヤル番号に登録されているグループダイヤルを選択するには［短縮］を押し、テンキーを使って 2 桁の短縮番号を入力します。

5 <電話番号>が表示されていることを確認し、[OK] を押します。



6 ［◄－］または［＋►］を押してスピードダイヤル番号を表示させます。

7 ［クリア］を押します。

8 手順 6 と 7 を繰り返してすべてのスピードダイヤル番号を削除し、［OK］を押します。

9 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

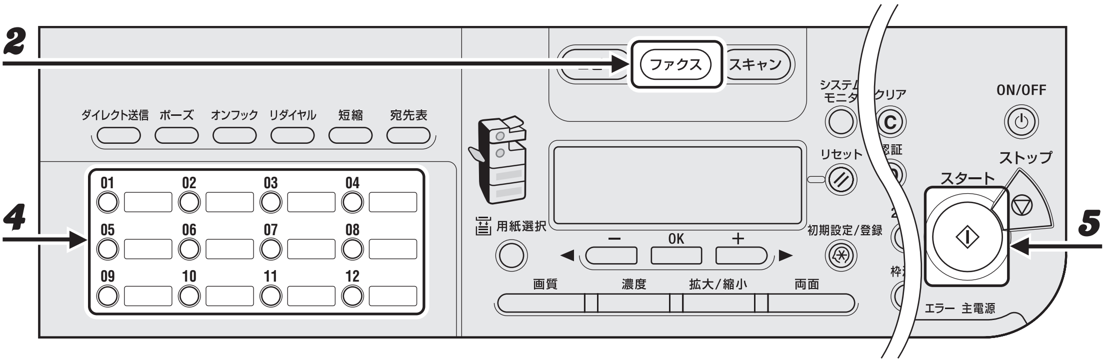
メモ

すべての番号を削除した場合は、登録された名前は自動的に削除されます。

スピードダイヤルを使用する

以下の手順で、登録した相手先にスピードダイヤルを使ってファクスを送信できます。登録した番号を参照できるよう、宛先表リストをプリントすることもできます。（→レポート出力：P.13-20）

● ワンタッチダイヤル／グループダイヤルを使用する



---

1 **原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットします。**

2 **［ファクス］を押します。**

3 **必要に応じて、原稿の設定を調整します。**

詳細については、「読み込み設定」（→ P.4-3）を参照してください。

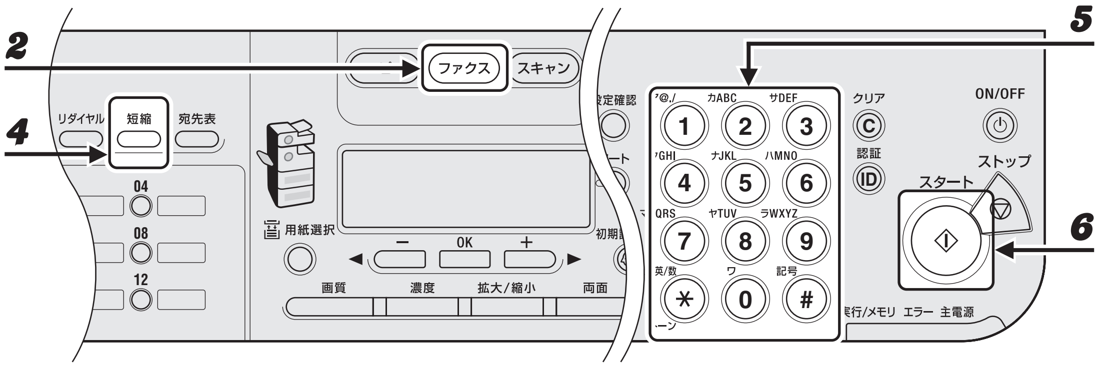
4 **ワンタッチダイヤル／グループダイヤルキー（01 ～ 23）を押します。**

間違ったキーを押した場合は、［クリア］を押してやりなおしてください。

5 **［スタート］を押してダイヤルします。**

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、［◄－］または［＋►］を押して原稿サイズを選択し、原稿 1 枚ごとに［スタート］を押します。原稿の読み込みが完了したら、［OK］を押してダイヤルします。

● 短縮ダイヤル／グループダイヤルを使用する



1 **原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットします。**

2 **［ファクス］を押します。**

3 **必要に応じて、原稿の設定を調整します。**

詳細については、「読み込み設定」（→ P.4-3）を参照してください。

4 **［短縮］を押します。**

5 **テンキーを使って、相手先に登録した 2 桁の番号（00 ～ 99）を入力します。**

例）

```
TEL=012XXXXXXX
[*01]ｷﾔﾉﾝ
```

間違った番号を入力した場合は、［クリア］を押し、手順 3 からやりなおしてください。

6 **［スタート］を押してダイヤルします。**

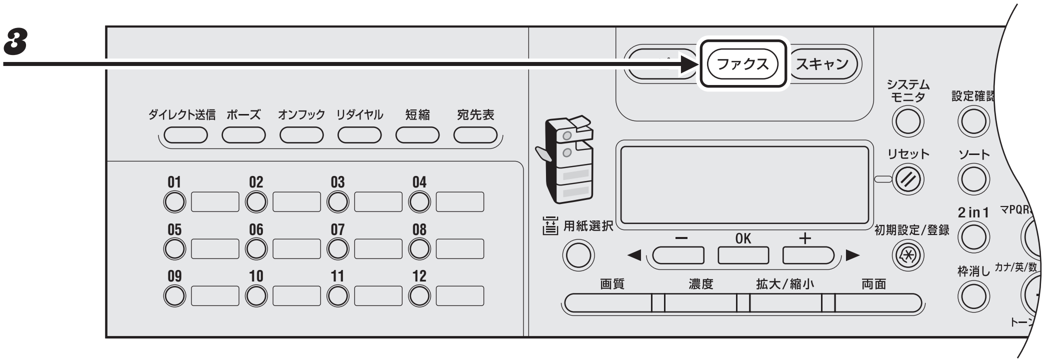
原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、［◄－］または［＋►］を押して原稿サイズを選択し、原稿 1 枚ごとに［スタート］を押します。原稿の読み込みが完了したら、［OK］を押してダイヤルします。

手動で送信する

原稿を送信する前に相手と話をしたい場合、または相手先のファクス機が自動受信できない場合は、手動で送信してください。

メモ

・ 手動送信では、原稿台ガラスは使用できません。
・ 手動送信では、グループダイヤルは使用できません。



1 **送信前に相手と話をする場合は、外付け電話機を本製品に接続します。**

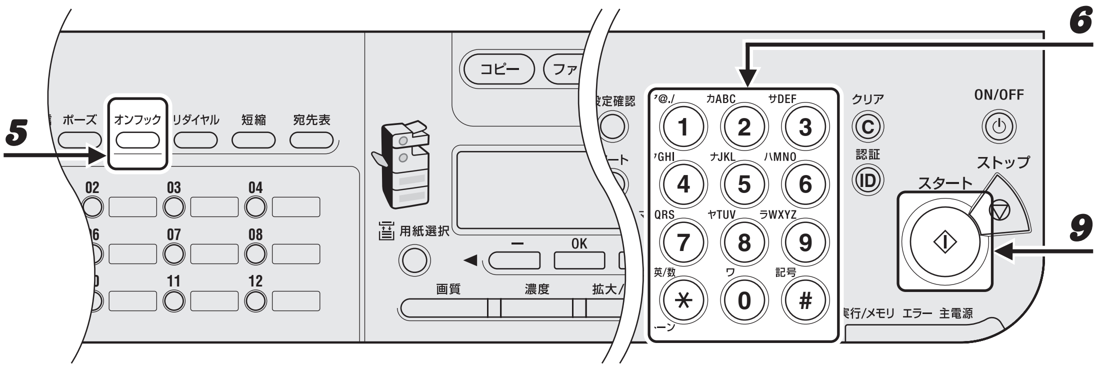
外付け電話機の接続方法については、スタートアップガイド「本製品のセットアップ」を参照してください。

2 **ADF に原稿をセットします。**

3 **[ファクス] を押します。**

4 **必要に応じて、原稿の設定を調整します。**

詳細については、「読み込み設定」(→ P.4-3)を参照してください。



5 [オンフック] を押すか、外付け電話機の受話器を取ります。

6 相手先のファクス／電話番号をダイヤルします。

メモ

ファクス番号を入力する前に、発信音を確認してください。発信音を確認する前に番号を入力すると、通じなかったり、間違った番号にかかったりすることがあります。

7 受話器で相手と話します。

手順５で［オンフック］を押した場合は、相手先の声が聞こえたら受話器を取ります。
相手先の声ではなく「ピー」という音が聞こえた場合は、手順９に進んでください。

8 ファクスの受信準備をするよう相手先に依頼します。

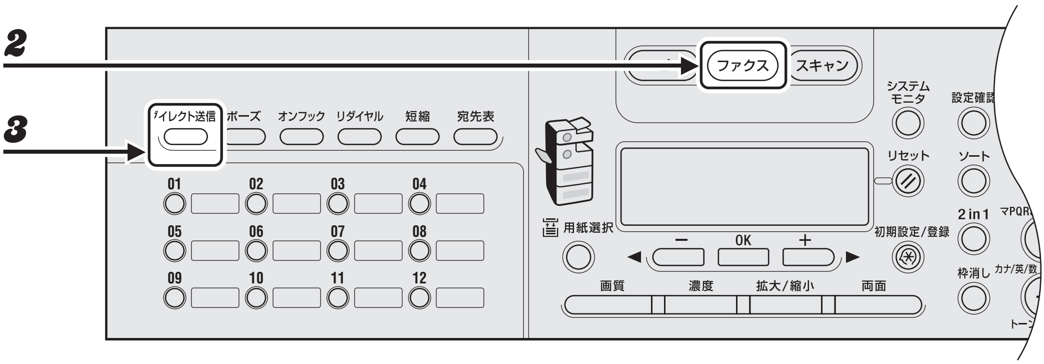
9 「ピー」という音が聞こえたら［スタート］を押し、受話器を置きます。

ダイレクト送信する

ダイレクト送信は、メモリに保存せず、ADF 内の原稿を 1 ページずつ読み込んで送信します。メモリに保存された原稿を送信する前に、原稿を送信できます。

メモ

- ダイレクト送信では、原稿台ガラスは使用できません。
- ダイレクト送信では、グループダイヤルは使用できません。
- ダイレクト送信では、1 ページずつをメモリに読み込み、直ちに送信します。<メモリがいっぱいです>が表示された場合は、ダイレクト送信を選択していても、1 ページ分を保存できるメモリが空くまで待つか、メモリ内の原稿を削除してから、やりなおしてください。（→操作ガイド（応用編）「第 5 章 システムモニター」）

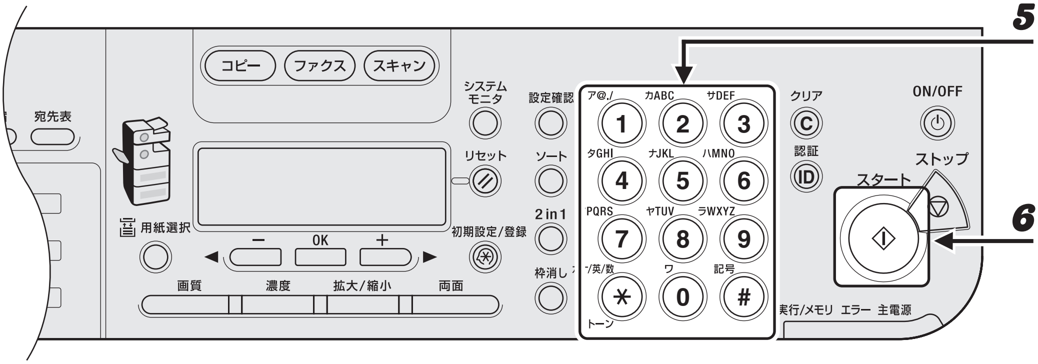


1 ADF に原稿をセットします。

2 ［ファクス］を押します。

3 ［ダイレクト送信］を押します。

ダイレクト送信をキャンセルするには、もう一度［ダイレクト送信］を押してください。



4 必要に応じて、原稿の設定を調整します。

詳細については、「読み込み設定」（→ P.4-3）を参照してください。

5 相手先のファクス／電話番号をダイヤルします。

タイマー送信または同報送信が選択されている場合は、メモリ送信が自動的に選択されます。

6 ［スタート］を押します。

読み込まれた各ページが、直ちに送信されます。

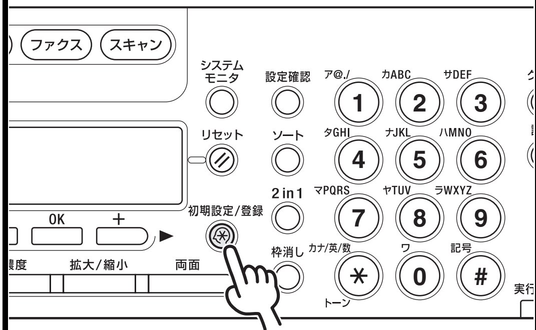
メモ

通信中に、<送信中>と相手先のファクス番号または電話番号が交互にディスプレイに表示されます。

5 ファクスを受信する

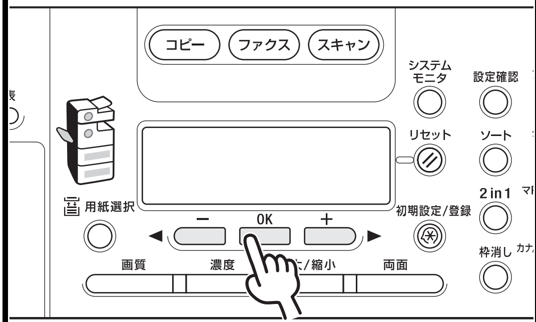
以下の手順に従って、ファクスの受信を設定します。
応用機能については、操作ガイド（応用編）「第 1 章 ファクス」を参照してください。

1 設定メニューを選択する



［初期設定／登録］を押します。

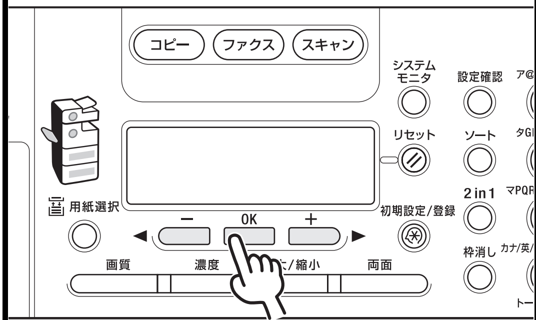
2 受信モードを選択する



［◄ −］または［+ ►］を押して＜ファクス仕様設定＞を選択し、[OK] を押します。

＜受信モード 選択＞が表示されていることを確認し、[OK］を押します。

3 受信モードを設定する



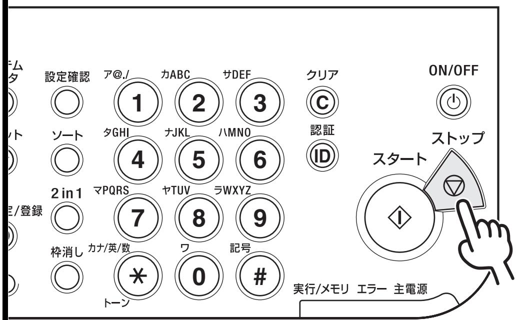
[◄ −] または [+ ►] を押して受信モードを選択し、[OK] を押します。

<自動>:すべての着信をファクスとして受信します。
< FAX/TEL >:ファクスと電話を自動的に切り替えます。
<留守 TEL >:ファクスの場合は自動的に受信し、電話の場合は留守番電話機が用件を録音します。
<手動>:着信に応答しません。手動でファクスを受信してください。

メモ

<留守 TEL >の場合は、留守番電話機を本製品に接続してください。

4 設定メニューを終了する



[ストップ] を押して待受画面に戻ります。

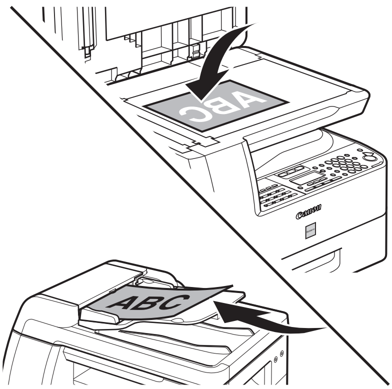
こんなときは ...

- **受信を中止するとき:**
  操作パネルの [ストップ] を押します。
  <通信を中止しますか?>が表示されたら、[◄ −] を押して<はい>を選択します。

6 コピーする

以下の手順に従ってコピーします。
応用機能については、操作ガイド（応用編）「第 2 章 コピー」を参照してください。

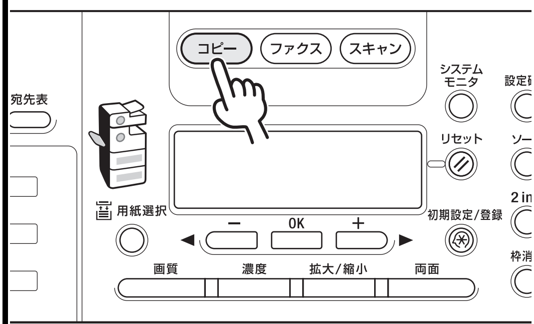
1 原稿をセットする



原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットします。

コピーできる原稿については「使用可能な原稿」（→ P.2-1）を参照してください。

2 コピーモードを選択する



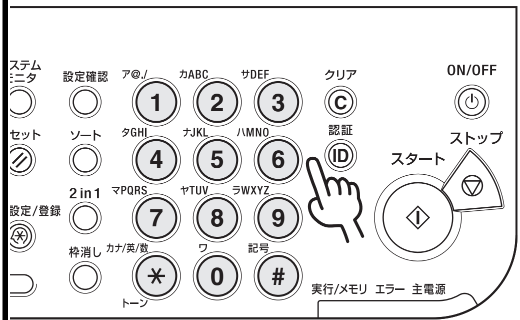
［コピー］を押します。

コピーランプが点灯し、コピーモードになります。

こんなときは ...

- **画質と濃度を調整するとき：**
  「コピーの設定をする」（→ P.6-3）を参照してください。

3 コピー部数を入力する



テンキーを使ってコピー部数 (1 ～ 99) を入力します。

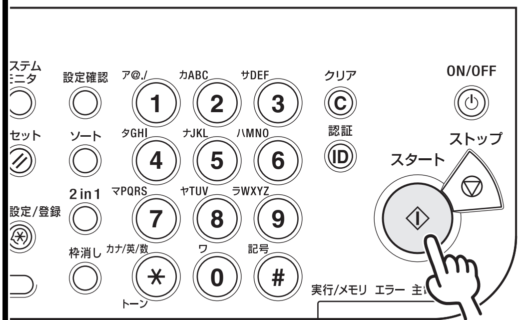
例)

100%	A4	03
A 文字		

こんなときは ...

- **間違った番号を入力したとき：**
  [クリア] を押して、正しい部数を入力しなおします。

4 コピーを開始する



[スタート] を押します。

こんなときは ...

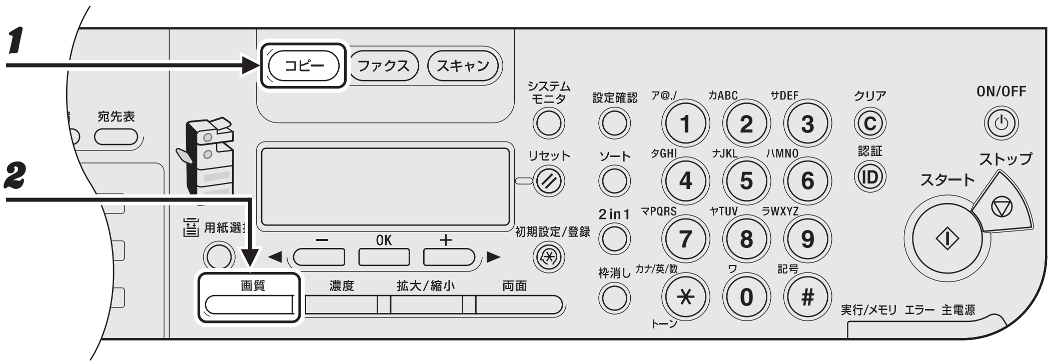
- **コピーを中止するとき：**
  操作パネルの [ストップ] を押します。
  <ストップが押されました>が表示された場合は、[OK] を押します。

  <コピーを中止しますか？>が表示された場合は、[◄—]を押して<はい>を選択します。

コピーの設定をする

[スタート] を押してコピーを開始する前に、読み込む原稿の種類に合わせて設定を調整することができます。オートクリアが有効になっている場合、または [リセット] を押した場合は、調整した設定は初期値に戻ります。

画質を調節する



---

1 [コピー] を押します。

2 [画質] を繰り返し押して、原稿の種類を選択します。

＜文字＞：文字原稿に適しています。
＜写真＞：細かい文字や写真のある原稿に適しています。
＜文字／写真＞：文字と写真のある原稿に適しています。

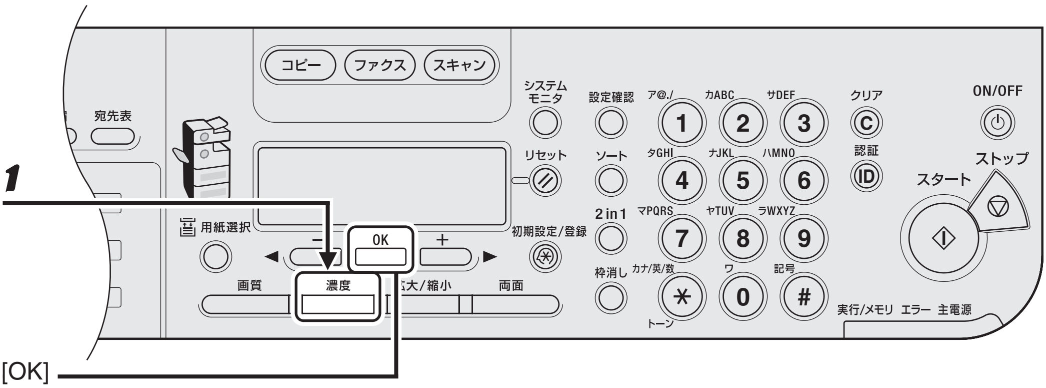
メモ

＜文字／写真＞または＜写真＞を選択すると、濃度は自動的に手動設定に切り替わります。

濃度を調節する

自動または手動で、原稿に最適な濃度に調整できます。

● 自動調節

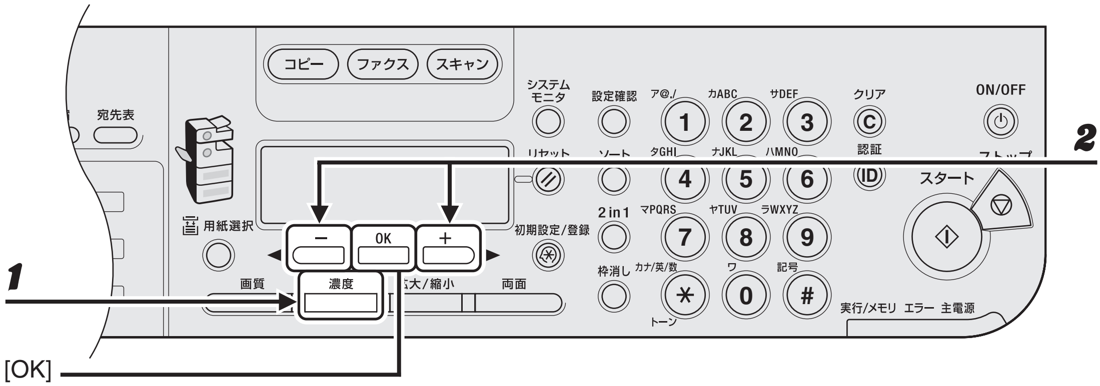


1 **［濃度］を押して＜自動＞を選択し、［OK］を押します。**

メモ

画質は自動的に＜文字＞に設定されます。

● **手動調節**



---

1 **[濃度] を 2 回押して、手動モードを選択します。**

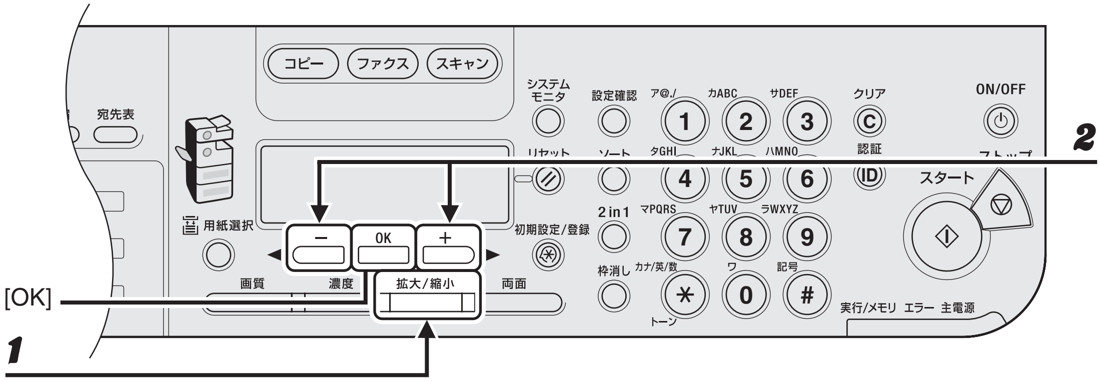
2 **[◄ −] または [+ ►] を押して濃度を選択し、[OK] を押します。**

[+ ►]：薄い原稿を濃くコピーします。
[◄ −]：濃い原稿を薄くコピーします。

倍率を設定する

● 定形変倍を使用して拡大／縮小する

原稿を拡大または縮小して、別のサイズに変更できます。



1 ［拡大／縮小］を押します。

2 ［◄ −］または［+ ►］を押してコピー倍率を選択し、［OK］を押します。

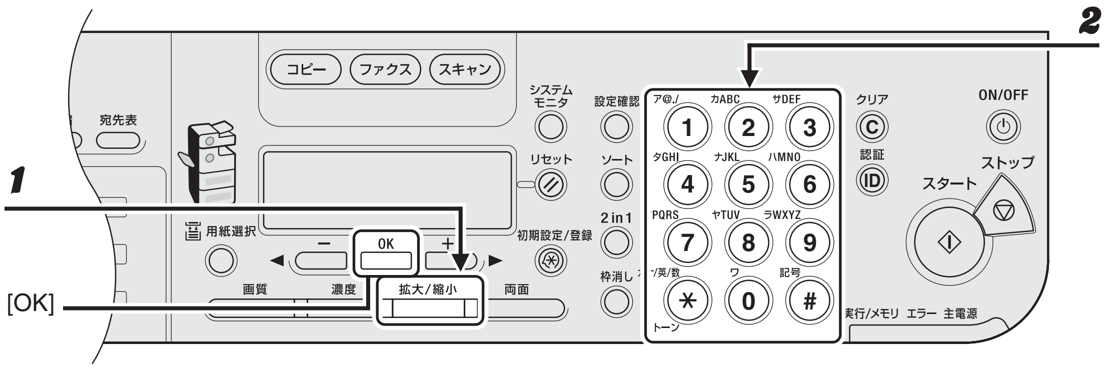
- 200% MAX.
- 141% A5 → A4
- 122% A5 → B5
- 115% B5 → A4
- 100%
- 86% A4 → B5
- 81% B5 → A5
- 70% A4 → A5
- 50% MIN.

メモ

<コピー仕様設定>の<サイズ系列>が<インチ>または< A >に設定されている場合は、定形コピー変倍は以下のようになります。
インチ：50%、64%、78%、100%、129%、200%
A：50%、70%、100%、141%、200%

● **ズーム変倍を使って拡大／縮小する**

1%刻みで任意のコピー倍率を指定し、画像を拡大または縮小できます。コピー倍率は、50%～200%の範囲で指定できます。



1 **[拡大／縮小] を 2 回押します。**

2 **テンキーを使ってコピー倍率を入力し、[OK] を押します。**

例)

```
ズーム     50-200%
 -           80%      +
```

[◄－] または [＋►] を押してコピー倍率を調整することもできます。コピー倍率を大きくするには、[＋►] を押します。コピー倍率を小さくするには、[◄－] を押します。

メモ

コピー倍率を 100%に戻すには、<等倍>を表示させ、[OK] を押します。

7 コンピュータからプリントする

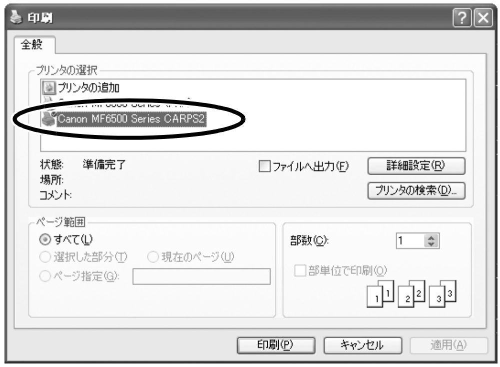
以下の手順で、コンピュータからプリントします。
プリンタドライバがインストールされていることを確認してください。
プリンタドライバの設定については、オンラインヘルプを参照してください。

1 印刷コマンドを選択する



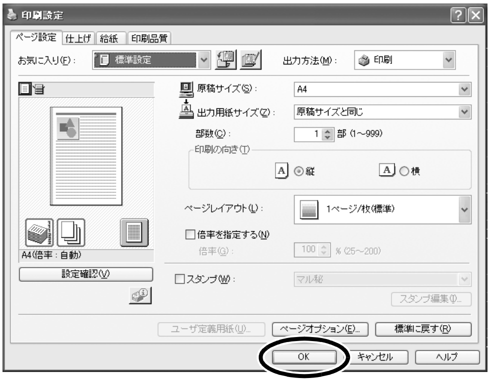
アプリケーションで開いている文書から、［ファイル］→［印刷］をクリックします。

2 使用するプリンタを選択する



本製品用のプリンタアイコン（Canon MF6500 Series CARPS2）を選択します。

3 詳細を設定する



［詳細設定］または［プロパティ］をクリックして、画面を開きます。調整が終了したら、［OK］をクリックします。

4 プリントを開始する



［印刷］または［OK］をクリックします。

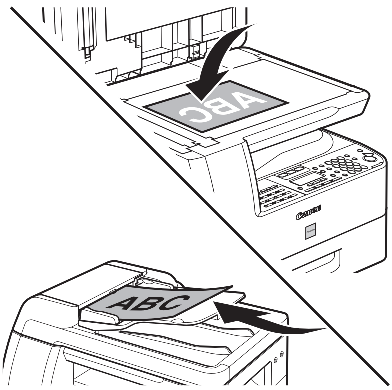
こんなときは ...

- **プリントを中止するとき：**
  操作ガイド（応用編）「第 5 章 システムモニタ」を参照してください。

8 スキャンする

以下の手順で、コンピュータに原稿を読み込みます。
スキャナドライバがインストールされていることを確認してください。
スキャナドライバの設定については、スキャナドライバガイド（付属の CD-ROM に収録されています）を参照してください。

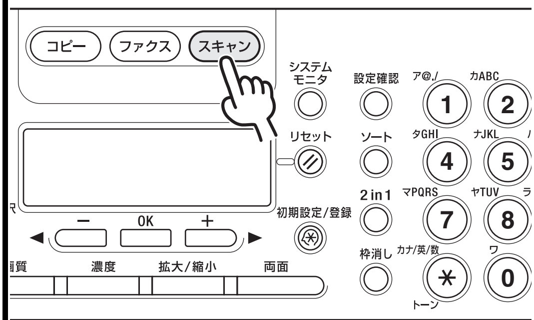
1 原稿をセットする



原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットします。

スキャンできる原稿については「使用可能な原稿」（→ P.2-1）を参照してください。

2 スキャンモードを選択する



［スキャン］を押します。

スキャンランプが点灯し、スキャンモードになります。

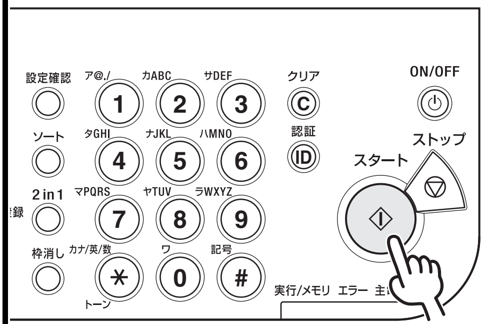
3 スキャン機能を設定する



MF Toolbox を起動し、スキャン形式を設定します。

選択したボタンの上にマークが表示されます。

4 スキャンを開始する



［スタート］を押します。

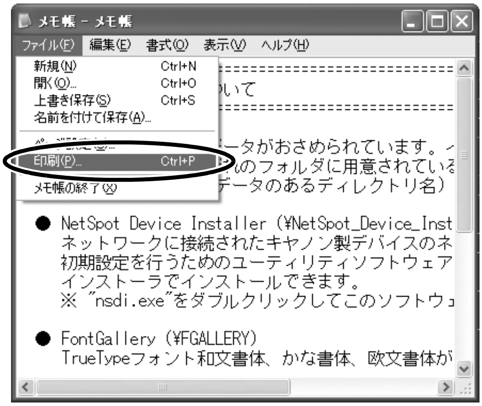
こんなときは ...

- **スキャンを中止するとき：**
  操作パネルの［ストップ］を押し、コンピュータ画面上の［OK］をクリックします。

9 コンピュータからファクス送信する

以下の手順で、コンピュータからファクスを送信します。
ファクスドライバがインストールされていることを確認してください。
ファクスドライバの設定については、オンラインヘルプを参照してください。

1 印刷コマンドを選択する



アプリケーションで開いている文書から、［ファイル］→［印刷］をクリックします。

2 使用するファクスを選択する

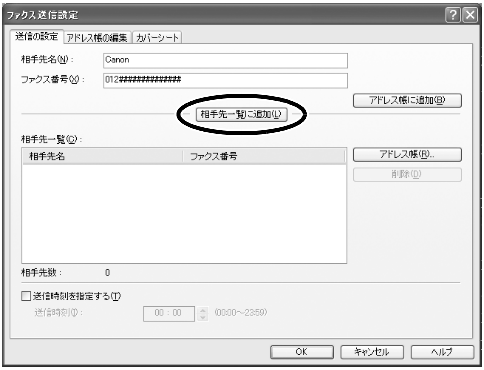


ファクスアイコン（Canon MF6500 Series（FAX））を選択し、［印刷］または［OK］をクリックします。

こんなときは ...

- **ファクスのプロパティを変更するとき：**
  ［詳細設定］または［プロパティ］をクリックして、設定を変更します。

3 相手先を選択する

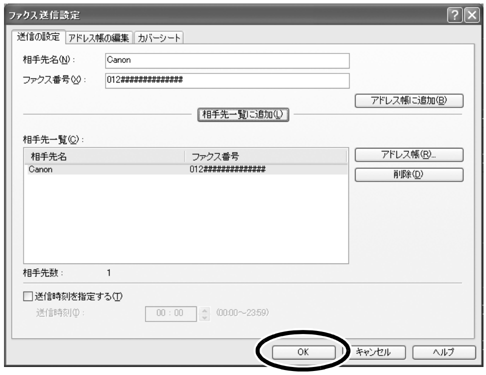


[送信の設定]タブで名前とファクス番号を指定し、[相手先一覧に追加］をクリックします。

こんなときは ...

- **表紙を付けてファクスを送信するとき：**
  ［カバーシート］タブをクリックし、添付表紙の形式を設定します。

4 送信を開始する



[OK］をクリックします。

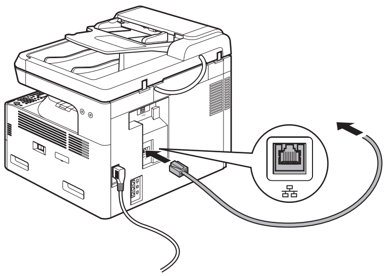
こんなときは ...

- **ファクス送信を中止するとき：**
  操作ガイド（応用編）「第 5 章 システムモニタ」を参照してください。

10 リモート UI

以下の手順で、リモート UI を使って本製品を管理します。
詳細については、操作ガイド（応用編）「第 4 章 リモート UI」を参照してください。

1 ネットワークを準備する



TCP/IP ネットワークで使用できるよう本製品を設定し、ネットワークルータまたはハブに本製品とコンピュータを接続します。

詳細については、スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール／アンインストール」を参照してください。

2 ウェブブラウザを起動する



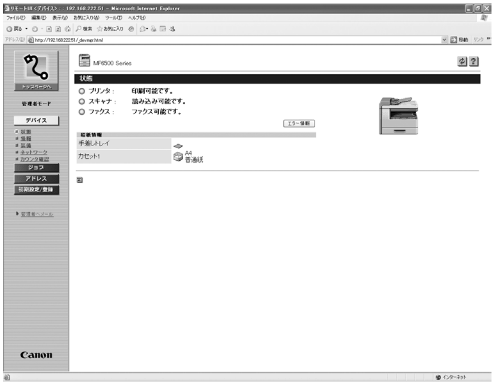
ウェブブラウザを起動し、本製品の IP アドレスを入力してから、キーボードの［Enter］キーを押します。

3 ログオンする



ユーザモードを選択し、[OK] をクリックします。

4 本製品を管理／操作する



ウェブブラウザから本製品を管理／操作できます。

詳細については、操作ガイド（応用編）「第４章 リモート UI」を参照してください。

11 日常のメンテナンス

日常のお手入れ

本製品のお手入れをする前に、以下を確認してください。

- メモリにジョブが蓄積されていないことを確認してから、主電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。
- 本製品に傷が付かないよう、柔らかい布をお使いください。
- ティッシュペーパー、紙タオルなどは使わないでください。内部の部品に付着したり、静電気発生の原因になったりすることがあります。

注意

シンナーやベンジン、アセトーンなどの溶剤、およびその他の化学クリーナーは絶対に使わないでください。本体内部の部品を損傷する恐れがあります。

本体のお手入れ

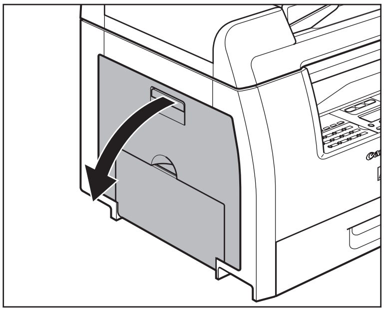
1. 主電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。
2. 水または薄めた中性洗剤を含ませてかたく絞った布で、本体の表面を拭きます。
3. 乾いてから電源コードを接続し、主電源スイッチを入れます。

内部のお手入れ

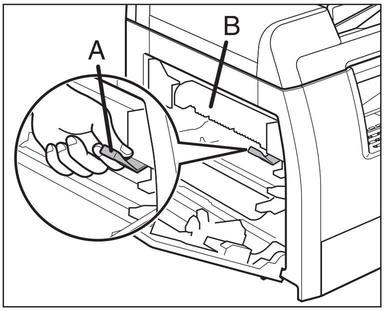
プリントエリアを定期的に清掃し、トナーの粉や紙ぼこりがたまらないようにしてください。

1 **主電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。**

2 **左カバーを開きます。**



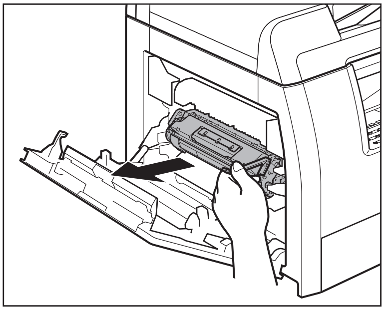
3 **トナーカートリッジの青色のタブ（A）を持ちます。**



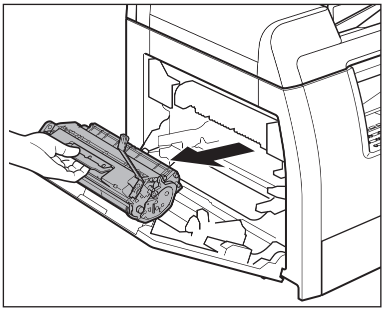
注意

定着器（B）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。

4 **トナーカートリッジの取っ手が持てるようになるまで、青色のタブを引き出します。**



5 **トナーカートリッジを取り出します。**



注意

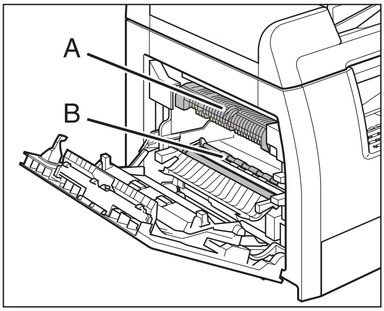
- トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。
- トナーカートリッジを光に当てないよう、保護袋に入れるか厚手の布で包んでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりすると、印字の質が低下することがあります。

日常のメンテナンス

6 **清潔で柔らかい、乾いた、糸くずの出ない布で、内部からトナーの粉や紙ぼこりを取り除きます。**

注意

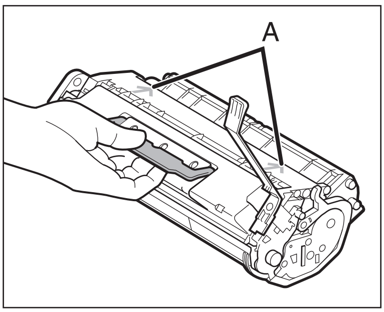
- 定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。
- 本製品を損傷することがありますので、搬送ローラ（B）に触らないでください。



- 手や衣類にトナーが付着した場合は、冷水で洗ってください。温水を使うとトナーが定着し、落ちなくなります。

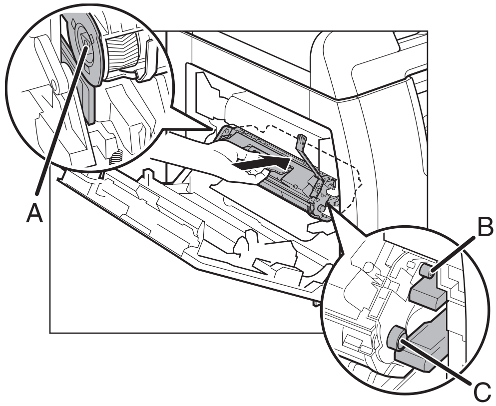
7 **トナーカートリッジの取っ手を持ちます。**

矢印（A）を本体に向け、青色のタブを引き上げてください。

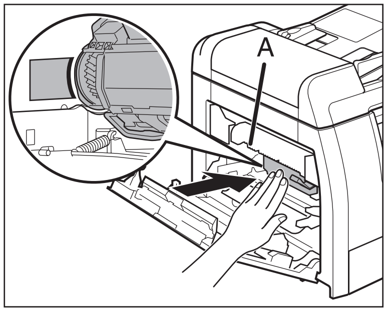


8 **トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで押し込みます。**

トナーカートリッジの左側（A）と右側の突起（B と C）を本体内部のガイドに合わせます。



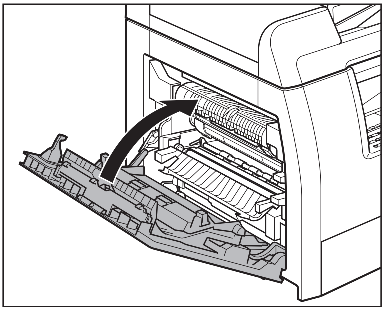
9 **トナーカートリッジを押して、正しく取り付けられていることを確認します。**



注意

定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。

10 左カバーを閉じます。



注意

- 指がはさまれないよう注意してください。
- 左カバーが途中で止まって閉まらないときは、カバーを再度開け、カートリッジが奥まで入っているか確認してください。

11 電源コードを接続し、主電源スイッチを入れます。

定着器のお手入れ

プリントされた用紙に黒いスジが現れる場合は、定着器が汚れている可能性があります。このような場合は、以下の手順で定着器をクリーニングしてください。トナーカートリッジを交換したときにもクリーニングしてください。A4 の白紙を手差しトレイにセットし、クリーニングを開始します。

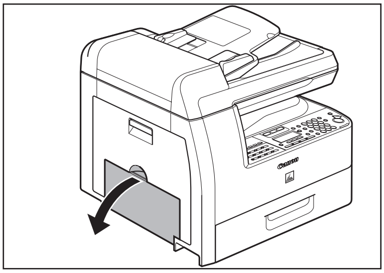
メモ

クリーニングには約 100 秒かかります。

1 [初期設定／登録] を押します。

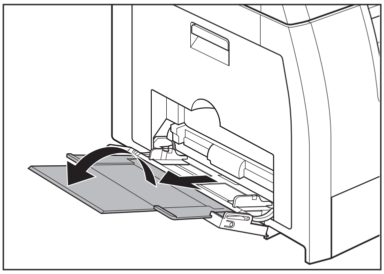
2 [◄ –] または [+ ►] を押して<調整／クリーニング>を選択し、[OK] を押します。

3 手差しトレイを開きます。

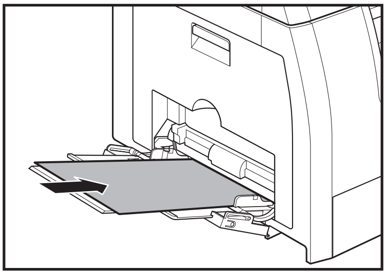


日常のメンテナンス

4 補助トレイを最後まで引き出してから、開きます。



5 A4 の白紙を 1 枚セットします。



6 ［◄ −］または［＋ ►］を押して＜定着器のクリーニング＞を選択し、[OK] を押します。

クリーニングが開始されます。終了すると、ディスプレイが待受画面に戻ります。

メモ

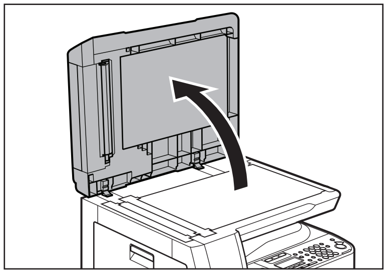
- クリーニング用の用紙は普通紙を使用してください。
- クリーニングに使用した用紙は、クリーニング終了後、廃棄してください。

読み取りエリアのお手入れ

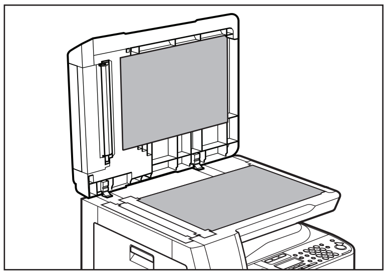
コピーや送信ファクスの品質を保つため、読み取りエリアを清掃してください。

● 原稿台ガラス

1 原稿台ガラスカバーを開きます。



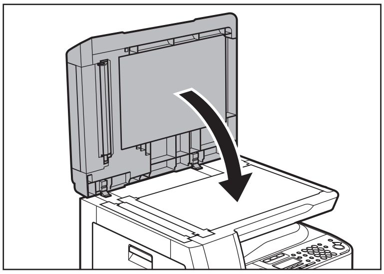
2 水を含ませてかたく絞った布で、原稿台ガラスと原稿台ガラスカバーの下面を拭きます。次に、乾いた柔らかい布で拭きます。



メモ

水分を含ませすぎた布で拭くと、原稿が破れたり、本製品を損傷したりする可能性があります。布はかたく絞ってください。

3 **原稿台ガラスカバーを閉じます。**



⚠ **注意**

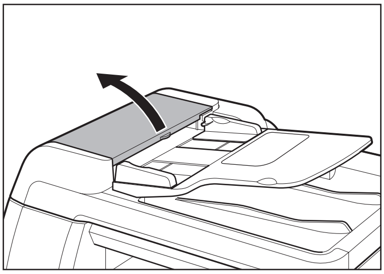
指がはさまれないよう注意してください。

● ADF

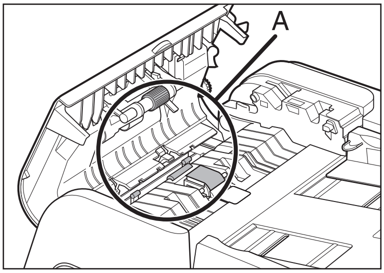
ADF を使ってコピーすると、黒いスジが出る場合があります。これは、ADF の読み取り部分に付着したのり、インク、修正液などが原因です。柔らかく清潔な布で、読み取り部分を拭いてください。

1 **主電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。**

2 **ADF を開きます。**



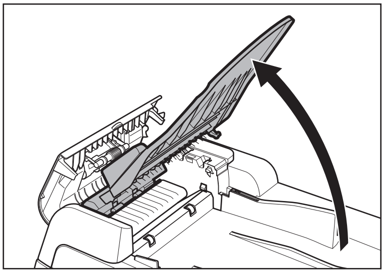
3 **水を含ませた布で、ADF 内部のローラ（A）を拭きます。次に、乾いた柔らかい布で拭きます。**



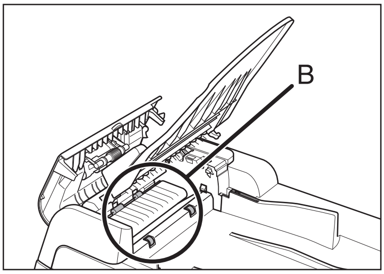
メモ

水分を含ませすぎた布で拭くと、原稿が破れたり、本製品を損傷したりする可能性があります。布はかたく絞ってください。

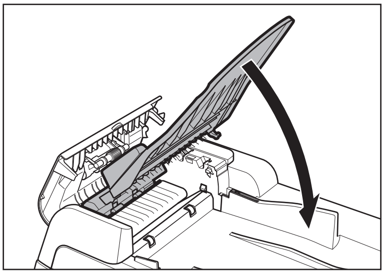
4 **原稿給紙トレイを持ち上げます。**



5 **水を含ませた布で、原稿給紙トレイの下にあるローラ（B）を拭きます。次に、乾いた柔らかい布で拭きます。**



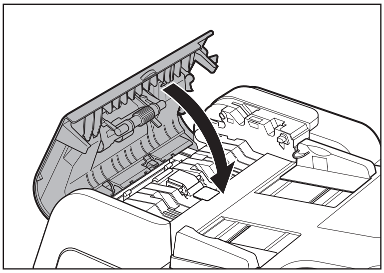
6 原稿給紙トレイを戻します。



注意

指がはさまれないよう注意してください。

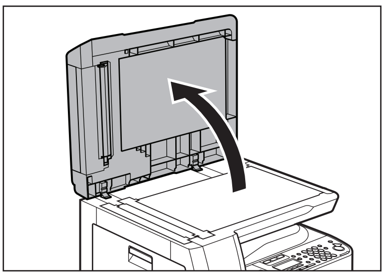
7 ADF を閉じます。



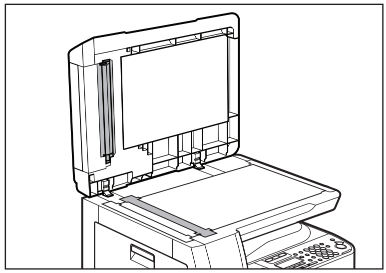
注意

指がはさまれないよう注意してください。

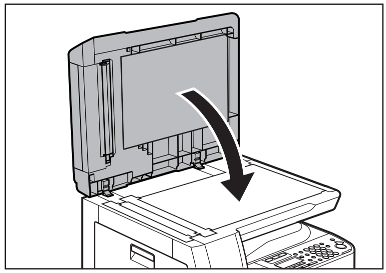
8 原稿台ガラスカバーを開きます。



9 水を含ませた布で、ADF 読み取りエリア（原稿台ガラスの左側）と原稿給紙ローラを拭きます。次に、乾いた柔らかい布で拭きます。



10 原稿台ガラスカバーを閉じます。



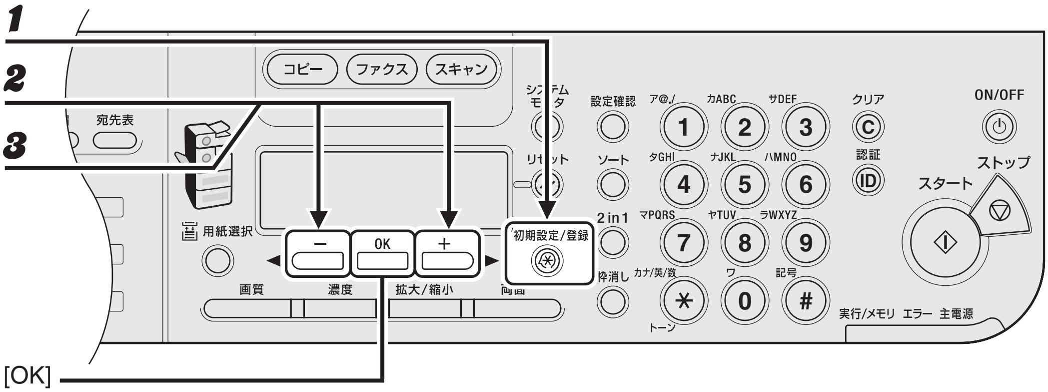
注意

指がはさまれないよう注意してください。

11 電源コードを接続し、主電源スイッチを入れます。

ADF を自動的にクリーニングする

ADF を使って読み込んだ原稿に黒いスジが入っていたり汚く見えたりする場合は、白紙を読み込ませて ADF のローラを清掃してください。



1 **[初期設定／登録] を押します。**

2 **[◄ −] または [+ ►] を押して<調整／クリーニング>を選択し、[OK] を押します。**

3 **[◄ −] または [+ ►] を押して<フィーダのクリーニング>を選択し、[OK] を押します。**

4 **ADF に白紙を 5 枚セットし、[OK] を押します。**

ADF のクリーニングが開始されます。終了すると、ディスプレイが待受画面に戻ります。

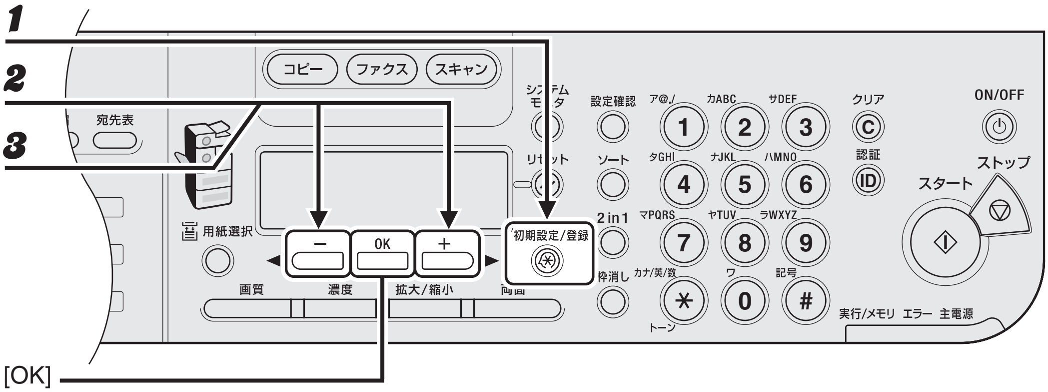
メモ

A4 サイズの用紙を使ってください。

日常のメンテナンス

転写ローラ

プリントされた用紙の裏側が汚れている場合は、転写ローラが汚れている可能性があります。このような場合は、以下の手順で転写ローラをクリーニングしてください。



1 **［初期設定／登録］を押します。**

2 **［◄−］または［+►］を押して＜調整／クリーニング＞を選択し、［OK］を押します。**

3 **＜転写ローラのクリーニング＞が表示されていることを確認し、［OK］を押します。**

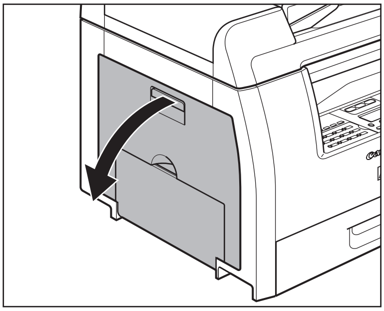
クリーニングが開始されます。終了すると、ディスプレイが待受画面に戻ります。

トナーカートリッジの交換時期

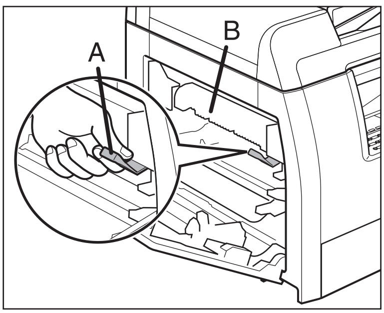
ディスプレイに<トナー少(継続プリント可)／トナー準備して下さい>と表示された場合は、トナーカートリッジ内のトナーを均一にならしてください。メッセージが繰り返し表示される場合は、トナーカートリッジを交換してください。

トナーを均一にならす

1 左カバーを開きます。



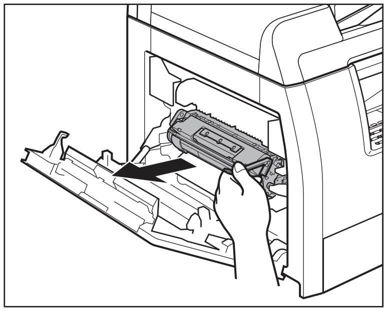
2 トナーカートリッジの青色のタブ（A）を持ちます。



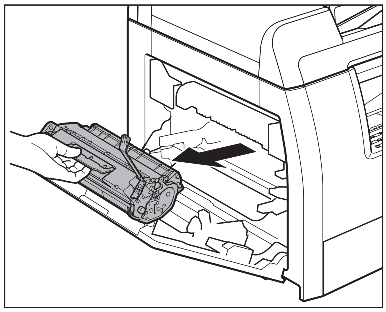
注意

定着器（B）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。

3 トナーカートリッジの取っ手が持てるようになるまで、青色のタブを引き出します。



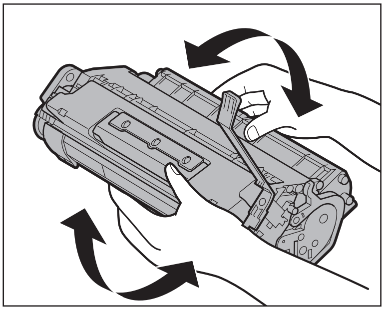
4 トナーカートリッジを取り出します。



注意

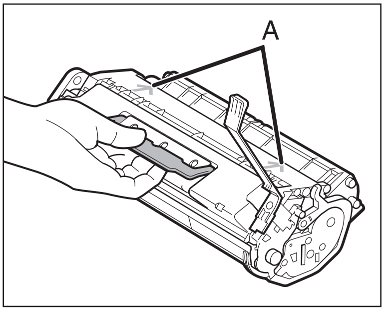
- トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。

5 トナーカートリッジをゆっくりと 5、6 回振り、トナーを均一にならします。



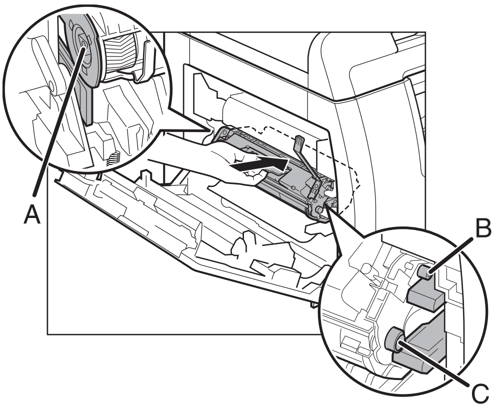
6 トナーカートリッジの取っ手を持ちます。

矢印（A）を本体に向け、青色のタブを引き上げてください。

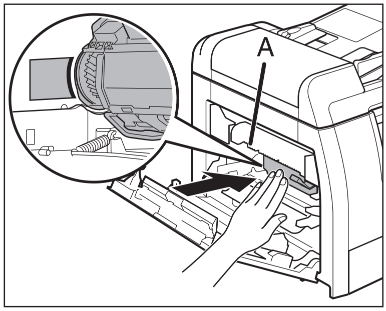


7 トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで押し込みます。

トナーカートリッジの左端（A）と右側の突起（B と C）を本体内部のガイドに合わせます。



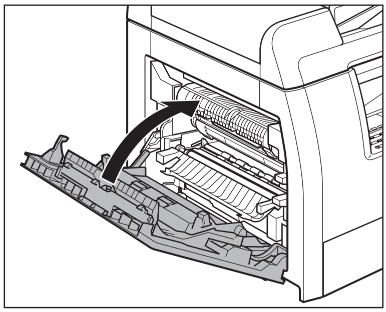
8 トナーカートリッジを押して、正しく取り付けられていることを確認します。



注意

定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。

9 左カバーを閉じます。

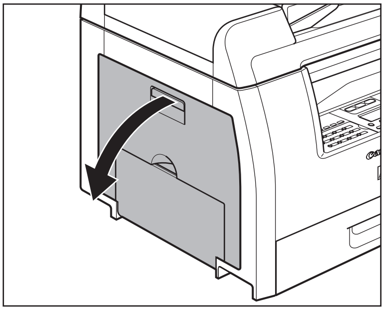


注意

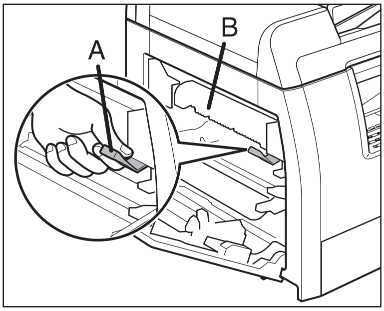
- 指がはさまれないよう注意してください。
- 左カバーが途中で止まって閉まらないときは、カバーを再度開け、カートリッジが奥まで入っているか確認してください。

トナーカートリッジを交換する

1 左カバーを開きます。



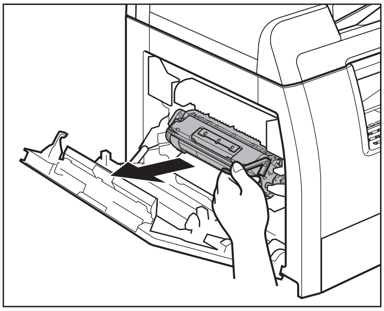
2 トナーカートリッジの青色のタブ（A）を持ちます。



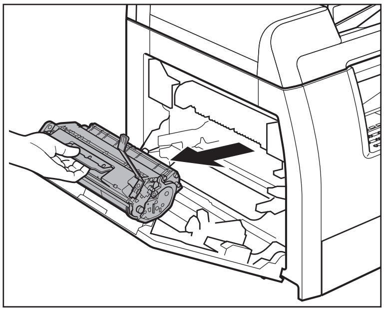
注意

定着器（B）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。

3 トナーカートリッジの取っ手が持てるようになるまで、青色のタブを引き出します。



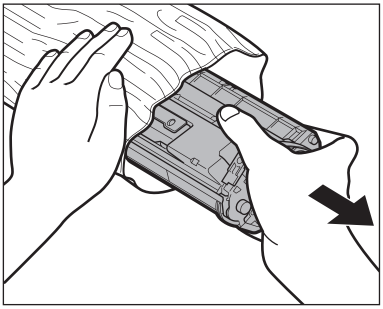
4 カートリッジを取り出します。



注意

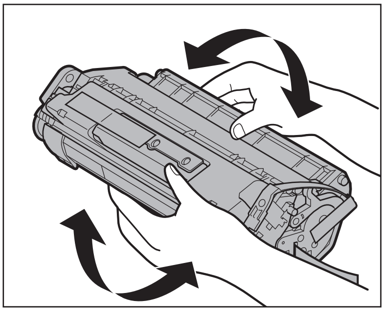
- トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。

5 保護袋から新しいトナーカートリッジを取り出します。

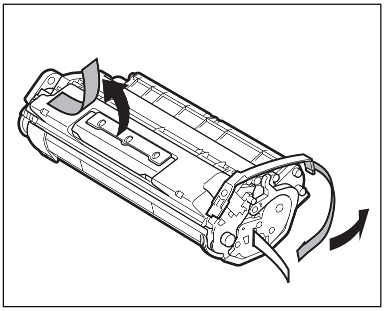


日常のメンテナンス

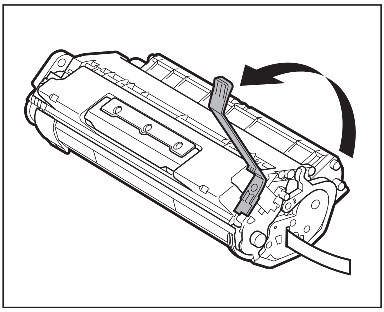
6 トナーカートリッジをゆっくりと 5､6 回振り、トナーを均一にならします。



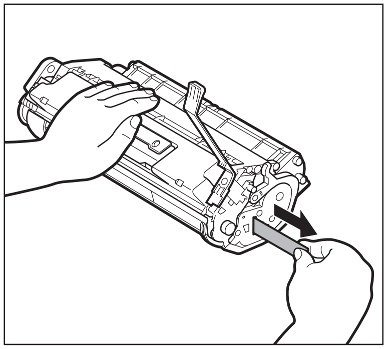
7 テープ（2 か所）をはがします。



8 青色のタブを引き上げます。



9 シーリングテープを完全に引き抜きます。

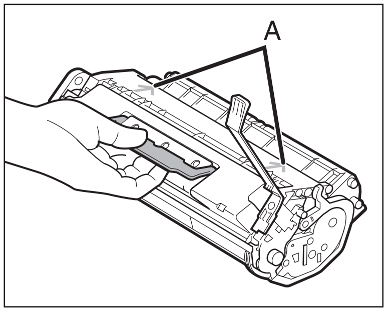


メモ

シーリングテープはまっすぐに引き抜いてください。

10 トナーカートリッジの取っ手を持ちます。

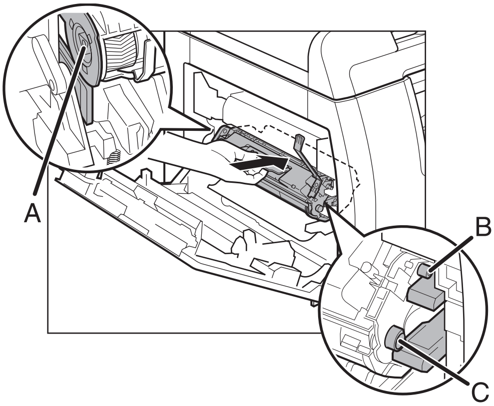
矢印（A）を本体に向けます。



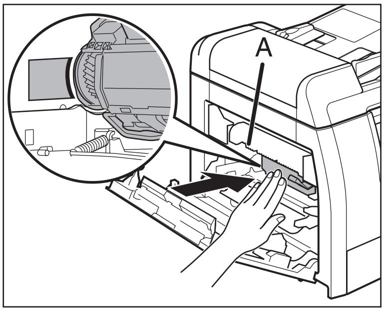
日常のメンテナンス

11 トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで押し込みます。

トナーカートリッジの左端（A）と右側の突起（B と C）を本体内部のガイドに合わせます。



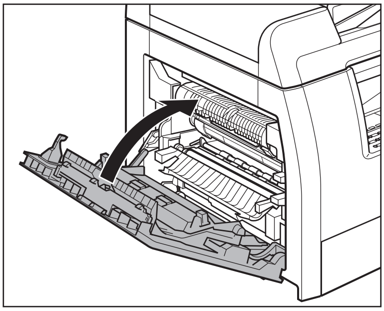
12 トナーカートリッジを押して、正しく取り付けられていることを確認します。



注意

定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。

13 左カバーを閉じます。



注意

- 指がはさまれないよう注意してください。
- 左カバーが途中で止まって閉まらないときは、カバーを再度開け、カートリッジが奥まで入っているか確認してください。

日常のメンテナンス

本製品を移動するとき

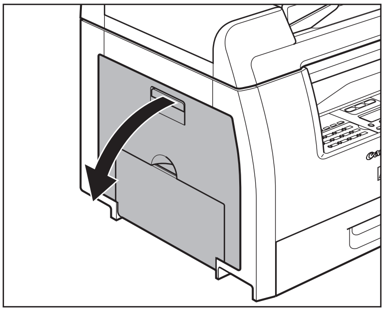
本製品を長距離移動する場合などは、振動による損傷を防ぐため、以下の手順に従ってください。

注意

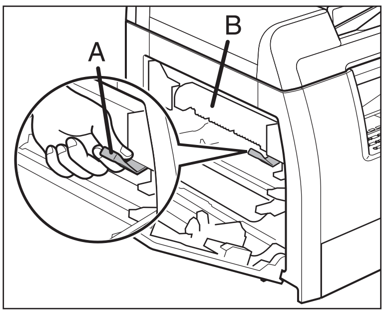
必ず 2 人以上で運んでください。

1 **電源コード、およびすべてのケーブルを本製品の背面から外します。**

2 **左カバーを開きます。**



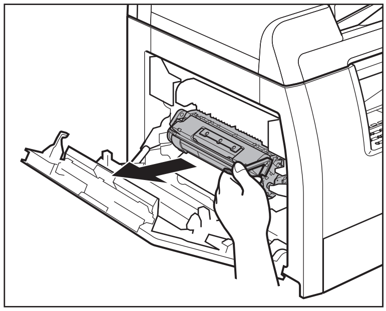
3 **トナーカートリッジの青色のタブ（A）を持ちます。**



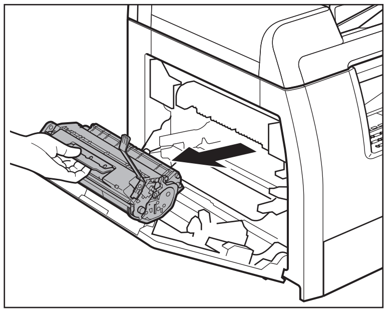
注意

定着器（B）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。

4 **トナーカートリッジの取っ手が持てるようになるまで、青色のタブを引き出します。**



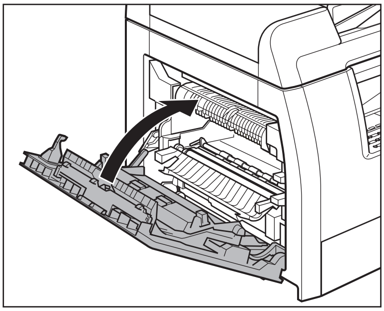
5 **カートリッジを取り出します。**



注意

- トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。
- トナーカートリッジを光に当てないよう、保護袋に入れるか厚手の布で包んでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。

6 左カバーを閉じます。

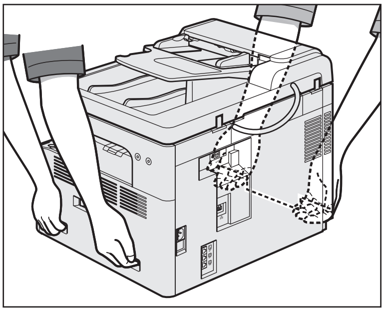


注意

指がはさまれないよう注意してください。

7 手差しトレイと排紙ストッパーが元の位置に戻っていることを確認します。

8 左右にある取っ手を使って、本製品を持ち上げます。



注意

- 必ず２人以上で運んでください。
- 付属品を持って本製品を持ち上げないでください。本製品を落とすと、けがをする恐れがあります。
- 腰が悪い方は、持ち上げる前に本製品の重さを確認してください。（→付録：P.14-1）

12 困ったときには

用紙がつまったときには

本体内部に用紙がつまった場合は、ディスプレイに紙づまりのメッセージが表示されます。紙づまり位置ランプでどこに紙づまりが起きたか確認し、つまった用紙を取り除いてください。

注意

- つまった原稿や用紙を取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切らないよう注意してください。
- つまった用紙を取り除くときや、本体内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属製品が本体内部の部品と接触しないようにしてください。やけどや感電の恐れがあります。

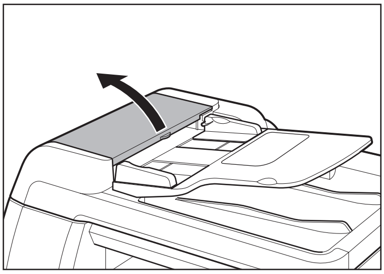
メモ

つまった原稿や用紙を本体から無理に取り除かないでください。問題が解決できない場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

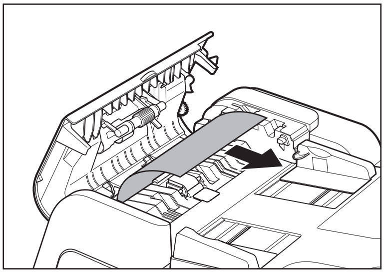
ADF につまった原稿を取り除く

ディスプレイに＜原稿がつまりました／フィーダを点検＞、＜原稿を点検して下さい＞または＜原稿が長すぎます＞と表示された場合は、ADF か原稿給紙口からつまった原稿を取り除いてください。

1 ADF を開きます。



2 つまった原稿を取り除きます。

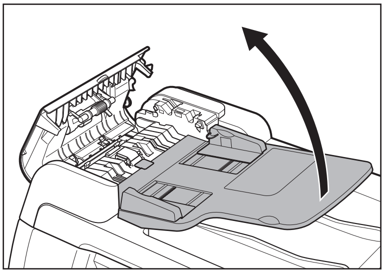


メモ

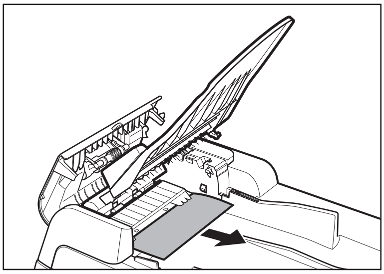
原稿を強く引っ張らないでください。原稿が破れることがあります。

困ったときには

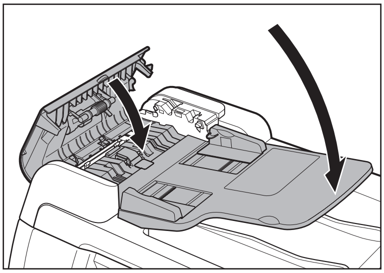
3 原稿給紙トレイを持ち上げます。



4 つまった原稿を取り除きます。



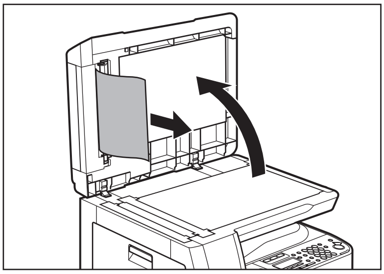
5 原稿給紙トレイを戻し、ADF を閉じます。



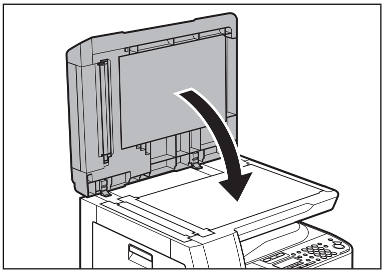
注意

指がはさまれないよう注意してください。

6 原稿台ガラスカバーを開き、つまった原稿を取り除きます。



7 原稿台ガラスカバーを閉じます。



注意

指がはさまれないよう注意してください。

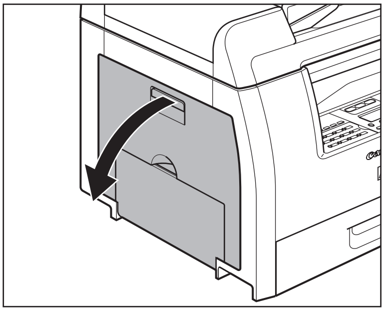
本体内部につまった用紙を取り除く

ディスプレイに<用紙がつまりました>と表示された場合は、本体内部からつまった用紙を取り除いてください。用紙カセットにも用紙がつまっていたら、それも取り除きます。

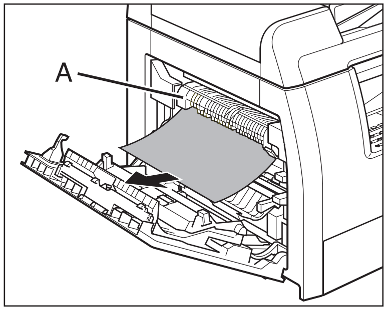
紙づまりが繰り返し起こる場合は、以下を確認してください。

- 本製品に用紙をセットする前に、平らな場所でそろえてください。
- お使いの用紙が本製品に適しているか、確認してください。（→用紙の取り扱い：P.3-1）
- つまった用紙の切れ端が本体内部に残っていないか、確認してください。

1 左カバーを開きます。



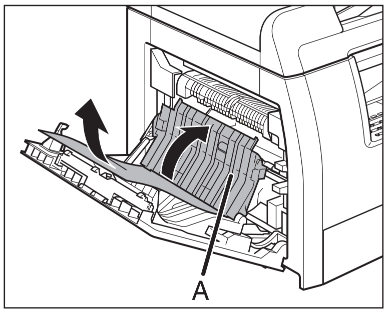
2 本体から、つまった用紙をゆっくりと引き出します。



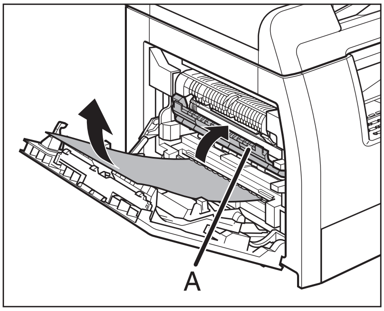
注意

- 定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。
- 用紙が破れた場合は、切れ端がつまらないように、すべて取り除いてください。
- 手や衣類にトナーが付着した場合は、冷水で洗ってください。温水で洗うとトナーが定着し、落ちなくなります。

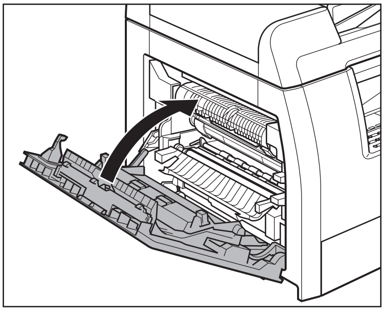
3 両面搬送ガイド（A）を本体側に倒し、つまった用紙を取り除きます（両面コピー使用時のみ）。



4 転写フレーム（A）を持ち上げて支え、つまった用紙を取り除きます（両面コピー使用時のみ)。



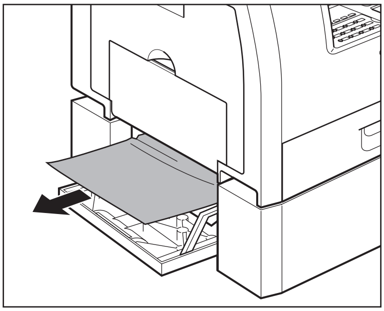
5 左カバーを閉じます。



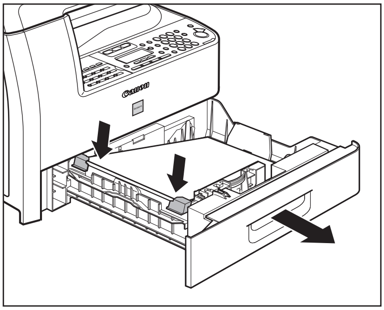
注意

指がはさまれないよう注意してください。

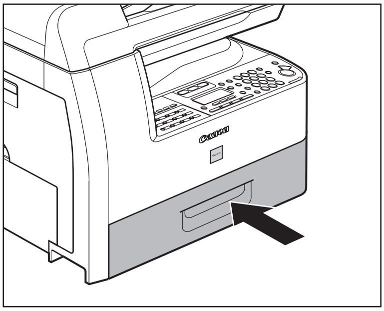
6 オプションのカセットをお使いの場合は、カセットの左側のカバーを開けてつまった用紙を取り除きます。
用紙を取り除いたら、カバーを閉じます。



7 カセットを引き出し、用紙の角をツメの下に押し込みます。



8 カチッというまで、カセットをゆっくりと本体に戻します。



注意

指がはさまれないよう注意してください。

ディスプレイの表示

ディスプレイに表示されるエラーメッセージについては、以下の表を参照してください。

メッセージ	原因	処置
調整中 スキャンの準備中です	原稿を読み込む準備ができていない。	準備ができるまでお待ちください。
自動リダイヤル	相手先が話し中などで、送信ジョブがリダイヤル待機中になっている。	送信が再開すると、メッセージは消えます。
用紙サイズ変更	カセットまたは手差しトレイの用紙サイズが、＜共通仕様設定＞の＜用紙サイズの登録＞または＜手差しの標準モード＞で指定されたサイズと異なっている。	・ ディスプレイの下段に表示されているサイズの用紙をセットしてください。 ・ レポートやリストをプリントする場合は、用紙サイズを＜ A4 ＞に設定し、そのサイズの用紙をセットしてください。
登録サイズを変更 →共通仕様設定	・ カセットまたは手差しトレイの用紙サイズが、＜共通仕様設定＞の＜用紙サイズの登録＞または＜手差しの標準モード＞で指定されたサイズと異なっている。 ・ 記録中の用紙がなくなった場合に、＜用紙を補給して下さい＞と一緒に表示される。	・ 用紙サイズの設定を変更してください。 ・ カセットまたは手差しトレイの用紙を交換してください。
原稿を点検して下さい	ADF 内で原稿がつまっている。	つまった原稿を取り除いてください。
カバーを閉じてください	カバーが開いている。	ディスプレイの下段に表示されているカバーを閉じてください。

メッセージ	原因	処置
データがこわれました	本製品に不具合が発生している可能性がある。	お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
原稿が長すぎます	原稿が 630 mm より長い、または正しく給紙されていない。	・ 原稿台ガラスを使ってください。 ・ 原稿の長さを 630 mm 以内にしてから、やりなおしてください。
原稿がつまりました フィーダを点検	ADF 内で原稿がつまっている。	つまった原稿を取り除いてください。
用紙を補給して下さい	カセットまたは手差しトレイに用紙がセットされていないか、正しく給紙されていない。	用紙を正しく補給し、カセットを一番奥まで差し込んでください。
メモリ使用量 nn%	ファクス送信時、ADF に原稿をセットした場合に現在使用中のメモリの割合がパーセントで表示される。	メモリ容量が足りない場合は、メモリ内のファクスが送信されるまでお待ちください。または、メモリ内に蓄積されているジョブをプリント、送信、または削除してください。
メモリがいっぱいです	・ メモリがジョブでいっぱいになった。	・ メモリ内に蓄積されているジョブをプリント、送信、または削除してください。 ・ 原稿やデータを分割してやりなおしてください。 ・ 解像度を低くして送信してください。 ・ ADF使用中にこのメッセージが表示された場合、読み込み中の原稿はADF内で停止します。つまった原稿を取り除いてください。

メッセージ	原因	処置
メモリがいっぱいです	・ メモリに保存できるファクスジョブが最大件数に達した。	・ メモリ内のファクスが送信されるまでお待ちください。または、メモリ内に蓄積されているジョブをプリント、送信、または削除してください。 メモリに保存できるジョブは、以下のとおりです。 送信ジョブ 20 件、受信ジョブ 20 件、または送受信ジョブ合計で 25 件
適正サイズの用紙なし	＜コピー仕様設定＞の＜標準モードの変更＞で＜用紙選択＞は＜自動＞に設定されているが、カセットまたは手差しトレイに正しいサイズの用紙がセットされていない。	用紙サイズを選択するか、コピー倍率を設定してください。

メッセージ	原因	処置
使用できません	・ グループダイヤル登録中に、すでに登録済みのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録しようとした。 ・ ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤル登録中に、すでに登録済みのグループダイヤルに登録しようとした。 ・ 電話回線がオフフックの状態でグループダイヤルを指定した。	・ 未使用のキーや番号に登録してください。 ・ グループダイヤル以外の相手先を指定してください。
未登録です	電話番号が登録されていない。	スピードダイヤルに、電話番号を登録してください。
トレイがいっぱいです	排紙トレイに出力紙がたまっている。	排紙トレイから出力紙を取り除いてください。
用紙がつまりました	本体内で紙づまりが起きている。	つまった用紙を取り除いてください。そのあと、カバーを開閉して現在のジョブを再開してください。コンピュータからプリント中にメッセージが消えた場合は、[スタート] を押してプリンタをオンラインに戻してください。
原稿台ガラス汚れ 清掃してください	ADF 読み取りエリア（原稿台ガラスの左側）が汚れている。	ADF読み取りエリアを清掃して、[OK] を押してください。

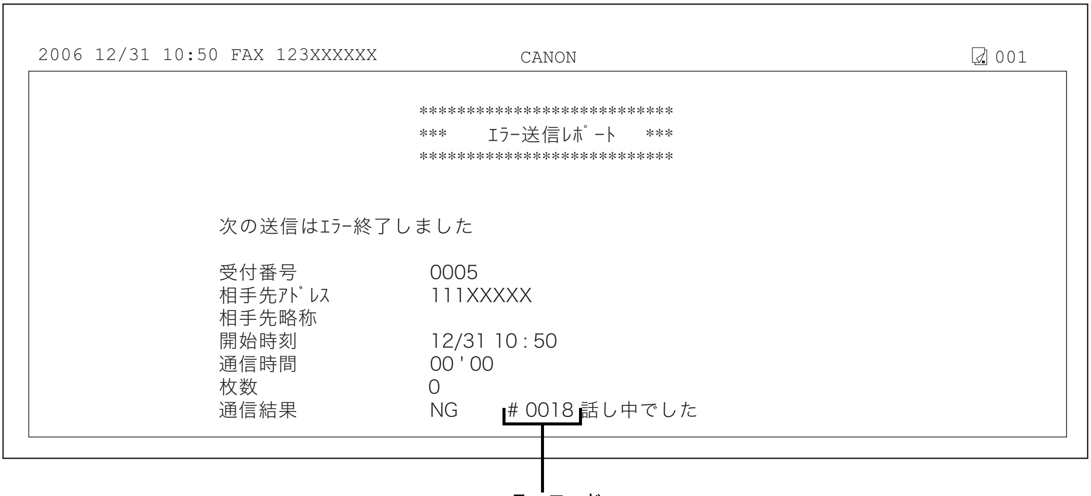
メッセージ	原因	処置
お待ちください	主電源スイッチを入れたとき、またはプリントの準備ができていない場合に表示される。	メッセージが消えるまでお待ちください。
代行受信しました	用紙やトナーが切れている、用紙がつまった、間違ったサイズの用紙がセットされていたなどの原因により、メモリにファクスを受信した。	正しいサイズの用紙をカセットにセットする、トナーカートリッジを交換する、またはつまった用紙を取り除いてください。詳細については、以下を参照してください： →用紙のサイズと種類を設定する：P.3-7 →トナーカートリッジを交換する：P.11-12 →用紙がつまったときには：P.12-1
やり直してください	・ 回線の状態が悪く、送信エラーが起きた。 ・ 用紙がつまったか、レポートの印刷中に用紙が切れた。	・ 回線の状態を確認して、やりなおしてください。 ・ つまった用紙を取り除くか用紙を補給して、やりなおしてください。
ストップが押されました **OK キーを押してください**	ADFを使った原稿の読み込み中に［ストップ］が押された。	[OK]を押してから、原稿をセットしなおしてください。

困ったときには

メッセージ	原因	処置
プリンタエラー	本製品に何らかのエラーが起きた。	主電源スイッチを切り、10 秒以上待ってから主電源スイッチを入れなおします。これで問題が解決しない場合は、電源コードをコンセントから抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターに連絡してください。
トナーがありません **トナーをセットしてください**	トナーカートリッジが取り付けられていないか、正しく取り付けられていない。	トナーカートリッジを正しく取り付けてください。
トナー少（継続プリント可） **トナー準備して下さい**	トナーが少なくなっている。	トナーカートリッジを取り出して 5、6 回振り、トナーを均一にしてから、トナーカートリッジを取り付けてください。 メッセージが消えない場合は、トナーカートリッジを交換してください。
通信中です	通信中に、メモリ内の文書リストにある別の原稿を送信しようとした。	現在のジョブが終了するまでお待ちください。

エラーコード

エラーコードは、エラーが起きた場合にエラー送信レポートまたはエラー受信レポートに記録される 4 桁のコードです。


2006 12/31 10:50 FAX 123XXXXXX　　CANON　　001

```
***************************
***   ｴﾗｰ送信ﾚﾎﾟｰﾄ   ***
***************************
```

次の送信はｴﾗｰ終了しました

受付番号　0005
相手先ｱﾄﾞﾚｽ　111XXXXX
相手先略称
開始時刻　12/31 10 : 50
通信時間　00 ' 00
枚数　0
通信結果　NG　# 0018 話し中でした

詳細については、操作ガイド（応用編）「第 6 章 各種レポート／リスト」を参照してください。

エラーコードについては、以下の表を参照してください。

エラーコード	原因	処置
#0001	原稿がつまった。	つまった原稿を取り除きます。
#0003	・ ADF から 630 mm を越える長さの原稿を送信しようとした。 ・ データ量が多いので、送信に長い時間がかかった。 ・ 原稿 1 枚の受信に長い時間がかかった。	・ 原稿を分割し、原稿台ガラスを使って送信してください。 ・ 送信前に読み込みの解像度を下げてください。 ・ 相手先に連絡して、読み取り解像度を下げるか、原稿を分割して送信するよう依頼してください。

エラーコード	原因	処置
#0005	・ 相手先のファクスから35秒以内に応答がない。 ・ 相手先のファクスがG3ファクスではない。	・ もう一度原稿を送ってください。相手先に連絡して、先方のファクスをチェックしてもらってください。海外に送信する場合は、ファクス／電話番号の前にポーズを入れてください。 ・ 相手先に連絡して、原稿をG3ファクスに送ってください。相手先にG3ファクスがない場合は、先方が対応できるモードまたは通信速度で原稿を送ってください。
#0009	用紙が切れたか、用紙カセットが正しくセットされていない。	用紙を補給するか、カセットを正しくセットしなおしてください。
#0012	相手機が用紙切れで送信できない。	用紙を補給するよう、相手先に連絡してください。
#0018	リダイヤルしても応答がない。相手先が通話中などでファクス信号に応答がないため、送信できない。	相手先が話し中でないことを確認し、最初からやりなおしてください。
#0037	メモリがいっぱいになった。	メモリ内に蓄積されているジョブをプリント、送信、または削除してください。
#0995	通信予約がクリアされた。	必要な場合は、最初からやりなおしてください。

電力供給が止まったら

突然停電が起きたり、電源コードが抜けた場合でも、内蔵バッテリによりユーザデータ設定内容やスピードダイヤルの登録内容は記憶されています。メモリ内に蓄積されたジョブは、約 60 分間保存されます。

電力供給が止まっている間の機能は、以下のように制限されます。

- ファクスの送受信、コピー、スキャン、プリントはできません。
- 外付け電話機を使っての電話はかけられないことがあります。ただし、お使いの電話機の種類によって異なります。
- 外付け電話機を使って電話を受けられることがあります。ただし、お使いの電話機の種類によって異なります。

トラブルが解決しない場合

本章の説明を参照してもトラブルが解決しない場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
ご連絡の際には、以下をお手元にご用意ください。

- 製品名（Satera MF6570）
- シリアル番号（本製品左カバーのラベルに記載されています）
- 購入先
- トラブルの内容
- トラブルにどのような対処をされたか、およびその結果

注意

本製品から変な音がしたり、煙が出たり変なにおいがする場合は、すぐに電源コードをコンセントから抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。ご自分で分解したり、修理したりしないでください。

メモ

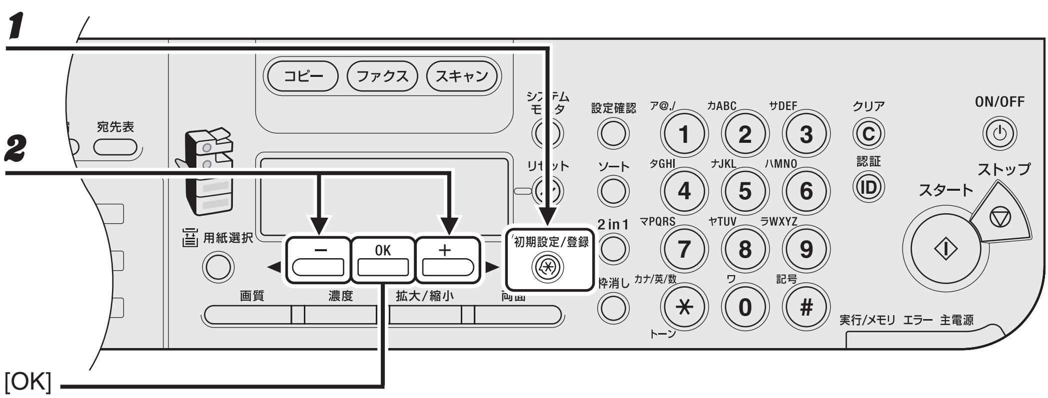
ご自分で分解修理した場合、保証の対象外になることがあります。

13 各種機能の登録／設定

各種機能を登録／設定する

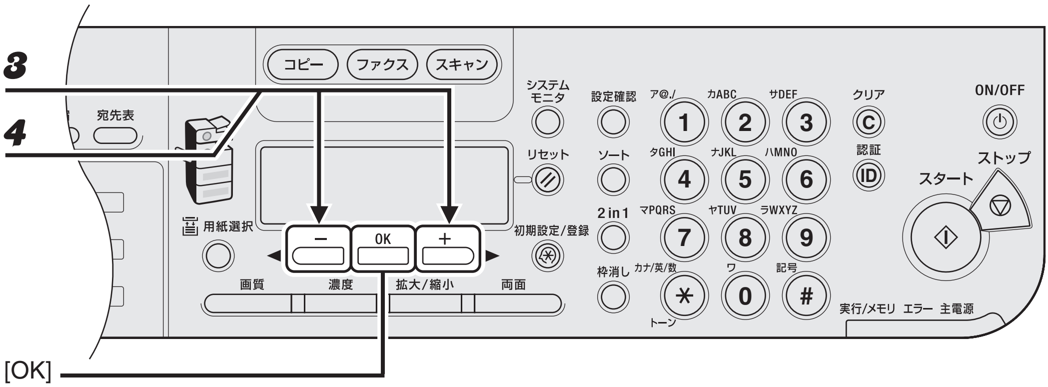
設定メニューから機能内容を設定／変更することができます。現在の設定内容を確認するには、ユーザデータリストをプリントしてください。

ユーザデータリストをプリントする



1 ［初期設定／登録］を押します。

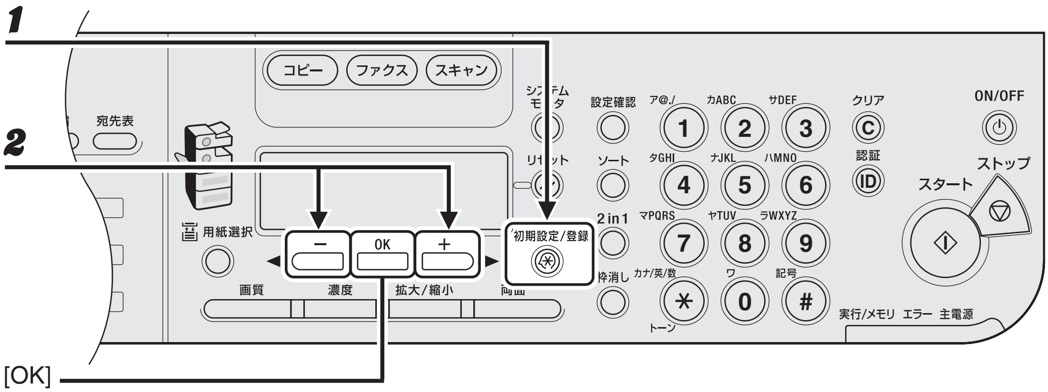
2 ［◄－］または［＋►］を押して＜レポート出力＞を選択し、［OK］を押します。



3 ［◄－］または［＋►］を押して＜リストプリント＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄－］または［＋►］を押して＜ユーザデータリスト＞を選択し、［OK］を押します。

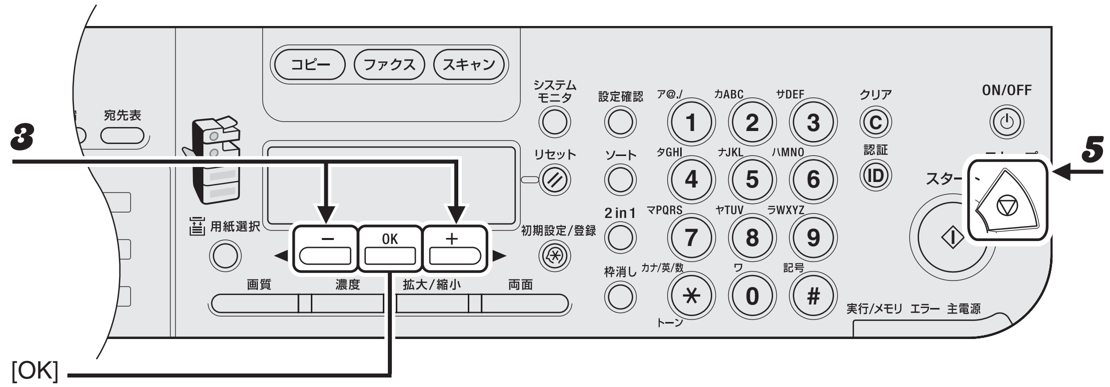
設定メニューを使う



1　［初期設定／登録］を押します。

2　［◄－］または［＋►］を押してメニューを選択し、［OK］を押します。

＜共通仕様設定＞
＜コピー仕様設定＞
＜ファクス仕様設定＞
＜宛先表仕様設定＞
＜プリンタ仕様設定＞
＜タイマー設定＞
＜調整／クリーニング＞
＜レポート出力＞
＜システム管理設定＞



3 ［◄−］または［+►］を押してサブメニューを選択し、［OK］を押します。

4 設定内容を登録するか、サブメニュー項目に進む場合は、［OK］を押します。

5 終了したら、［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

メモ

・［OK］の前に［ストップ］を押した場合は、設定内容は保存されません。
・［初期設定／登録］を押して直前の画面に戻ります。

メニューの設定内容

共通仕様設定	
設定項目	**設定内容**
1. 初期機能の設定	電源を入れたときに表示される待受画面を選択します。 ・ コピー ・ ファクス ・ スキャン
2. オートクリア後の機能	オートクリアが機能したあとに表示される待受画面を選択します。
復帰する	＜初期機能の設定＞で選択した待受画面に戻ります。
復帰しない	現在のモードの待受画面に戻ります。
3. ブザーの ON/OFF	ブザーを鳴らすかどうかを設定し、音量を調整します。
1. 入力音	操作パネルキーの入力音を設定します。 ・ 鳴らす（1 ～ 3） ・ 鳴らさない
2. 警告音	紙づまりなどのエラーが起きたときの警告音を設定します。 ・ 鳴らす（1 ～ 3） ・ 鳴らさない
3. 送信終了音	送信終了音を設定します。 ・ エラー時のみ鳴らす（1 ～ 3） ・ 鳴らさない ・ 鳴らす（1 ～ 3）
4. 受信終了音	受信終了音を設定します。 ・ エラー時のみ鳴らす（1 ～ 3） ・ 鳴らさない ・ 鳴らす（1 ～ 3）
5. 読取終了音	読み取り終了音を設定します。 ・ エラー時のみ鳴らす（1 ～ 3） ・ 鳴らさない ・ 鳴らす（1 ～ 3）
6. プリント終了音	プリント終了音を設定します。 ・ エラー時のみ鳴らす（1 ～ 3） ・ 鳴らさない ・ 鳴らす（1 ～ 3）
4. トナーセーブモード	トナーの消費量を節約するかどうかを設定します。 ・ しない ・ する
5. プリンタ濃度の選択	原稿とプリントの間で濃度が異なる場合、濃度レベルを調整します。（1 ～ 9）

共通仕様設定	
6. カセットオート選択	ジョブの処理中に用紙が切れた場合、同じサイズの用紙がセットされている別の給紙元から給紙するかどうかを設定します。
1. コピー	コピージョブに対して、カセットオート選択機能を有効にするかどうかを設定します。 ・ 1. カセット 1（する／しない） ・ 2. カセット 2（する／しない）* ・ 3. 手差しトレイ（しない／する）
2. プリンタ	プリントジョブに対して、カセットオート選択機能を有効にするかどうかを設定します。 ・ 1. カセット 1（する／しない） ・ 2. カセット 2（する／しない）*
3. ファクス	ファクスジョブに対して、カセットオート選択機能を有効にするかどうかを設定します。 ・ 1. カセット 1（する／しない） ・ 2. カセット 2（する／しない）* ・ 3. 手差しトレイ（しない／する）
4. その他	レポートまたはリストのジョブに対して、カセットオート選択機能を有効にするかどうかを設定します。 ・ 1. カセット 1（する／しない） ・ 2. カセット 2（する／しない）* ・ 3. 手差しトレイ（しない／する）
7. 用紙種類の登録	カセットで使う用紙の種類を設定します。（→カセットを使う場合：P.3-7）
1. カセット 1	カセット 1 で使う用紙の種類を設定します。
2. カセット 2*	カセット 2 で使う用紙の種類を設定します。
8. 用紙サイズの登録	カセットで使う用紙のサイズを設定します。（→カセットを使う場合：P.3-7）
1. カセット 1	カセット 1 で使う用紙のサイズを設定します。
2. カセット 2**	カセット 2 で使う用紙のサイズを設定します。
9. スリープ時の消費電力	スリープモード時の消費電力を 2 つのレベルから選択します。 ・ 低（<受信モード選択>が<自動>に設定されていない場合のみ有効） ・ 高

共通仕様設定	
10.手差しの標準モード	手差しトレイで常に同じサイズ／種類の用紙を使用する場合、使用する用紙のサイズと種類を設定します。（→手差しトレイを使う場合：P.3-9）
しない	手差しの標準モードを設定しません。
する	手差しの標準モードを設定します。
1. 用紙サイズ	手差しトレイで通常使用する用紙サイズを設定します。
2. 用紙種類の登録	手差しトレイで通常使用する用紙の種類を設定します。
11.給紙方法切替	ロゴや模様などが印刷済みの用紙に、片面印刷または両面印刷をする場合の給紙方法を選択します。
1. 手差しトレイ	手差しトレイの給紙方法を選択します。
スピード優先	印字速度を優先します。
プリント面優先	セットした用紙の上面から印刷します。片面印刷の場合は印字速度が遅くなります。A4、LTR、LGL サイズにのみ有効です。
2. カセット 1	カセット 1 の給紙の方法を選択します。
スピード優先	印字速度を優先します。
プリント面優先	セットした用紙の下面から印刷します。片面印刷の場合は印字速度が遅くなります。A4、LTR、LGL サイズにのみ有効です。
3. カセット 2*	カセット 2 の給紙の方法を選択します。
スピード優先	印字速度を優先します。
プリント面優先	セットした用紙の下面から印刷します。片面印刷の場合は印字速度が遅くなります。A4、LTR、LGL サイズにのみ有効です。
12.フィーダ汚れエラー表示	ADF が汚れている場合にメッセージを表示するかどうかを設定します。 ・ 表示する ・ 表示しない
13.共通設定の初期化	＜表示言語の切替＞以外の＜共通仕様設定＞をすべて初期値に戻します。 ・ しない ・ する

* オプションのカセットをお使いの場合のみ

コピー仕様設定

設定項目	設定内容
1. 画像向き優先	画像の向きを優先するかどうかを設定します。
しない	原稿の向きどおり、上下を変えずに出力します。
する	読んだ原稿を 180°回転して出力します。
2. 標準モードの変更	コピーの初期値を設定します。
1. 画質	コピーする原稿の種類を設定します。 ・ 文字 ・ 写真 ・ 文字／写真
2. 濃度	コピー濃度を設定します。 ・ 自動 ・ 手動（1 ～ 9）
3. 倍率	コピーの倍率を設定します。
定形変倍	用紙の規格に合わせた倍率を選択します。 100%、115% B5 → A4、122% A5 → B5、129% STMT → LTR、141% A5 → A4、200% MAX.、50% MIN.、64%、70% A4 → A5、78% LGL → LTR、81% B5 → A5、86% A4 → B5
手動	1%刻みで倍率を入力します。（50% ～ 200%）
4. 部数	コピーの部数を設定します。（1 ～ 99）
5. 自動ソート	コピーを自動でソートするかどうかを設定します。 ・ しない ・ 部単位
6. 両面	両面コピーの種類を設定します。 ・ 片面＞両面 ・ 両面＞両面 ・ 両面＞片面 ・ しない
7. 枠消し	コピー原稿の枠消しの種類を設定します。 ・ しない ・ 原稿枠消し ・ ブック枠消し ・ パンチ穴消し
8. 用紙選択	コピー時の給紙方法を設定します。 ・ 自動 ・ カセット 1 ・ カセット 2*

コピー仕様設定	
3. シャープネス	コピーした画像のシャープネス（鮮明度）を調整します。（1 ～ 9）
4. サイズ系列	用紙サイズグループを選択します。 ・ AB ・ インチ ・ A
5. インチ／ミリ入力切替	枠消し幅の単位を設定します。 ・ MM ・ インチ
6. コピー設定の初期化	＜コピー仕様設定＞をすべて初期値に戻します。 ・ しない ・ する

＊ オプションのカセットをお使いの場合のみ

ファクス仕様設定	
設定項目	**設定内容**
1. 受信モード選択	受信モードを選択します。（→スタートアップガイド「ファクス受信の設定」） ・ 自動 ・ FAX/TEL ・ 留守 TEL ・ 手動
2. 基本登録	ファクスの基本機能を設定します。
1. ユーザ電話番号登録	お使いのファクス番号を登録します。（→スタートアップガイド「ファクス送信の設定」）
2. ユーザ略称の登録	発信元のユーザ名／会社名を登録します。（→スタートアップガイド「ファクス送信の設定」）
3. 発信元記録	発信元情報を設定します。
つける	発信元情報が、各ページの上部に印字されます。
1. 印字位置	発信元情報を印字する位置を設定します。 ・ 画像の外につける ・ 画像の中につける
2. 電話番号マーク	発信元情報内の番号の前に、FAX または TEL を付けます。 ・ FAX ・ TEL
つけない	発信元情報は印字されません。
4. 読取濃度選択	ファクス送信時の原稿の読み取り濃度を調整します。（1 〜 9）
5. 回線種類の選択	電話回線の種類を選択します。（→スタートアップガイド「ファクス送信の設定」） ・ プッシュ回線 ・ ダイヤル回線
6. 音量調整	通信音量と着信呼出音量を設定します。
1. 通信音量	通信音量を設定します。（0 〜 3）
2. 着信呼出音量	着信呼出音量を設定します。（1 〜 3）
7. オフフックアラーム	外付け電話機の受話器がフックから外れた場合に警告音を鳴らすかどうかを設定します。 ・ 鳴らす ・ 鳴らさない

ファクス仕様設定	
8. 標準モードの変更	ファクスの初期値を設定します。
1. 読取濃度	ファクスの読み取り濃度を設定します。 ・ 標準 ・ 濃 ・ 薄
2. 画質	ファクスの画質を設定します。 ・ ファイン ・ 写真 ・ スーパーファイン ・ ウルトラファイン ・ 標準
3. ダイレクト送信	＜ダイレクト送信＞を初期設定にするかどうかを選択します。 ・ しない ・ する
9. FAX 標準モード初期化	＜ファクス仕様設定＞の＜標準モードの変更＞をすべて初期値に戻します。 ・ しない ・ する
3. 送信機能設定	送信機能を設定します。
1. ECM 送信	ECM（エラー訂正モード）送信をするかどうかを設定します。 ・ する ・ しない
2. ポーズ時間	ダイヤルに挿入するポーズの長さを設定します。（1 秒〜 15 秒）
3. 自動リダイヤル	相手先が話し中、または送信エラーが起きた場合、自動的にリダイヤルするかどうかを設定します。（→操作ガイド（応用編）「第 1 章 ファクス」）
する	リダイヤル方法を設定します。
1. リダイヤル回数	何回リダイヤルするかを設定します。（1 回〜 10 回）
2. リダイヤル間隔	リダイヤルまでの時間を設定します。（2 分〜 99 分）
3. 送信エラー時リダイヤル	送信エラーが起きた場合、自動的にリダイヤルするかどうかを設定します。 ・ する ・ しない
しない	最初にダイヤルして話し中の場合、リダイヤルしません。

ファクス仕様設定	
4. ダイヤルタイムアウト	ファクス番号を入力したあと、自動的に原稿を読み込むかどうかを設定します。 * テンキーでダイヤルした場合は、この機能は使用できません。 ・ する ・ しない
5. ダイヤル時回線確認	ダイヤル時に回線確認するかどうかを設定します。 ・ する ・ しない
4. 受信機能設定	受信機能を設定します。
1. ECM 受信	ECM（エラー訂正モード）受信をするかどうかを設定します。 ・ する ・ しない
2. ファクス /TEL 詳細設定	FAX/TEL モードの詳細項目を設定します。（→操作ガイド（応用編）「第 1 章 ファクス」）
1. 呼出開始時間	着信に応答してから呼出音を鳴らすまでの時間を設定します。 （0 秒～ 30 秒）
2. 呼出時間	音声通話の場合に、呼び出し音を鳴らす時間を設定します。（15 秒～ 300 秒）
3. 呼出後の動作	呼び出し時間が経過したら受信モードに切り替えるか、通話を終了するかを設定します。 ・ 受信 ・ 終了
3. 着信呼出	＜受信モード＞が＜自動＞または＜ FAX/TEL ＞に設定されている場合、電話着信時に外付け電話機の呼出音を鳴らして電話に応答できるようにするかどうかを設定します。
しない	電話を受信しても呼び出し音は鳴りません。（スリープモードに入っているときに、外付け電話機が鳴る場合があります。）
する	外付け電話機が接続されている場合は、着信時に呼出音を鳴らします。
呼出回数	本製品が応答するまでの着信呼び出し音の回数を設定します。（1 回～ 99 回）
4. リモート受信	リモート受信するかどうかを設定します。＜共通仕様設定＞の＜スリープ時の消費電力＞が＜低＞に設定されている場合は、この機能は使用できません。（→操作ガイド（応用編）「第 1 章 ファクス」）
する	リモート受信します。
リモート受信 ID	外付け電話機から ID 番号をダイヤルして受信を開始することができます。 0 ～ 9、*、# を使用した 2 桁の ID が設定できます。
しない	リモート受信しません。

ファクス仕様設定	
5. 自動受信切替	手動受信で、外付け電話機が指定された時間呼び出し音を鳴らしたあとに、自動受信に切り替えるかどうかを設定します。
しない	外付け電話機は、受話器を取るまで鳴り続けます。
する	指定時間呼出音が鳴ったあと、受信モードに切り替わります。
呼出時間	受信モードに切り替わるまでの時間を設定します。(1 秒〜 99 秒)
5. プリント設定	受信時のプリンタ機能を設定します。
1. 画像縮小	受信画像を縮小してプリントするかどうかを設定します。(→操作ガイド（応用編）「第 1 章 ファクス」)
する	画像を縮小します。
1. 画像縮小	縮小モードを選択します。 ・ 自動 ・ 固定（90%、95%、97%、75%）
2. 縮小方向	縮小方向を選択します。 ・ 縦のみ ・ 縦横
しない	画像を縮小しません。
2. 両面記録	ファクスの両面プリントをするかどうか設定します。(→操作ガイド（応用編）「第 1 章 ファクス」) ・ しない ・ する
3. 印字継続	＜トナー 少（継続プリント可）＞のメッセージが表示された場合の動作を設定します。
継続しない	すべての原稿はメモリに保存されます。
継続する	トナー切れでも、原稿はメモリに保存されません。トナーカートリッジを交換したあと、＜継続しない＞に設定しなおしてください。

宛先表仕様設定	
設定項目	設定内容
1. ワンタッチダイヤル	ワンタッチダイヤルの情報を登録します。23件まで登録できます。(→ワンタッチダイヤルを登録する：P.4-7)
1. 電話番号	相手先のファクス番号（スペースを含め最大 120 桁）を登録します。
2. 名前	相手先の名前（スペースを含め最大 16 文字）を登録します。
3. 詳細設定	ワンタッチダイヤルに登録してある相手先に、詳細設定を使用するかどうかを設定します。 (→操作ガイド（応用編）「第 1 章 ファクス」)
しない	このワンタッチダイヤルに詳細設定を使用しません。
する	このワンタッチダイヤルに詳細設定を使用します。
1. 国際送信	送信する原稿のモードを選択します。 ・ 国内送信 ・ 国際送信 1 ・ 国際送信 2 ・ 国際送信 3
2. 送信スピード	送信速度を選択します。 (33600 bps、14400 bps、9600 bps、4800 bps)
3. ECM 通信	ECM（エラー訂正モード）を使用するかどうかを設定します。 ・ する ・ しない
2. 短縮ダイヤル	短縮ダイヤルの情報を登録します。100 件まで登録できます。 (→短縮ダイヤルを登録する：P.4-15)
1. 電話番号	相手先のファクス番号（スペースを含め最大 120 桁）を登録します。
2. 名前	相手先の名前（スペースを含め最大 16 文字）を登録します。
3. 詳細設定	短縮ダイヤルに登録してある相手先に、詳細設定を使用するかどうかを設定します。(→操作ガイド（応用編）「第 1 章 ファクス」)
しない	この短縮ダイヤルに詳細設定を使用しません。
する	この短縮ダイヤルに詳細設定を使用します。

宛先表仕様設定	
1. 国際送信	送信する原稿のモードを選択します。 ・ 国内送信 ・ 国際送信 1 ・ 国際送信 2 ・ 国際送信 3
2. 送信スピード	送信速度を選択します。 （33600 bps、14400 bps、9600 bps、4800 bps）
3. ECM 通信	ECM（エラー訂正モード）を使用するかどうかを設定します。 ・ する ・ しない
3. グループダイヤル	グループダイヤルの情報を登録します。122 件まで登録できます。 （→グループダイヤルを登録する：P.4-23）
1. 電話番号	ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを指定して、相手先のファクス番号を登録します。
2. 名前	グループ名（スペースを含め最大 16 文字）を登録します。

プリンタ仕様設定	
設定項目	設定内容
1. デフォルト用紙サイズ	給紙元が指定されていない場合の用紙サイズの初期値を設定します。 （A4、B5、A5、LGL、LTR、STMT、EXEC、ハガキ、往復ハガキ、洋形 4 号、洋形 2 号、4 面ハガキ）
2. デフォルト用紙タイプ	プリントジョブの用紙種類の初期値を設定します。本製品には、指定した用紙の種類に対して最適なプリントモードが設定できます。 （普通紙、色紙、再生紙、厚紙 1、厚紙 2、厚紙 3、OHP フィルム、ラベル用紙、ハガキ、4 面ハガキ、封筒）
3. コピー部数	プリントする部数を設定します。（1 ～ 999）
4. 両面	両面プリントをするかどうかを設定します。 ・ しない ・ する

プリンタ仕様設定	
5. 印字調整	プリントの画質、濃度、トナーセーブモードを設定します。
1. スーパースムーズ	輪郭が粗い画像や文字をスムーズにしてプリントするかどうかを設定します。 ・ する ・ しない
2. トナー濃度	プリント濃度を調整します。（1 ～ 9）
3. トナー節約	プリント時にトナーを節約するかどうかを設定します。 ・ しない ・ する
6. ページレイアウト	プリントレイアウトを設定します。
1. とじ位置	両面印刷でのとじ位置を設定します。 ・ 長辺とじ ・ 短辺とじ
2. とじしろ	ページの余白をミリまたはインチで設定します。 ・ MM（-50.0 MM ～ 50.0 MM） ・ インチ（-01.90 インチ～ 01.90 インチ）
7. ソータ	プリントを自動的にソートするかどうかを設定します。 ・ しない ・ 部単位
8. エラータイムアウト	コンピュータからデータが受信されない場合、エラーになるまでの時間を設定します。
する	エラータイムアウト時間を設定します。（5 秒～ 300 秒）
しない	エラータイムアウトを設定しません。
9. プリンタ設定の初期化	＜プリンタ仕様設定＞をすべて初期値に戻します。 ・ しない ・ する
10.プリンタリセット	処理中のプリントジョブをすべて取り消し、プリンタ機能をリセットします。 ・ しない ・ する

タイマー設定	
設定項目	**設定内容**
1. 日付／時刻設定	現在の日付と時刻を設定します。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」）
2. 日付／時刻タイプ	日付の表示形式を設定します。 ・ YYYY MM/DD ・ MM/DD/YYYY ・ DD/MM YYYY
3. オートスリープタイム	本製品が一定時間（3 分〜 30 分）使用されない場合に、自動的にスリープモードに入るかどうかを設定します。（→スリープモードを設定する：P.1-9） ・ する ・ しない
4. オートクリアタイム	オートクリア機能を設定します。本製品が一定時間（1 分〜 9 分）使用されない場合に、自動的にディスプレイが待受画面に戻ります。（→オートクリアタイムを設定する：P.1-11） ・ する ・ しない

調整／クリーニング	
設定項目	**設定内容**
1. 転写ローラのクリーニング	転写ローラをクリーニングします。（→転写ローラ：P.11-9）
2. 定着器のクリーニング	定着器ローラをクリーニングします。（→定着器のお手入れ：P.11-4）
3. フィーダのクリーニング	ADF をクリーニングします。（→ ADF を自動的にクリーニングする：P.11-8）
4. 特殊モード M	印字の質を向上し、印字濃度のムラをなくします。印字の質の低下や印字ムラがある場合は、転写出力が正しく機能していない可能性があります。
標準	通常はこの設定を選択します。
低	高温多湿の場所で長期間保存していた用紙を使用すると起きる印字の質の低下を補正します。
高	厚紙を使うときに起きる質の低下を補正します。
5. 特殊モード N	両面印刷の際に、用紙がカールしたり、つまったりするのを防ぎます。 ・ する ・ しない
6. 特殊モード O	本製品ではこの機能は無効です。
7. 特殊モード P	薄紙や定着のノリが悪い紙、ムラが出やすい紙を使用する場合に有効にします。 ・ しない ・ する
8. 特殊モード Q	プリントした用紙に、白や黒の点が現れるのを防ぐかどうかを設定します。 ・ しない ・ する
9. 特殊モード R	しばらく本製品を使用しなかったあとにハーフトーン画像や写真をプリントすると、プリントした最初のページに白いスジが現れる場合があります。白いスジが現れるのを防ぐかどうかを設定します。 ・ しない ・ する

調整／クリーニング	
10.特殊モード S	連続プリントした直後に用紙サイズを変更すると、変更後の用紙でのプリント開始まで、少し時間がかかる場合があります。次のプリントまでの待ち時間を短くするかどうかを設定します。
しない	待ち時間を短くしません。 工場出荷時は、＜しない＞に設定されています。
スピード優先	待ち時間を短くし、スピードを優先してプリントします。ただし、前の画像が次のプリント面に写ってしまう場合があります。
11.連続印刷特殊処理	写真やハーフトーンに設定して連続印刷中に、直前にプリントした用紙の後端跡が次の出力紙に現れることがあります。用紙の後端跡を防ぐかどうかを設定します。 ・ しない ・ する
12.用紙後端特殊処理	プリントした用紙が、出力されるときに跳ね上がり、用紙の後端が汚れることがあります。用紙の後端が汚れるのを防ぐかどうかを設定します。 ・ しない ・ する
13.大サイズ紙特殊処理	大型用紙へのトナーの定着を向上させるかどうかを設定します。 ・ しない ・ する
14.フィーダ汚れ自動補正	プリント中の汚れ（チリやホコリによる）低減を有効にするかどうかを設定します。 ADF が汚れていると、コピーに点やスジが入ることがあります。 ・ しない ・ する
15.保守コード	本製品ではこの機能は無効です。

レポート出力	
設定項目	**設定内容**
1. 仕様設定	レポート機能を設定します。（→操作ガイド（応用編）「第 6 章 各種レポート／リスト」）
1. 送信結果レポート	送信結果レポートをプリントするかどうかを設定します。
エラー時のみプリント	送信エラーが発生したときだけレポートをプリントします。
送信原稿の表示	送信原稿の 1 ページ目の画像をつけてプリントするかどうかを設定します。 ・ つけない ・ つける
プリントする	原稿を送信するたびにレポートをプリントします。
送信原稿の表示	送信原稿の 1 ページ目の画像をつけてプリントするかどうかを設定します。 ・ つけない ・ つける
プリントしない	レポートをプリントしません。
2. 受信結果レポート	ファクス受信結果レポートをプリントするかどうかを設定します。 ・ プリントしない ・ エラー時のみプリント ・ プリントする
3. 通信管理レポート	通信管理レポートを自動的にプリントするかどうか、およびレポートの種類を設定します。
1. 40 通信で自動プリント	40 回通信（送信と受信）するたびに、通信管理レポートの自動プリントをするかどうかを設定します。 ・ プリントする ・ プリントしない
2. 送信／受信分離	送信と受信を分けて通信管理レポートをプリントするかどうかを設定します。 ・ しない ・ する

レポート出力	
2. リストプリント	各種レポート／リストをプリントします。
1. 通信管理レポート	通信管理レポート（最大最新の 40 件）を手動でプリントします。
2. 宛先表リスト	スピードダイヤルに登録されているファクス番号の一覧をプリントします。 ・ 1. ワンタッチダイヤルリスト ・ 2. 短縮ダイヤルリスト ・ 3. グループダイヤルリスト
3. 宛先表詳細リスト	スピードダイヤルの詳細をプリントします。 ・ 1. ワンタッチ詳細リスト ・ 2. 短縮詳細リスト
4. ユーザデータリスト	メニューで登録した設定一覧をプリントします。（→ユーザデータリストをプリントする：P.13-1）

システム管理設定	
設定項目	**設定内容**
1. システム管理者設定	システム管理者についての情報を設定します。
1. システム管理部門 ID	本製品のシステム管理者 ID を登録します。
2. システム管理暗証番号	システムパスワードを登録します。
3. システム管理者名	システム管理者の名前を登録します。
2. デバイス情報設定	デバイスの情報を設定します。
1. デバイス名	本製品の名前を登録します。
2. 設置場所	本製品の設置場所を登録します。
3. 部門別 ID 管理	部門別 ID 管理を使用するかどうかを選択します。
しない	部門別 ID 管理を無効にします。
する	部門別 ID 管理を有効にします。
1. 部門 ID 登録	0001 ～ 0100 の間で部門 ID を登録します。
1. 暗証番号	部門 ID の暗証番号を登録します。
2. 制限の設定	コピー、スキャン、および合計のプリント枚数を部門 ID ごとに制限するかどうかを設定します。
1. トータルプリント	合計のプリント枚数の上限を設定します。
1. トータルプリント制限	プリントの合計ページ数の上限を有効にするかどうかを設定します。 ・ しない ・ する

システム管理設定	
2. 制限面数設定	プリントできる合計ページ数の上限を入力します。(0 ～ 999999)
2. コピー	コピーできるページ数の上限を設定します。
1. コピー制限	コピーできるページ数の上限を有効にするかどうかを設定します。 ・ しない ・ する
2. 制限面数設定	コピーできるページ数の上限を入力します。(0 ～ 999999)
3. スキャン	スキャンできるページ数の上限を設定します。
1. スキャン制限	スキャンできるページ数の上限を有効にするかどうかを設定します。 ・ しない ・ する
2. 制限面数設定	スキャンできるページ数の上限を入力します。(0 ～ 999999)
4. プリント	プリントできるページ数の上限を設定します。
1. プリント制限	プリントできるページ数の上限を有効にするかどうかを設定します。 ・ しない ・ する
2. 制限面数の設定	プリントできるページ数の上限を入力します。(0 ～ 999999)
3. 消去	選択した部門 ID と設定内容を消去します。 ・ しない ・ する
2. カウント管理	各部門の出力枚数を確認したり、プリントします。
1. カウント表示	カウンタ情報を確認します。
1. トータルプリント	プリントページ数の合計のカウンタ情報を確認します。
2. コピー	コピーのカウンタ情報を確認します。
3. スキャン	スキャンのカウンタ情報を確認します。
4. プリント	プリントのカウンタ情報を確認します。
2. オールクリア	全部署のカウンタ情報を削除します。 ・ しない ・ する
3. カウントプリント	＜カウント表示＞の内容をプリントします。
3. ID 不定プリンタジョブ	登録部門 ID と一致しないプリンタドライバからのプリントジョブを許可するかどうかを設定します。 ・ する ・ しない

システム管理設定	
4. ユーザ ID 管理	ユーザ ID 管理を許可するかどうかを設定します。＜ユーザ ID 管理＞を＜する＞に設定する前に、リモート UI からユーザ ID とパスワードを登録します。（→操作ガイド（応用編）「第 4 章 リモート UI」） ・ しない ・ する
5. ネットワーク設定	ネットワーク設定を行います。（→操作ガイド（応用編）「第 3 章 ネットワーク」）
1. TCP/IP 設定	TCP/IP ネットワークを設定します。
1. IP アドレス自動取得	IP アドレスを自動的に取得するかどうかを設定します。（→スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール／アンインストール」）
する	IP アドレスが自動的に割り当てられます。 ・ 1. DHCP（する／しない） ・ 2. BOOTP（しない／する） ・ 3. RARP（しない／する）
しない	IP アドレスを手動で割り当てます。
2. IP アドレス	固定 IP アドレスを登録します。（→スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール／アンインストール」）
3. サブネット マスク	固定サブネットマスクを登録します。
4. ゲートウェイアドレス	固定ゲートウェイアドレスを登録します。
5. LPD 印刷を使用	プリント用アプリケーションに LPD を使うかどうかを設定します。 ・ する（ポート番号） ・ しない
6. RAW 設定	プリント用アプリケーションに RAW を使うかどうかを設定します。
する	RAW を使用します。
1. ポート番号	ポート番号を入力します。
2. 双方向を使用	双方向通信を使用するかどうかを設定します。 ・ する ・ しない
しない	RAW を使用しません。
7. HTTP を使用	リモート UI に対して HTTP（HyperText Transfer Protocol）を有効にするかどうかを設定します。 ・ する（ポート番号） ・ しない

システム管理設定	
8. IP アドレス範囲設定	IP アドレス範囲を制限するかどうかを設定します。
しない	コンピュータの IP アドレス範囲を制限しません。
する	指定された IP アドレスを持つコンピュータからのみ本製品にデータ（プリント／ファクスジョブ）を送信できるようにします。
1. 許可／拒否	指定した IP アドレスからのアクセスを許可するか拒否するかを設定します。 ・ 拒否 ・ 許可
2. IP アドレス範囲入力	IP アドレス範囲を指定します。各設定に、＜開始アドレス＞と＜終了アドレス＞を入力する必要があります。 ・ 1. IP アドレス 1 ・ 2. IP アドレス 2 ・ 3. IP アドレス 3 ・ 4. IP アドレス 4
9. 受信許可 MAC アドレス	MAC アドレスフィルタを有効にするかどうかを設定します。
しない	MAC アドレスフィルタを無効にします。
する	アクセスする MAC アドレスフィルタを指定します。各設定に対して MAC アドレスを入力する必要があります。 ・ 1. 許可アドレス 1 ・ 2. 許可アドレス 2 ・ 3. 許可アドレス 3 ・ 4. 許可アドレス 4 ・ 5. 許可アドレス 5
2. SNMP 設定	SNMP の詳細を設定します。
1. SNMP を使用	SNMP を有効にするかどうかを設定します。 ・ する（ポート番号） ・ しない
2. コミュニティ名 1	SNMP コミュニティ名 1 を設定します。
3. コミュニティ名 2	SNMP コミュニティ名 2 を設定します。
4. SNMP 書込み可能 1	ネットワーク上のコンピュータから本製品にアクセスでき、設定を変更できるようにします。 ・ する ・ しない
5. SNMP 書込み可能 2	ネットワーク上のコンピュータから本製品にアクセスでき、設定を変更できるようにします。 ・ しない ・ する

システム管理設定	
3. 専用ポート設定	キヤノンプリンタドライバまたはユーティリティを使って、本製品の詳細情報を設定したり、参照します。 ・ する ・ しない
4. ETHERNET ドライバ	ネットワークの接続タイプを指定します。
1. 自動検出	Ethernet ドライバの検出方法を選択します。
自動	通信モード（半二重／全二重）および Ethernet の種類（10Base-T/100Base-TX）を自動的に検出するよう設定します。
手動	通信モードと Ethernet の種類を手動で設定します。
1.通信方式	通信モードを選択します。 ・ 半二重 ・ 全二重
2.ETHERNET の種類	Ethernet の種類を選択します。 ・ 10 BASE-T ・ 100 BASE-TX
5. IP アドレス確認	現在のネットワーク設定を確認します。
1. IP アドレス	IP アドレスを確認します。
2. サブネット マスク	サブネットマスクを確認します。
3. ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを確認します。
6. 起動時間の設定	本製品がネットワーク通信を開始するのを遅らせる時間を設定します。（0 ～ 300 秒）
6. 通信管理設定	ファクス通信を設定します。
1. 送信スタートスピード	すべての原稿に対して送信速度を設定します。（33600 bps、2400 bps、4800 bps、7200 bps、9600 bps、14400 bps）
2. 受信スタートスピード	すべての原稿に対して受信速度を設定します。（33600 bps、2400 bps、4800 bps、7200 bps、9600 bps、14400 bps）
3. メモリ受信設定	受信原稿はすべてメモリで受信し、自動的にプリントしないようにするかどうかを設定します。（→操作ガイド（応用編）「第 1 章 ファクス」）
しない	メモリ受信を無効にします。
する	メモリ受信を有効にします。
1. 暗証番号	メモリを不正なアクセスから保護するための暗証番号を登録します。
2. レポートプリント	メモリ受信のレポートをプリントするかどうかを設定します。 ・ しない ・ する

システム管理設定	
3. メモリ受信時刻設定	メモリ受信の時間を指定するかどうかを設定します。
しない	メモリ受信の時間を設定しません。
する	メモリ受信の時間を設定します。
1. メモリ受信開始時刻	開始時間を入力します。
2. メモリ受信終了時刻	終了時間を入力します。
7. リモート UI の ON/OFF	本製品の操作と設定の変更をする際に、リモート UI 機能を有効にするかどうかを設定します。 ・ ON ・ OFF
8. 宛先の制限	宛先へのアクセス制限を設定します。
1. 新規宛先の制限	ワンタッチダイヤルおよび短縮ダイヤルの登録や変更を制限するかどうかを設定します。スピードダイヤルに登録されていない宛先への通信を制限するかどうかを設定します。 ・ しない ・ する *[1] *[1] 以下の条件をすべて満たしている場合は、外付け電話機からの通信が可能になります： ・ スリープモードに入っている場合 ・ ＜受信モード選択＞が＜自動＞に設定されている場合 ・ ＜スリープ時の消費電力＞が＜低＞に設定されている場合
2. FAX ドライバ送信許可	ファクスドライバを使ってのコンピュータからのファクス送信を制限するかどうかを設定します。 ・ する ・ しない
9. ジョブ履歴表示	ジョブ履歴の表示を許可するかどうかを設定します。
する	［システムモニタ］でログの確認ができます。
しない	［システムモニタ］でログの確認はできません。通信管理レポートは自動的にプリントされません。
10.USB デバイスを使用	USB 接続を使ったジョブを制限するかどうかを設定します。 ・ する ・ しない

14 付録

主な仕様

全体的な仕様	
● 形式	パーソナルデスクトップ
● 電源	AC100 V　50/60 Hz
● 消費電力	最大消費：約 780 W 動作時消費：約 335 Wh（動作時平均） 待機時消費：約 18 Wh スリープモード時消費：5 Wh
● ウォームアップタイム	13.5 秒以下＊ （温度：20 ℃、湿度：65%。本製品の主電源を入れてから待受画面が表示されるまで） ＊ ウォームアップ時間は、本製品の使用状況や環境によって異なることがあります。
● 重量	約 23.7 kg（トナーカートリッジを含む）
● 外形寸法（幅 x 奥行 x 高さ）	520 mm x 457 mm x 453 mm 520 mm x 457 mm x 581 mm （オプションのカセット取り付け時）
● 設置スペース（幅 x 奥行）	1027 mm x 984 mm
● 動作環境	温度：15 ℃〜 30 ℃ 湿度：10%〜 80%相対湿度
● 使用可能な原稿	→ P.2-1.
● 使用可能な用紙	→ P.3-1.
● プリント範囲	→ P.3-2.
● 読み取り範囲	→ P.2-3.

コピーの仕様	
● 読取解像度	600 dpi x 600 dpi
● 出力解像度	1200 dpi 相当 x 600 dpi
● コピー倍率	1：1 ± 1.0%、1：2.00、1：1.41、1：1.22、1：1.15、1：0.86、1：0.81、1：0.70、1：0.50 ズーム 50% - 200%、1% 刻み
● ファーストコピータイム	原稿台ガラス：8 秒以下（A4） ADF：12 秒以下（A4）
● コピー速度	等倍：A4 22 枚／分
● コピー部数	最大 99 部

プリンタの仕様

● 印刷方式	間接静電気方式（オンデマンド固定）
● 用紙積載可能枚数	・ カセット：500 枚（80 g/m^2） （オプションのカセットも同様） ・ 手差しトレイ：100 枚（80 g/m^2）
● 排紙枚数	100 枚（64 ～ 80 g/m^2）
● プリント速度	「コピー速度」（→ P.14-2）を参照してください。
● 出力解像度	1200 dpi 相当 x 600 dpi
● 階調	256 階調
● トナーカートリッジ	→ P.1-7.

ファクスの仕様

● 適用回線	公衆交換電話網（PSTN）*1
● 互換性	G3
● データ圧縮方式	MH、MR、MMR、JBIG
● モデム速度	33.6 Kbps 自動フォールバック
● 伝送速度	ページ当り約 3 秒 *2　ECM-JBIG、33.6 Kbps でメモリから送信
● 送信／受信メモリ	最大約 256 ページ *2 （送受信の総ページ数）
● ファクス解像度	ファイン：8 画素 /mm x 7.7 ライン /mm 写真：8 画素 /mm x 7.7 ライン /mm スーパーファイン：8 画素 /mm x 15.4 ライン /mm ウルトラファイン：16 画素 /mm x 15.4 ライン /mm 標準：8 画素 /mm x 3.85 ライン /mm

ファクスの仕様	
● ダイヤル方式	・ スピードダイヤル ワンタッチダイヤル（23 件） 短縮ダイヤル（100 件） グループダイヤル（122 件） 宛先表ダイヤル（宛先表キーによる） ・ 通常ダイヤル（テンキーによる） ・ 自動リダイヤル ・ 手動リダイヤル（リダイヤル／ポーズキーによる） ・ 同報送信（124 件） ・ 自動受信 ・ 電話機によるリモート受信（初期設定 ID：25） ・ 通信管理レポート（40 件ごと） ・ 送信／受信結果レポート ・ 発信元情報

電話の仕様	
● 接続可能な電話	外付け電話機／留守番録音機（切替検出信号）／データモデム

*[1] 公衆交換電話網は、現在 28.8 Kbps までのモデム速度に対応しています。ただし、電話回線の状態により異なります。

*[2] ITU-T（国際電気通信連合の通信規格などを制定する部門）標準チャート No.1、JBIG 標準モードによる。

メモ

仕様は予告なく変更されることがあります。

製品が改良され変更になったり、今後発売される製品によって内容が変更になることがありますので、ご了承ください。
本製品に関する情報はこちらでもご確認いただけます。
キヤノン Satera ホームページ
■ http://canon.jp/satera/

索引

本書は本文に再生紙を
使用しています。
本書は揮発性有機化合物(VOC)
ゼロのインキを使用しています。

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター
（全国共通番号）

050-555-90024

[受付時間]　〈平日〉9:00～20:00
〈土日祝祭日〉10:00～17:00
(1/1～3は休ませていただきます)

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9627 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

FT5-3915　(000)　XXXXXXXXXX

PRINTED IN CHINA